

旭川市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
調査結果報告書



ASAHIKAWA
CITY

令和8年7月
旭川市

【目 次】

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	2
2. 調査対象および調査方法	2
3. 本報告書の留意点	2

第2章 調査の結果

調査対象者・回答者の属性	4
問1 あなたのご家族や生活状況について	6
問2 からだを動かすことについて	11
問3 食べることについて	23
問4 毎日の生活について	30
問5 地域での活動について	44
問6 就労について	53
問7 たすけあいについて	54
問8 健康に付いて	57
問9 地域包括支援センターについて	68
問10 在宅医療について	71
問11 終活について	73
問12 最期を迎える場所について	74
問13 ボランティア活動について（有償ボランティアを含みます）	76
問14 認知症について	80
問15 認知症にかかる相談窓口の把握について	84
問16 スマートフォンの利用について	86
回答結果によるリスク集計	90

第3章 参考資料

調査票	99
-----	----

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、第10期旭川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和9年度～令和11年度）を策定するにあたり、高齢者の心身の状態や自立した生活をおくる上での課題、今後の意向等をよりの確に把握することを目的として実施した。

2. 調査対象および調査方法

調査対象者	市内在住の65歳以上の高齢者 (要介護1～5の認定を受けている方を除く)
調査方法	郵送配布・回収
調査時期	令和8年2月
発送数	4,390票
有効回収数	2,711票
有効回収率	61.8%

3. 本報告書の留意点

- (1) 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって合計が100.0%を上下する場合もある。
- (2) 基数となるべき実数(回収者数)は、“全体(n=〇〇)”として掲載し、各比率は回答者数を100.0%として算出した。なお、「n」はnumber of caseの略であり、設問の回答数である。
- (3) 設問には単数回答と複数回答のものがあり、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい複数回答設問では、各回答の合計比率が100.0%を超える場合がある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 「」は1つの選択肢を、『』は複数の選択肢を合わせた表現を示している。＜＞は調査項目を表す。
- (6) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査のリスク判定において、判定基準となる設問のうち1つでも無回答があれば、判定対象から除外している。
- (7) 「標本名簿の属性」に使用しているデータは、調査票の回答結果と照合可能な標本名簿から取得している。
- (8) 第9期計画策定時からの経年変化を見るため、次の前回調査結果と比較する。

■ 前回調査の概要

調査時期	令和5年2月
発送数	4,382票
有効回収数	2,516票
有効回収率	57.4%

第2章 調査の結果

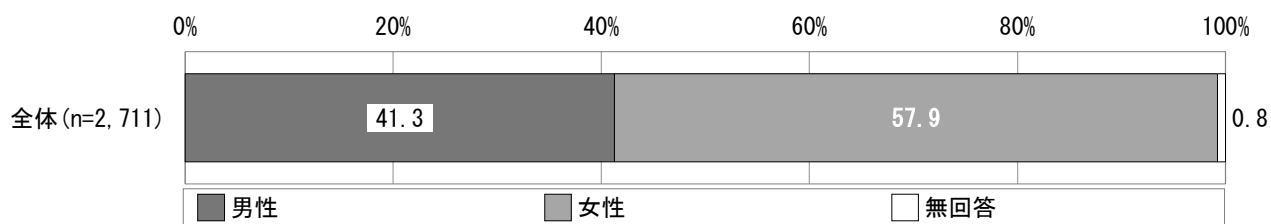
第2章 調査の結果

調査対象者・回答者の属性

標本名簿の属性

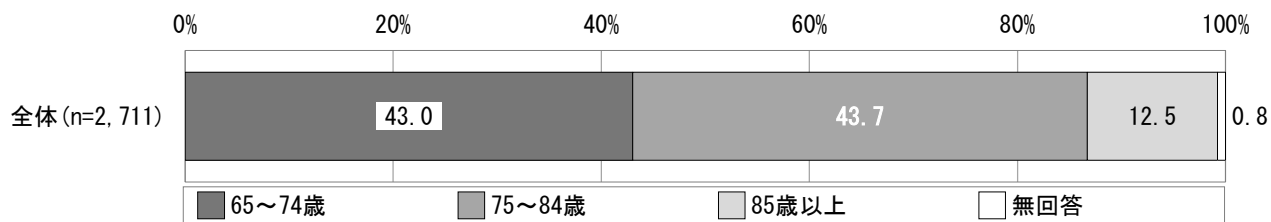
(1) 性別

全体では、「男性」が41.3%、「女性」が57.9%となっている。



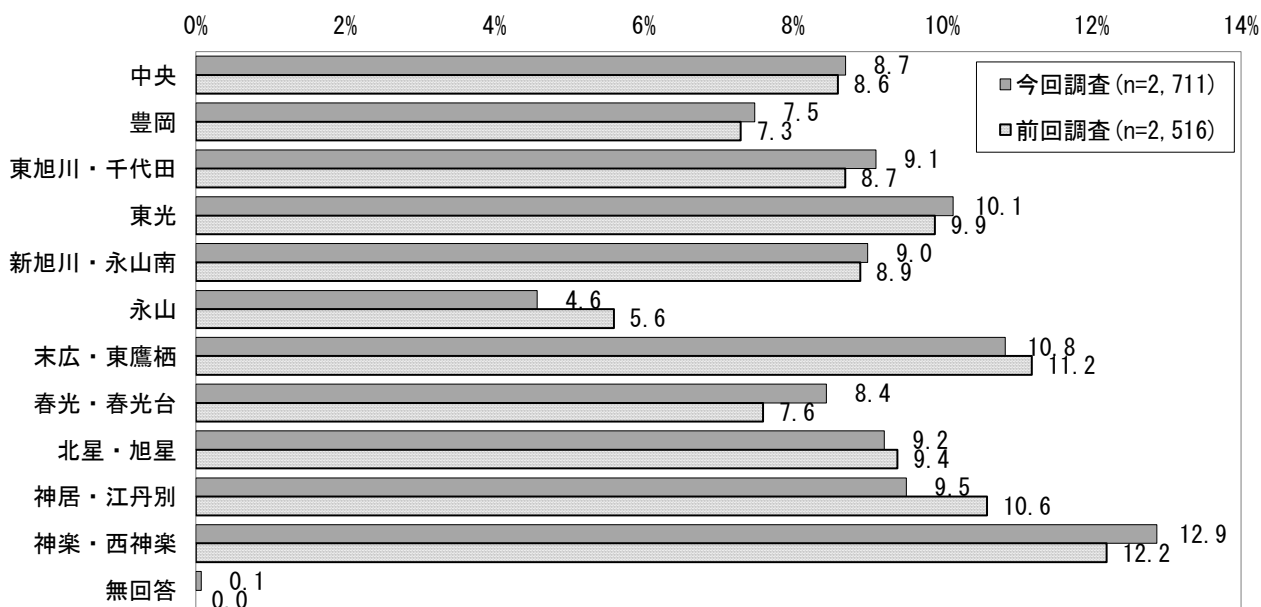
(2) 年齢

全体では、「75～84歳」が43.7%と最も高く、「65～74歳」が43.0%、「85歳以上」が12.5%と続いている。



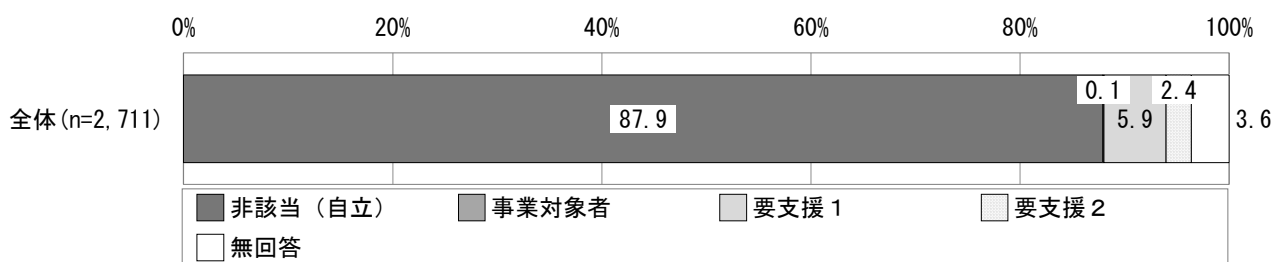
（３）圏域

全体では、「神楽・西神楽」が12.9%と最も高く、「末広・東鷹栖」が10.8%、「東光」が10.1%と続いている。前回調査と大きな違いはみられない。



（４）要介護度

全体では、「非該当（自立）」が87.9%と最も高く、「要支援1」が5.9%、「要支援2」が2.4%と続いている。



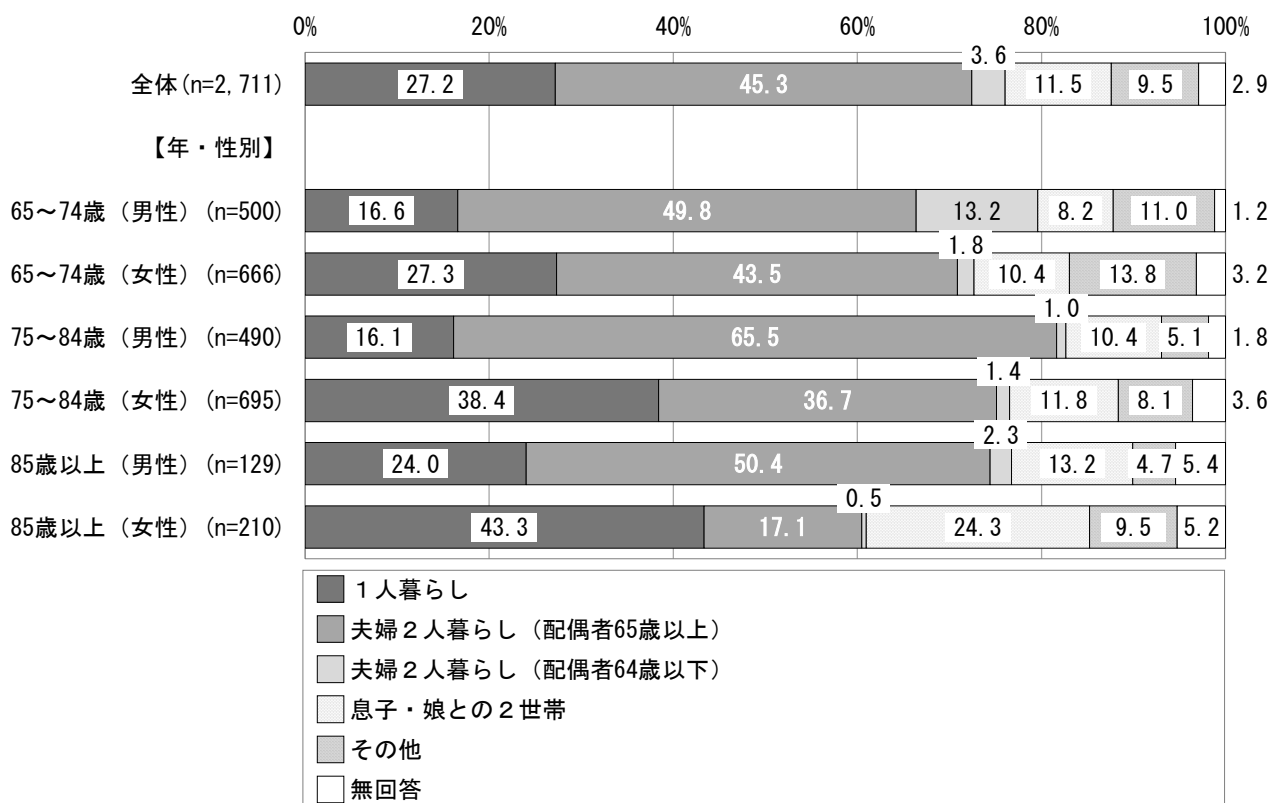
第2章 調査の結果

問1 あなたのご家族や生活状況について

問1（1） 家族構成をお教えてください

全体では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が45.3%と最も高く、「1人暮らし」が27.2%、「息子・娘との2世帯」が11.5%と続いている。

年・性別にみると、「1人暮らし」はいずれの年齢層も女性のほうが男性よりも高くなっている。



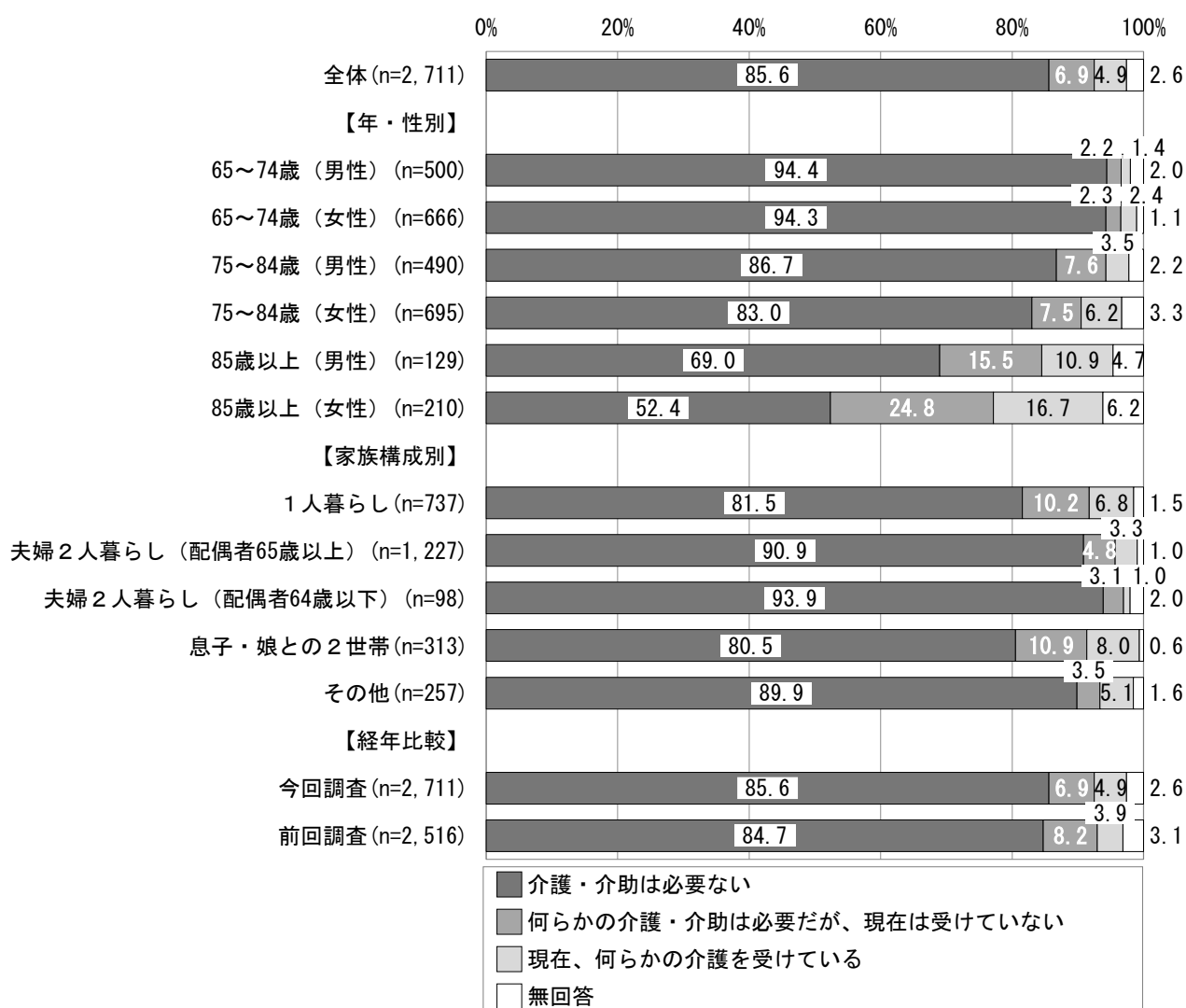
問 1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

全体では、「介護・介助は必要ない」が 85.6%と最も高く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 6.9%、「現在、何らかの介護を受けている」が 4.9%と続いている。

年・性別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は、85 歳以上の女性が 24.8%と最も高くなっている。

家族構成別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は、息子・娘との 2 世帯が 10.9%と最も高く、1 人暮らしが 10.2%と続いている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



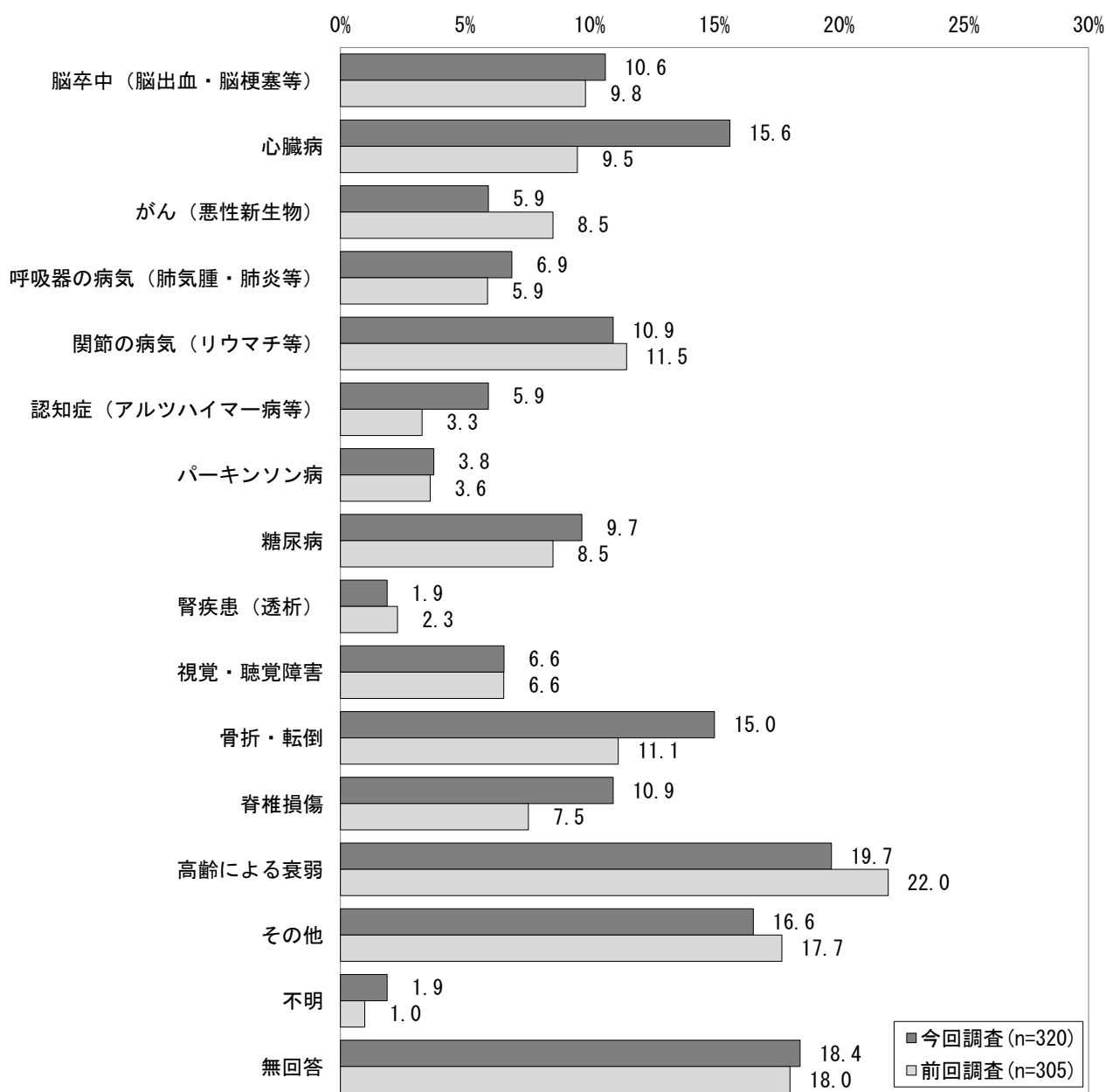
第2章 調査の結果

問1（2）① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（いくつでも）

※問1（2）で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に質問

全体では、「高齢による衰弱」が19.7%と最も高く、「心臓病」が15.6%、「骨折・転倒」が15.0%と続いている。

経年比較では、特に「心臓病」に増加がみられる。

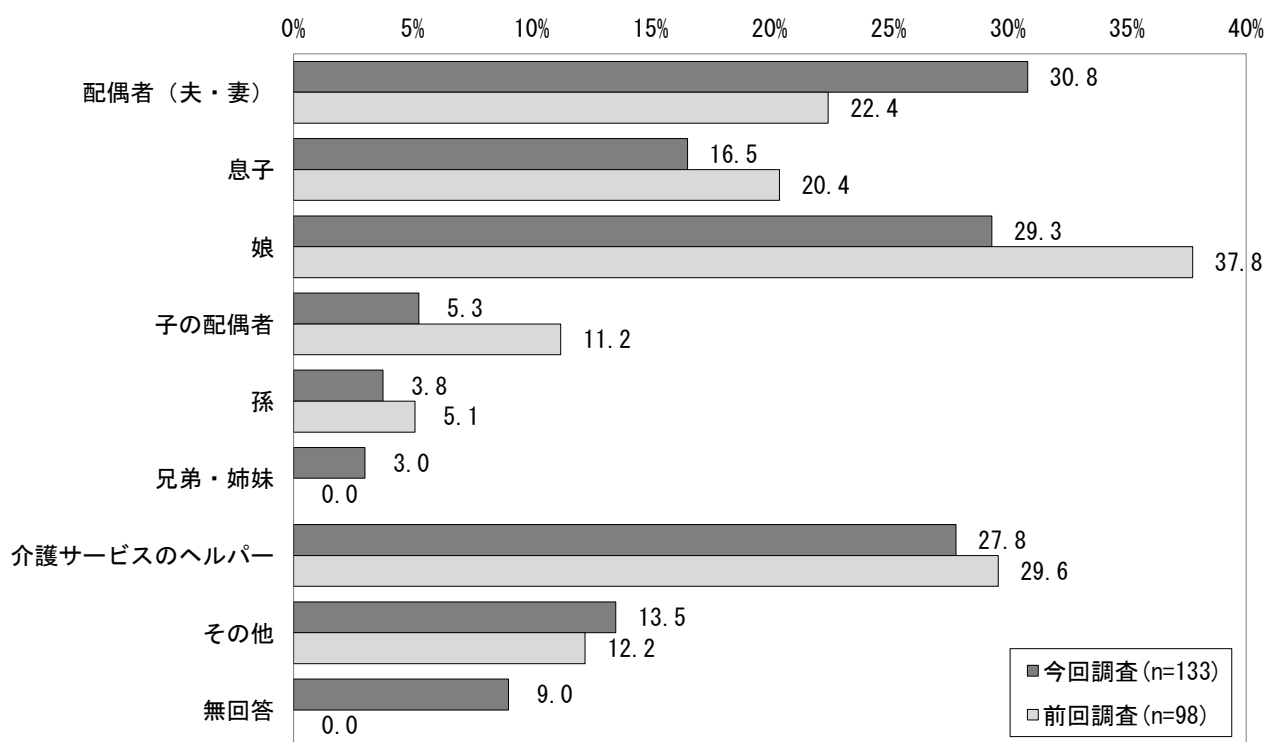


問1（2）② 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

※問1（2）で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に質問

全体では、「配偶者（夫・妻）」が30.8%と最も高く、「娘」が29.3%、「介護サービスのヘルパー」が27.8%と続いている。

経年比較では「娘」が特に減少しており、「配偶者（夫・妻）」に増加がみられる。

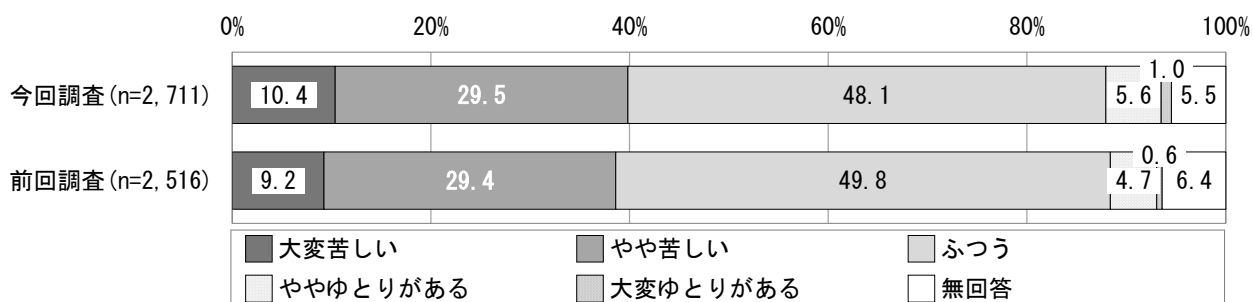


第2章 調査の結果

問1（3）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

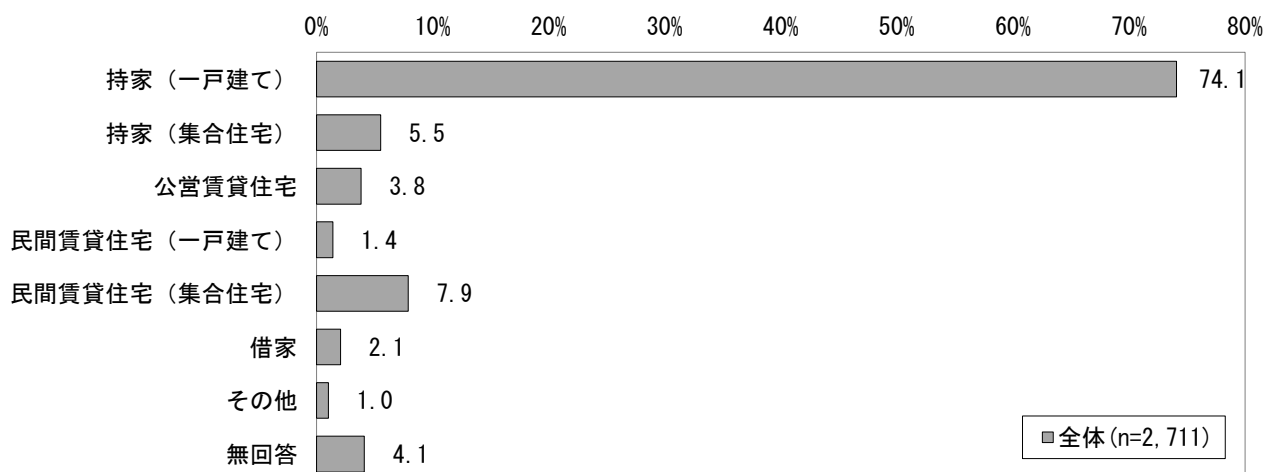
全体では、「ふつう」が48.1%と最も高く、「やや苦しい」が29.5%、「大変苦しい」が10.4%と続いている。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は39.9%となっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



問1（4）お住まいは戸建て、または集合住宅のどちらですか

全体では、「持家（戸建て）」が74.1%と最も高く、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が7.9%、「持家（集合住宅）」が5.5%と続いている。



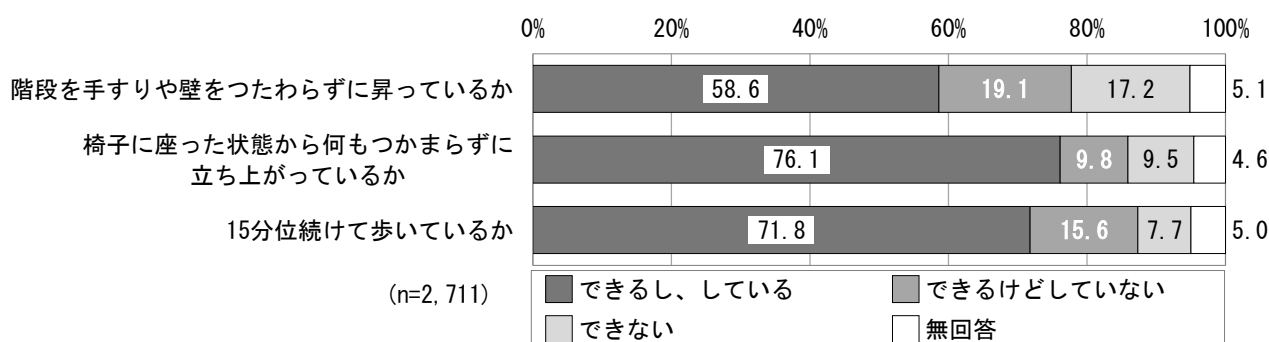
問2 からだを動かすことについて

問2（1） 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

問2（2） 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

問2（3） 15分位続けて歩いていますか

運動器機能に関するそれぞれの設問をみると、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』が大半を占めているが、＜階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか＞は、「できない」が17.2%と相対的に高くなっている。

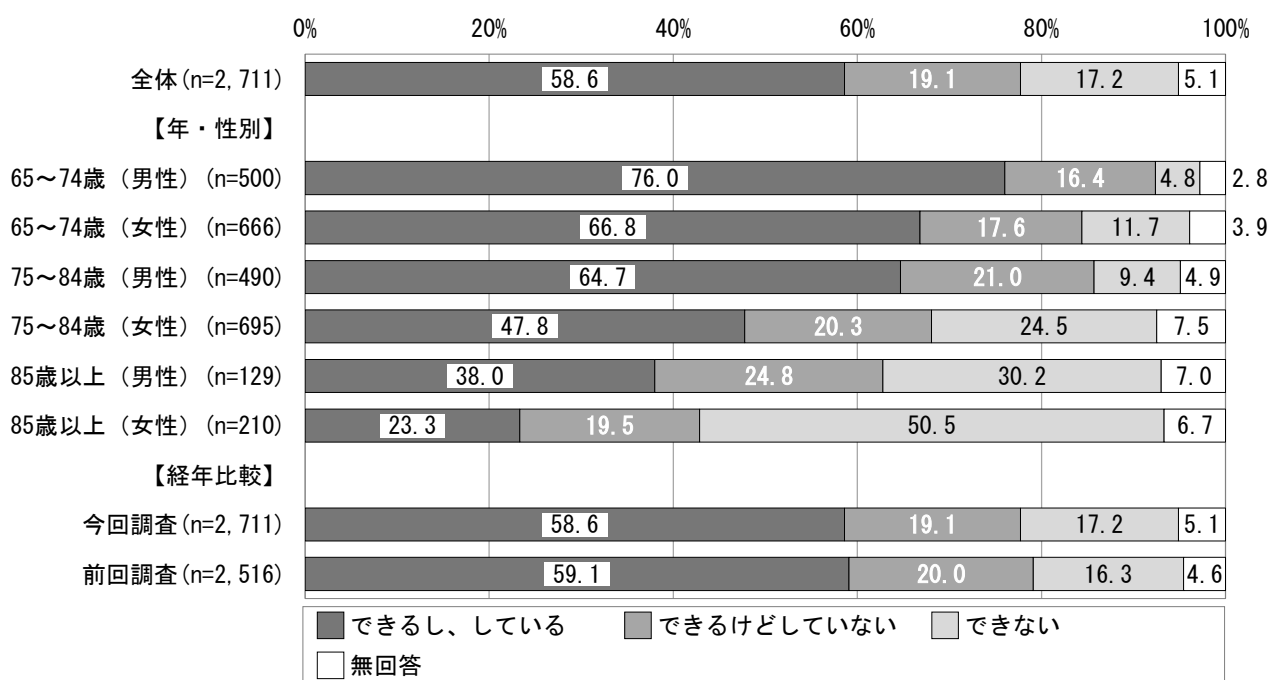


問2（1） 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

全体では、「できるし、している」が58.6%と最も高く、「できるけどしていない」が19.1%、「できない」が17.2%と続いている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「できるし、している」は減少しており、いずれの年齢層も男性のほうが女性よりも「できるし、している」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



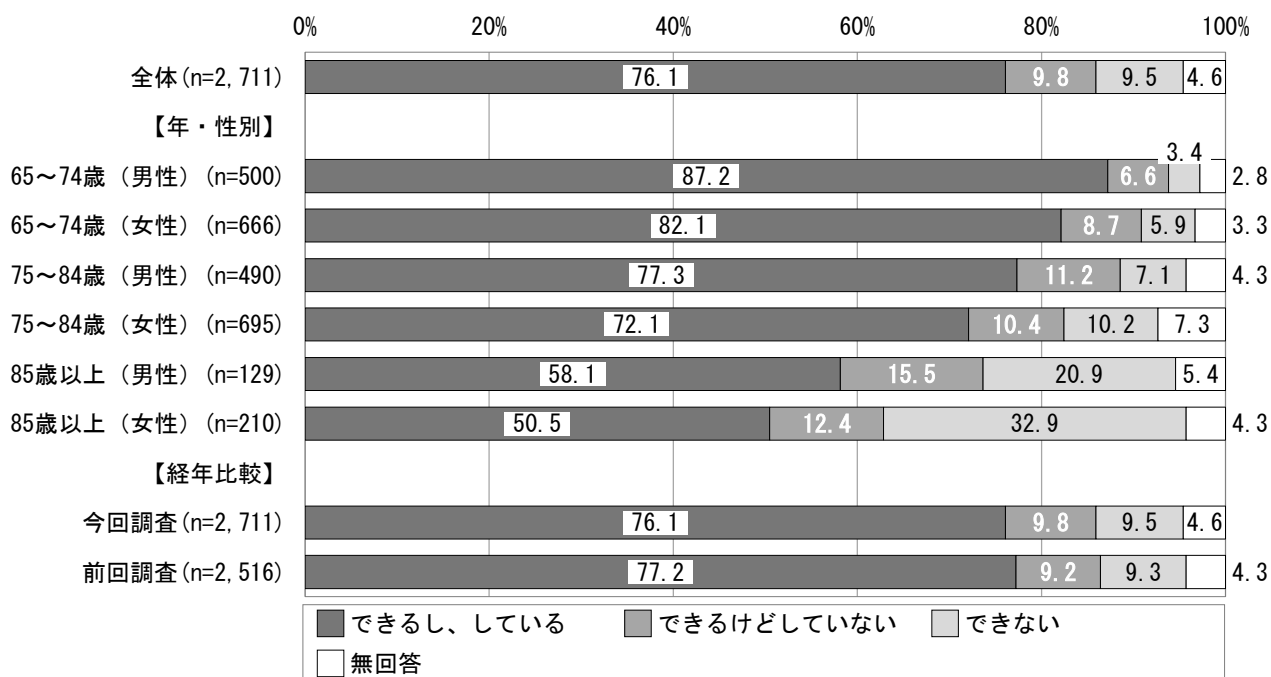
第2章 調査の結果

問2（2） 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

全体では、「できるし、している」が76.1%と最も高く、「できるけどしていない」が9.8%、「できない」が9.5%と続いている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「できるし、している」は減少しており、いずれの年齢層も男性のほうが女性よりも「できるし、している」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

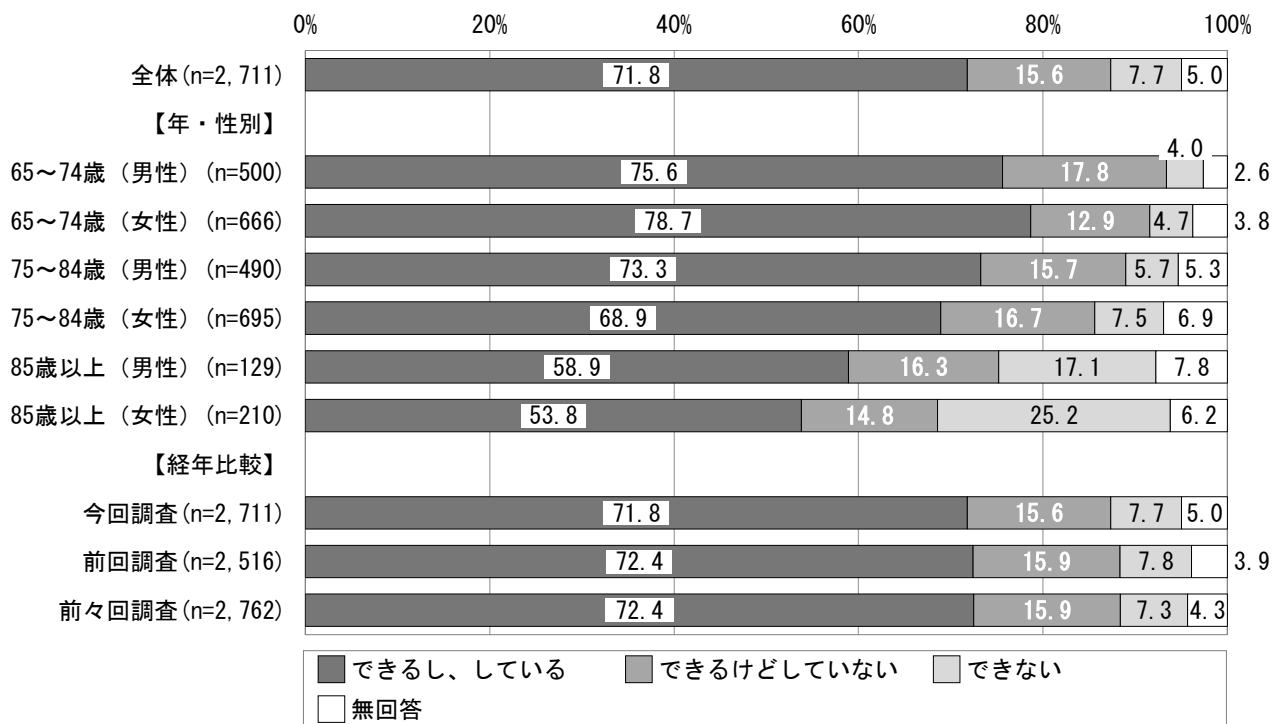


問2 (3) 15分位続けて歩いていますか

全体では、「できるし、している」が71.8%と最も高く、「できるけどしていない」が15.6%、「できない」が7.7%と続いている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「できるし、している」は減少している。75歳以上においては男性のほうが女性よりも「できるし、している」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



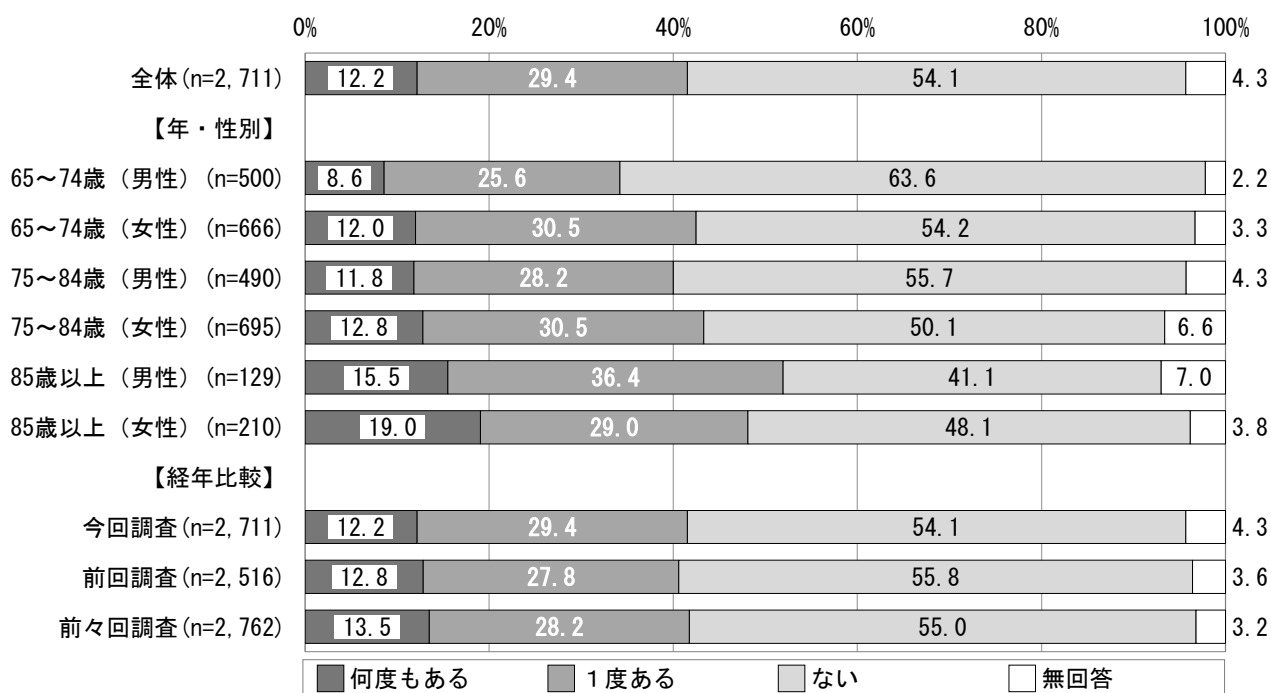
第2章 調査の結果

問2（4） 過去1年間に転んだ経験がありますか

全体では、「ない」が54.1%と最も高く、「1度ある」が29.4%、「何度もある」が12.2%と続いている。「何度もある」と「1度ある」を合わせた『ある』は41.6%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ『ある』は増加している。85歳以上において、男性のほうが女性よりも『ある』が51.9%と高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

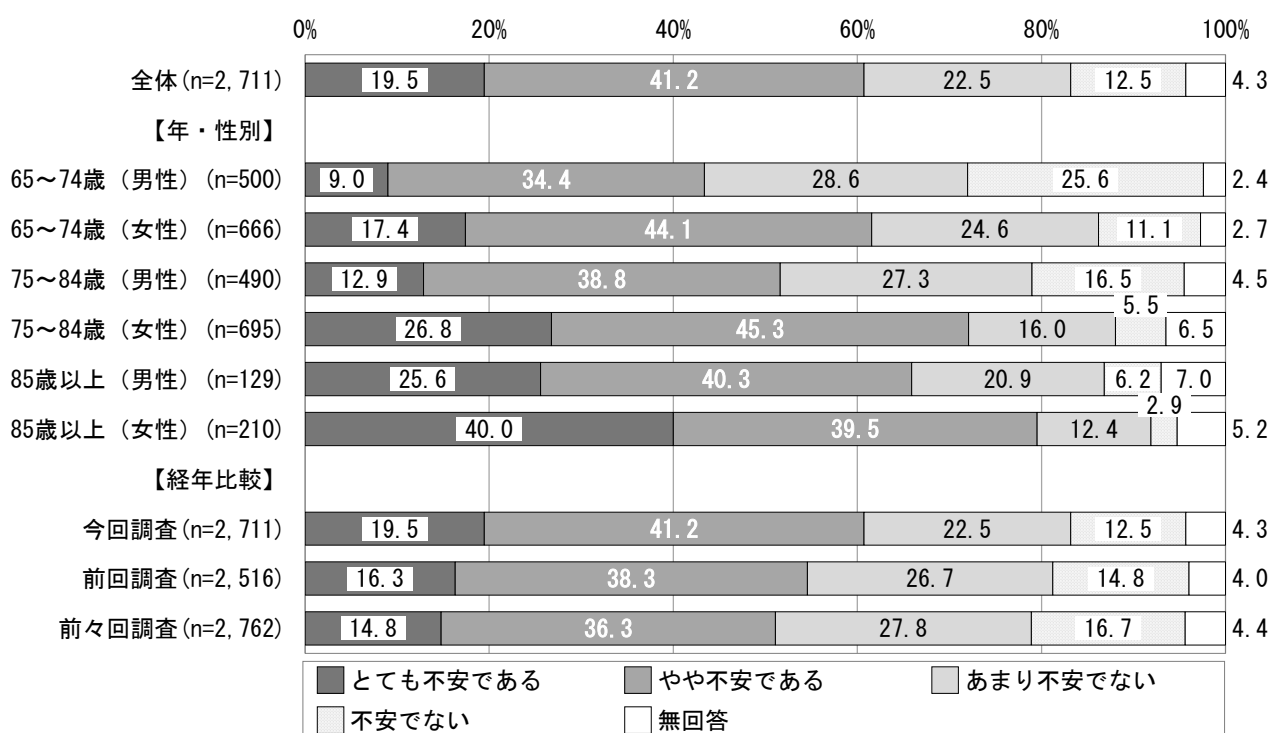


問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか

全体では、「やや不安である」が41.2%と最も高く、「あまり不安でない」が22.5%、「とても不安である」が19.5%と続いている。「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安がある』は60.7%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ『不安がある』は増加しており、いずれの年齢層も女性のほうが男性よりも『不安がある』が高くなっている。

経年比較では、『不安がある』に増加傾向がみられる。



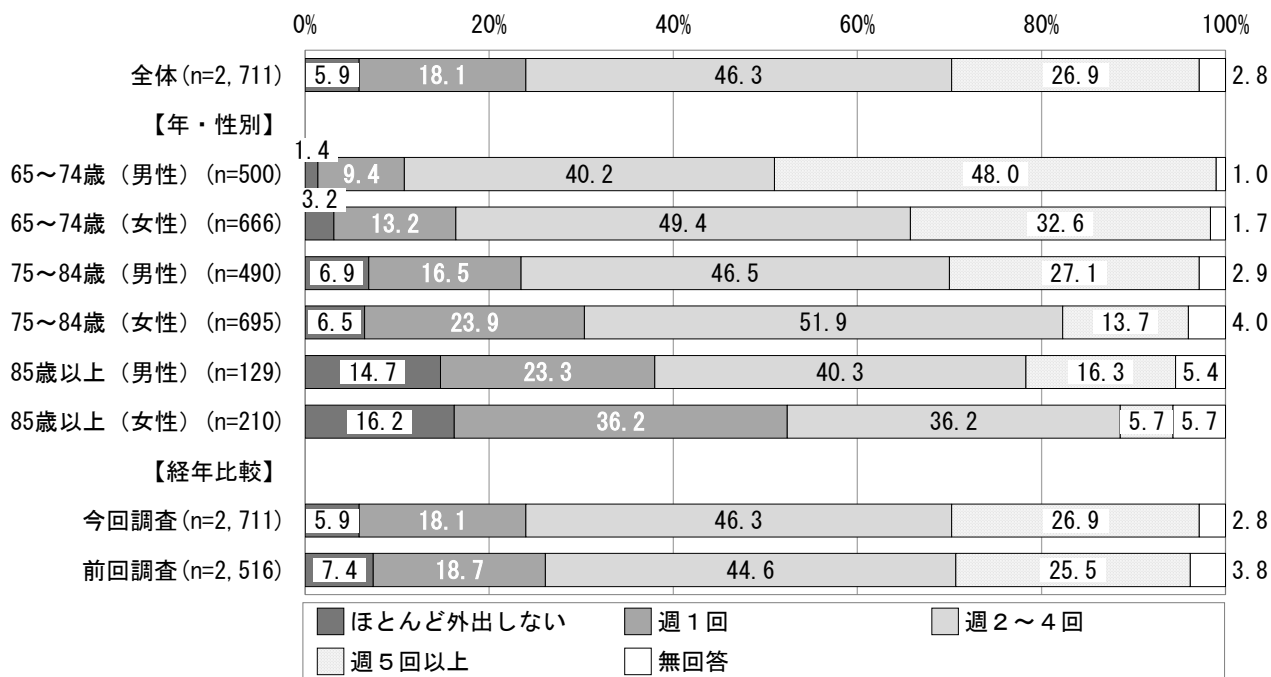
第2章 調査の結果

問2（6） 週に1回以上は外出していますか

全体では、「週2～4回」が46.3%と最も高く、「週5回以上」が26.9%、「週1回」が18.1%と続いている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ外出回数の減少がみられ、85歳以上の「ほとんど外出しない」は男性が14.7%、女性が16.2%となっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

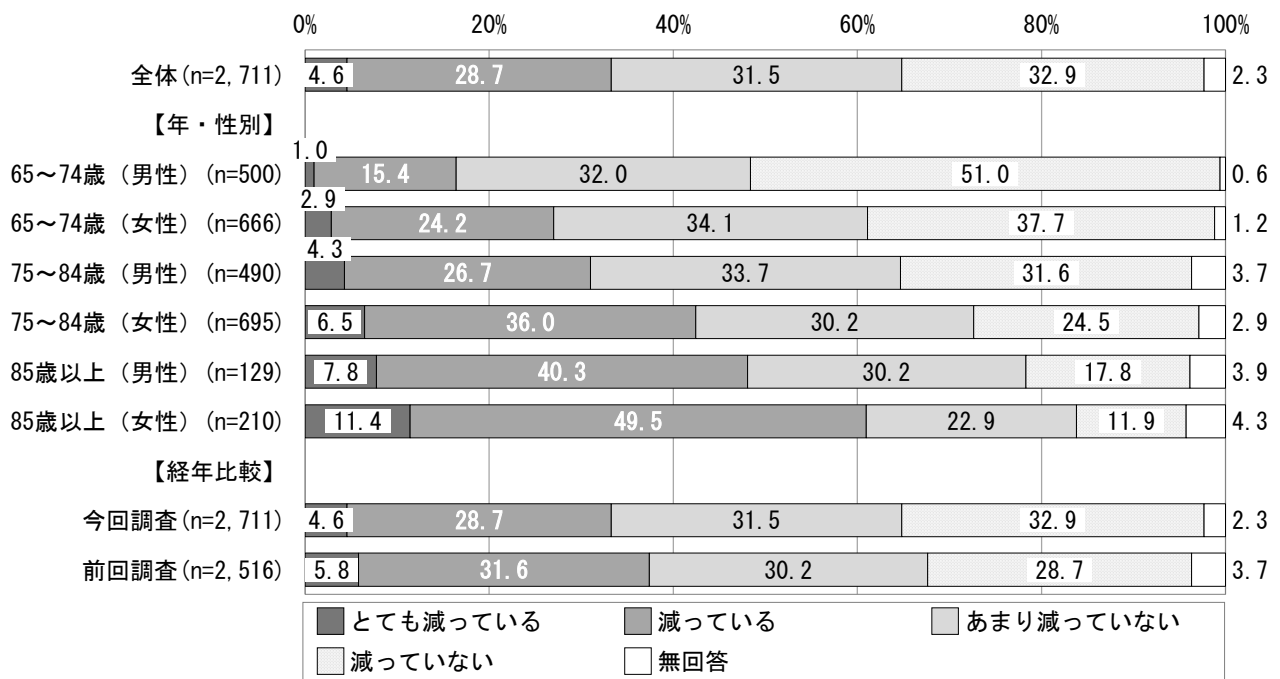


問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

全体では、「減っていない」が32.9%と最も高く、「あまり減っていない」が31.5%、「減っている」が28.7%と続いている。「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』は33.3%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ外出回数の減少がみられ、いずれの年齢層も女性のほうが男性よりも『減っている』が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



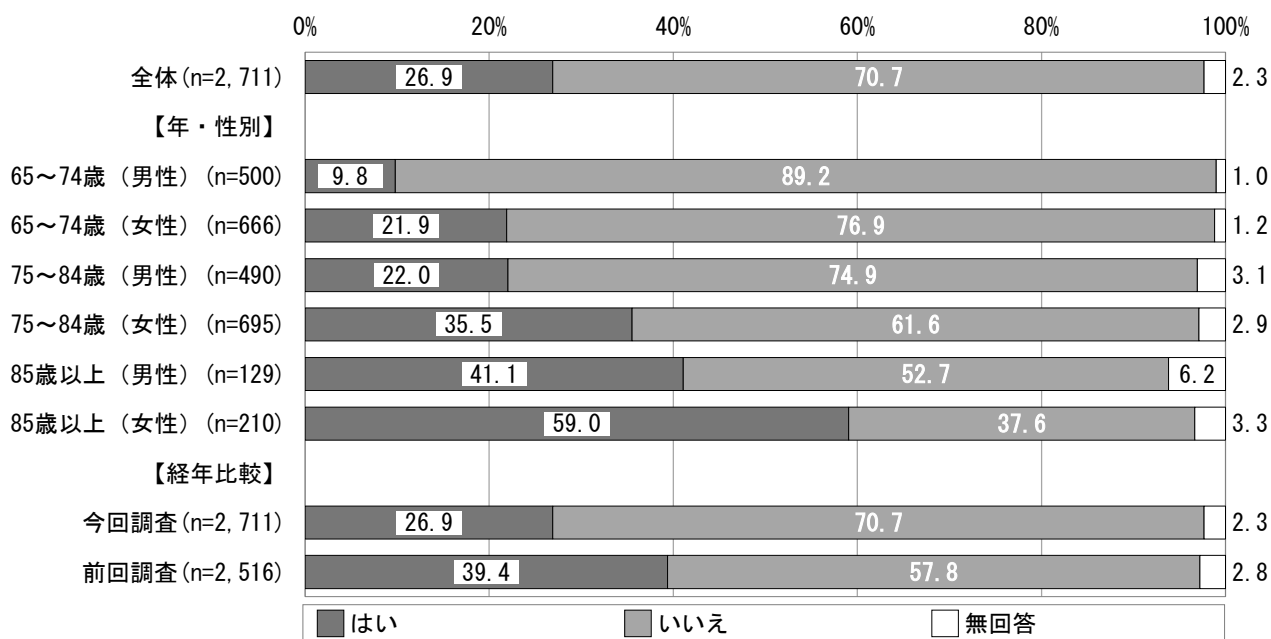
第2章 調査の結果

問2（8） 外出を控えていますか

全体では、「はい」が26.9%、「いいえ」が70.7%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ外出回数の減少がみられ、いずれの年齢層も女性のほうが男性よりも「はい」が高くなっている。

経年比較では、「はい」に減少がみられる。前回調査時はコロナ禍にあり、今回調査では感染症への不安が軽減しているものと考えられる。

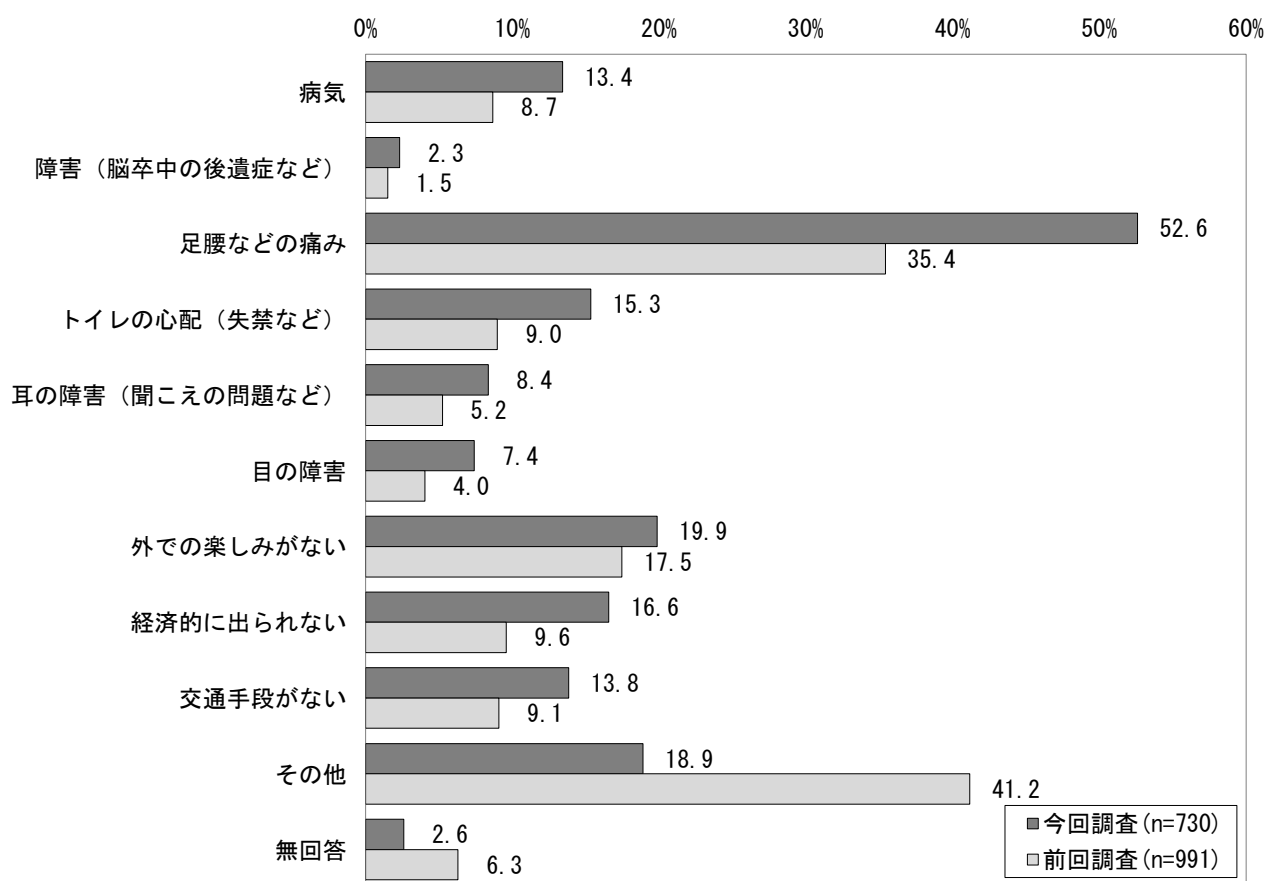


問2（8）① 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

※問2（8）で「はい」と回答した方に質問

全体では、「足腰などの痛み」が52.6%と最も高く、「外での楽しみがない」が19.9%、「経済的に出られない」が16.6%と続いている。

経年比較では「足腰などの痛み」は、今回調査（52.6%）が前回調査（35.4%）を17.2ポイント上回っている。



第2章 調査の結果

問2（9） 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

全体では、「徒歩」が56.0%と最も高く、「自動車（自分で運転）」が51.5%、「路線バス」が33.7%と続いている。

年・性別にみると、65～74歳、75～84歳において男性は「自動車（自分で運転）」、女性は「徒歩」が最も高くなっている。

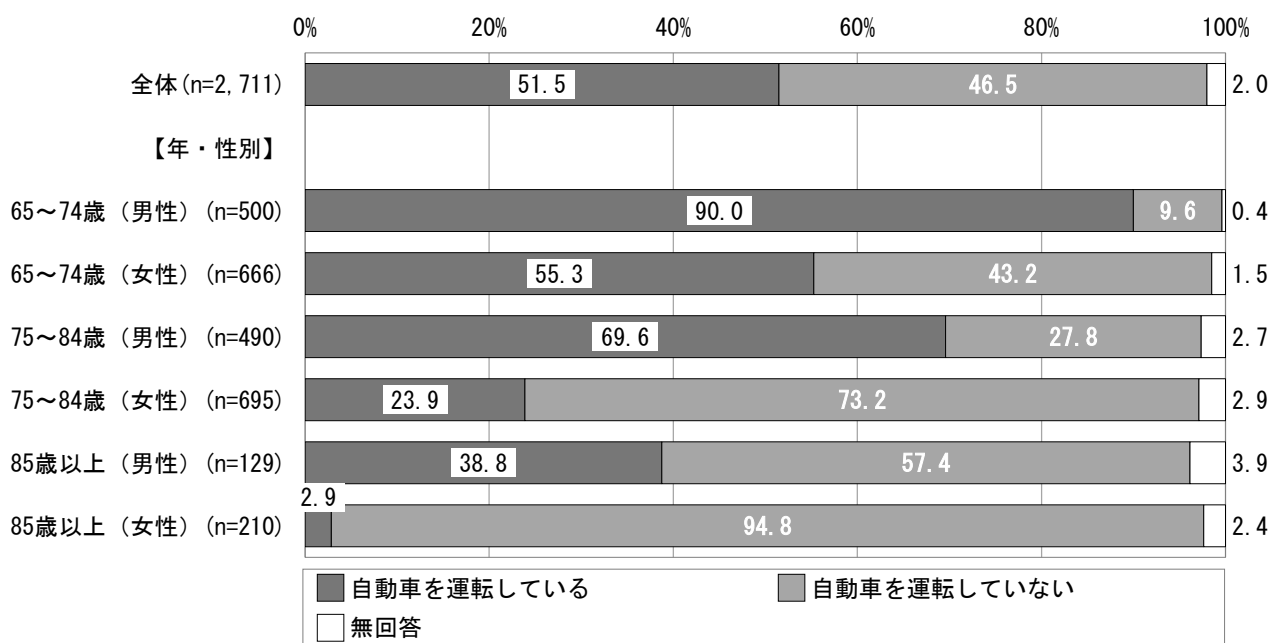
経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

(%)	徒歩	自動車 (自分で運転)	路線バス	自動車 (人に乗せてもらう)	自転車	タクシー	電車	病院や施設のバス	バイク	歩行器・シルバーカー	電動車いす(カート)	車いす	その他	無回答
全体 (n=2,711)	56.0	51.5	33.7	27.6	20.4	19.1	2.2	1.5	0.7	0.7	0.1	0.1	0.6	2.0
【年・性別】														
65～74歳（男性）(n=500)	52.0	90.0	17.8	9.2	20.2	8.4	3.0	0.6	2.4	0.0	0.2	0.2	0.2	0.4
65～74歳（女性）(n=666)	59.5	55.3	37.5	35.0	20.3	15.5	3.8	0.5	0.0	0.2	0.0	0.2	0.3	1.5
75～84歳（男性）(n=490)	56.1	69.6	25.7	8.2	24.5	13.3	0.8	0.6	0.6	0.2	0.2	0.0	0.2	2.7
75～84歳（女性）(n=695)	59.3	23.9	45.5	40.4	21.6	25.9	1.4	1.7	0.6	0.9	0.1	0.1	1.0	2.9
85歳以上（男性）(n=129)	54.3	38.8	27.9	24.8	23.3	25.6	0.8	3.1	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	3.9
85歳以上（女性）(n=210)	44.3	2.9	42.4	53.3	5.7	43.8	1.4	7.6	0.0	4.8	0.5	0.0	1.4	2.4
【経年比較】														
今回調査 (n=2,711)	56.0	51.5	33.7	27.6	20.4	19.1	2.2	1.5	0.7	0.7	0.1	0.1	0.6	2.0
前回調査 (n=2,516)	55.0	49.4	32.7	27.1	23.6	19.4	1.3	1.1	0.5	0.5	0.1	0.3	1.2	0.0

その他として、「飛行機」「シニアカー」がある。

問2 (9) ① 自動車を運転しているか (問2 (9) の結果より)

全体では、「自動車を運転している」が 51.5%、「自動車を運転していない」が 46.5%となっている。
 年・性別では、85歳以上でも男性の「自動車（自分で運転）」は 38.8%となっている。



第2章 調査の結果

問2 (10) 外出する際の移動に関して不安に思うことはありますか (いくつでも)

全体では、「ない」が51.8%と最も高く、「外で歩くこと」が20.5%、「自分で自転車や自動車を運転すること」が16.1%と続いている。

自動車運転の有無でみると、自動車を運転している人の「ない」が64.3%となっており、自動車を運転していない人よりも不安は少なくなっている。

経年比較では、「ない」が減少している。それぞれの不安には微増しているものもあるが、全体として大きな違いはみられない。

(%)	ない	外で歩くこと	自分で自転車や自動車を運転すること	駅やバス停まで遠いこと	経済的負担が大きいこと	送迎してくれる人がいないこと	介助者がいないこと	杖や歩行器等がないこと	その他	無回答
全体 (n=2, 711)	51.8	20.5	16.1	6.8	6.6	6.0	2.1	0.8	3.3	7.4
【自動車を運転しているか】										
自動車を運転している (n=1, 396)	64.3	10.5	23.6	3.2	4.7	1.9	0.6	0.3	1.8	3.4
自動車を運転していない (n=1, 260)	39.5	32.2	8.1	11.0	8.9	10.8	3.8	1.4	5.2	9.4
【経年比較】										
今回調査 (n=2, 711)	51.8	20.5	16.1	6.8	6.6	6.0	2.1	0.8	3.3	7.4
前回調査 (n=2, 516)	56.8	18.1	13.1	5.4	6.3	4.7	2.0	0.8	3.3	0.0

問3 食べることについて

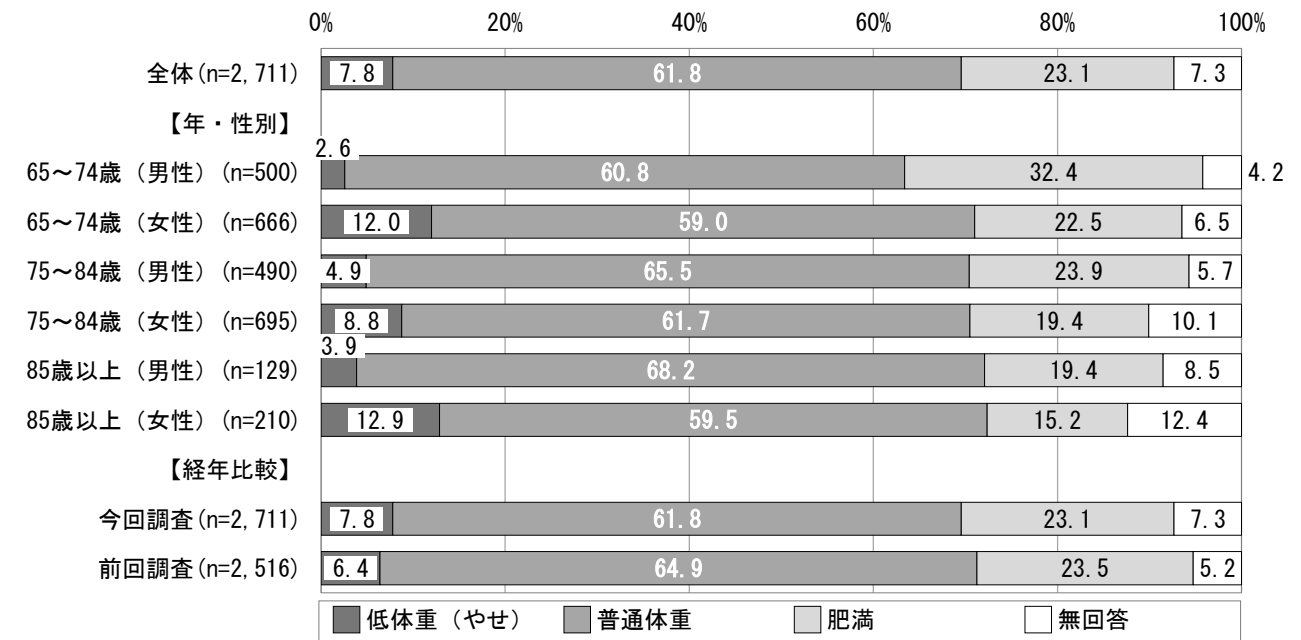
問3（1） BMI

身長と体重から算出した BMI（肥満度を表す体格指数）について、BMI が 25 以上を「肥満」、18.5～25 を「普通体重」、18.5 未満を「低体重（やせ）」と判定した。

全体では、「普通体重」が 61.8%と最も高く、「肥満」が 23.1%、「低体重（やせ）」が 7.8%と続いている。

年・性別にみると、65～74 歳の男性の「肥満」が 32.4%と最も高くなっている。また、いずれの年齢層も女性のほうが男性よりも「低体重（やせ）」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



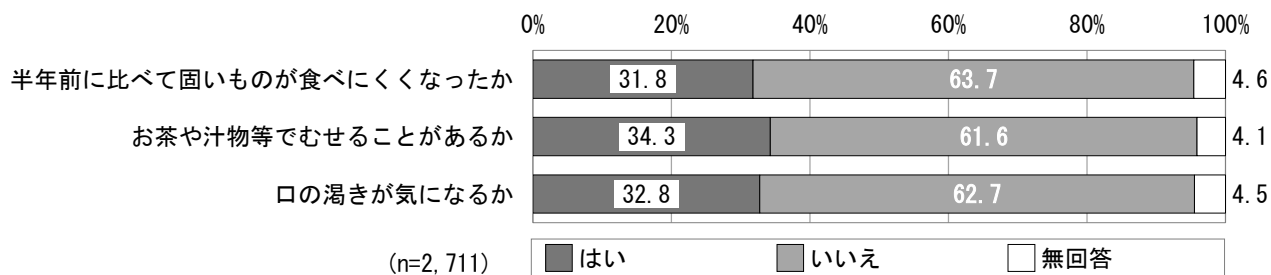
第2章 調査の結果

問3（2） 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

問3（3） お茶や汁物等でむせることがありますか

問3（4） 口の渇きが気になりますか

口腔機能に関するそれぞれの設問をみると、「いいえ」が約6割となっている。「はい」が最も高いのは、＜お茶や汁物等でむせることがあるか＞で34.3%となっている。

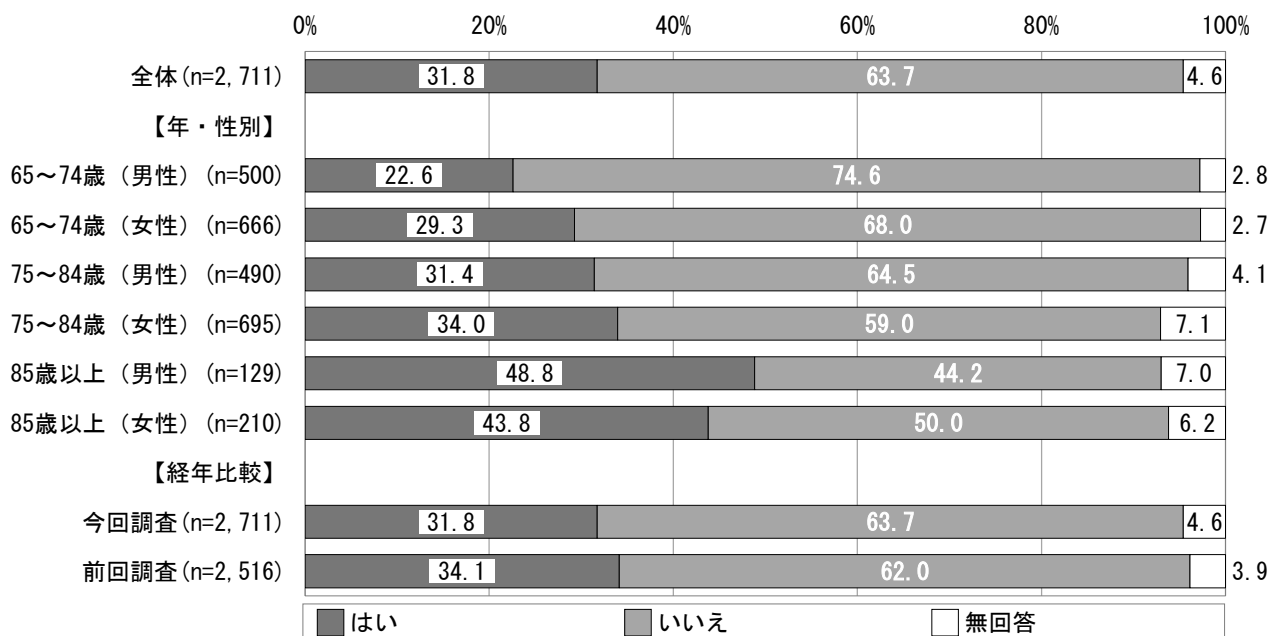


問3（2） 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

全体では、「はい」が31.8%、「いいえ」が63.7%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「はい」は増加している。85歳以上において、男性のほうが女性よりも「はい」が48.8%と高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

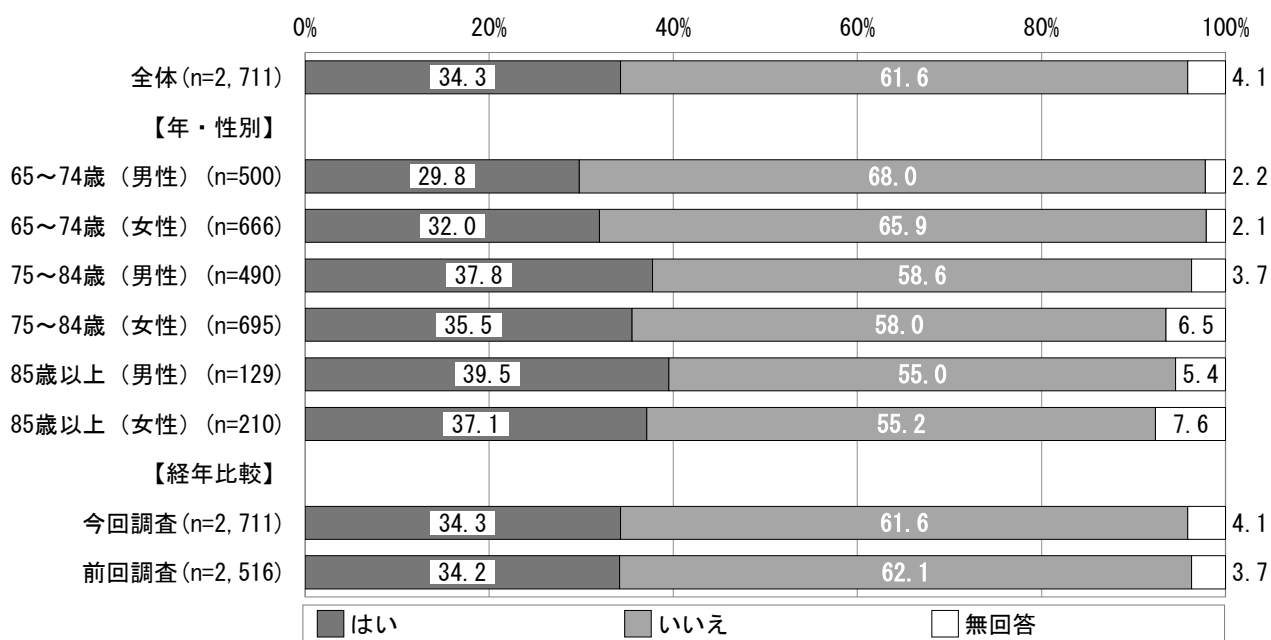


問3（3） お茶や汁物等でむせることがありますか

全体では、「はい」が34.3%、「いいえ」が61.6%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「はい」は増加している。性別による大きな傾向の違いはみられない。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



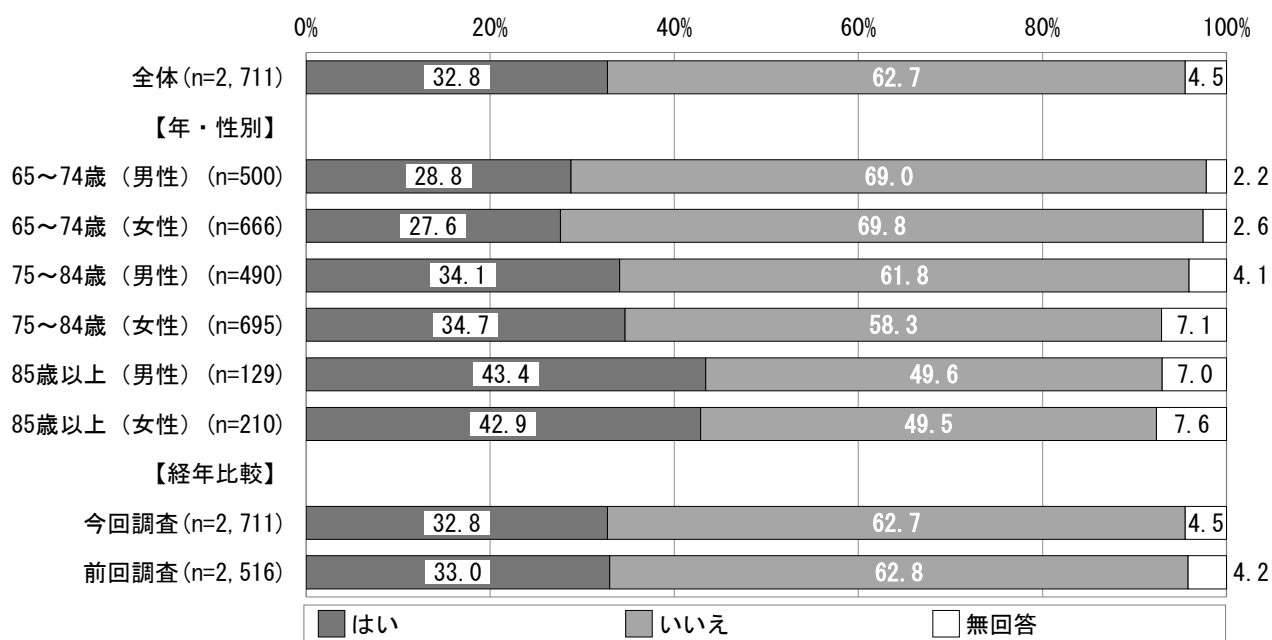
第2章 調査の結果

問3（4） 口の渇きが気になりますか

全体では、「はい」が32.8%、「いいえ」が62.7%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「はい」は増加している。性別による大きな傾向の違いはみられない。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



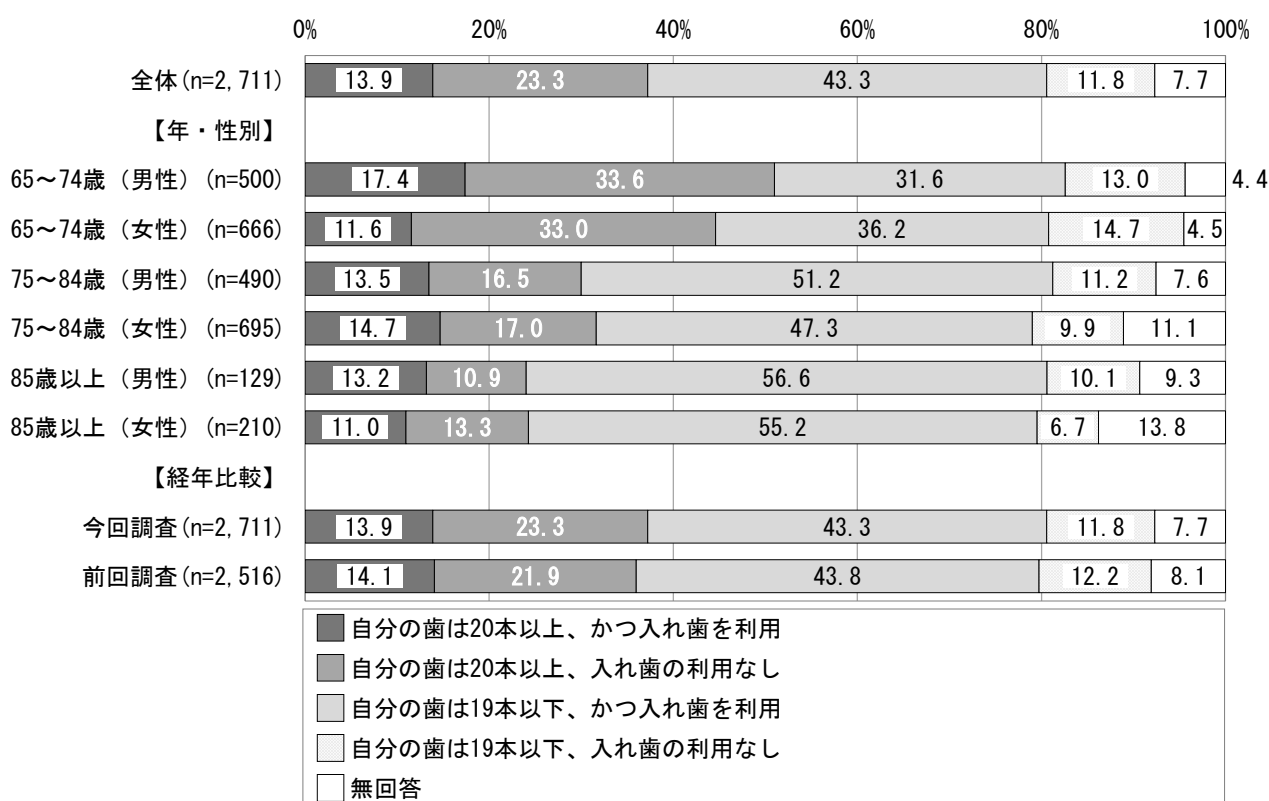
問3 (5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

全体では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 43.3%と最も高く、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 23.3%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.9%と続いている。「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は 20 本以上』は 37.2%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ『自分の歯は 20 本以上』は減少している。65～74 歳において女性のほうが男性よりも『自分の歯は 20 本以上』が低くなっているが、75～84 歳以上では性別による大きな傾向の違いはみられない。また、80 歳で『自分の歯は 20 本以上』は 36.4%となっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



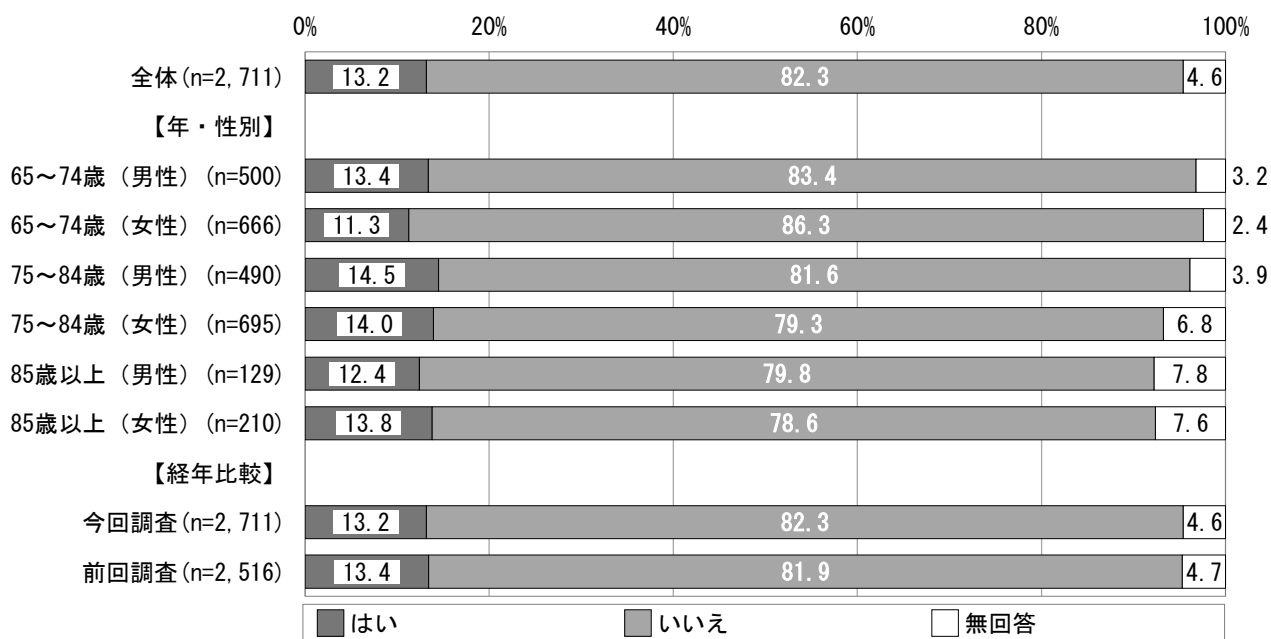
第2章 調査の結果

問3（6） 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

全体では、「はい」が13.2%、「いいえ」が82.3%となっている。

年・性別による大きな傾向の違いはみられない。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



問3 (7) どなたかと食事をとる機会がありますか

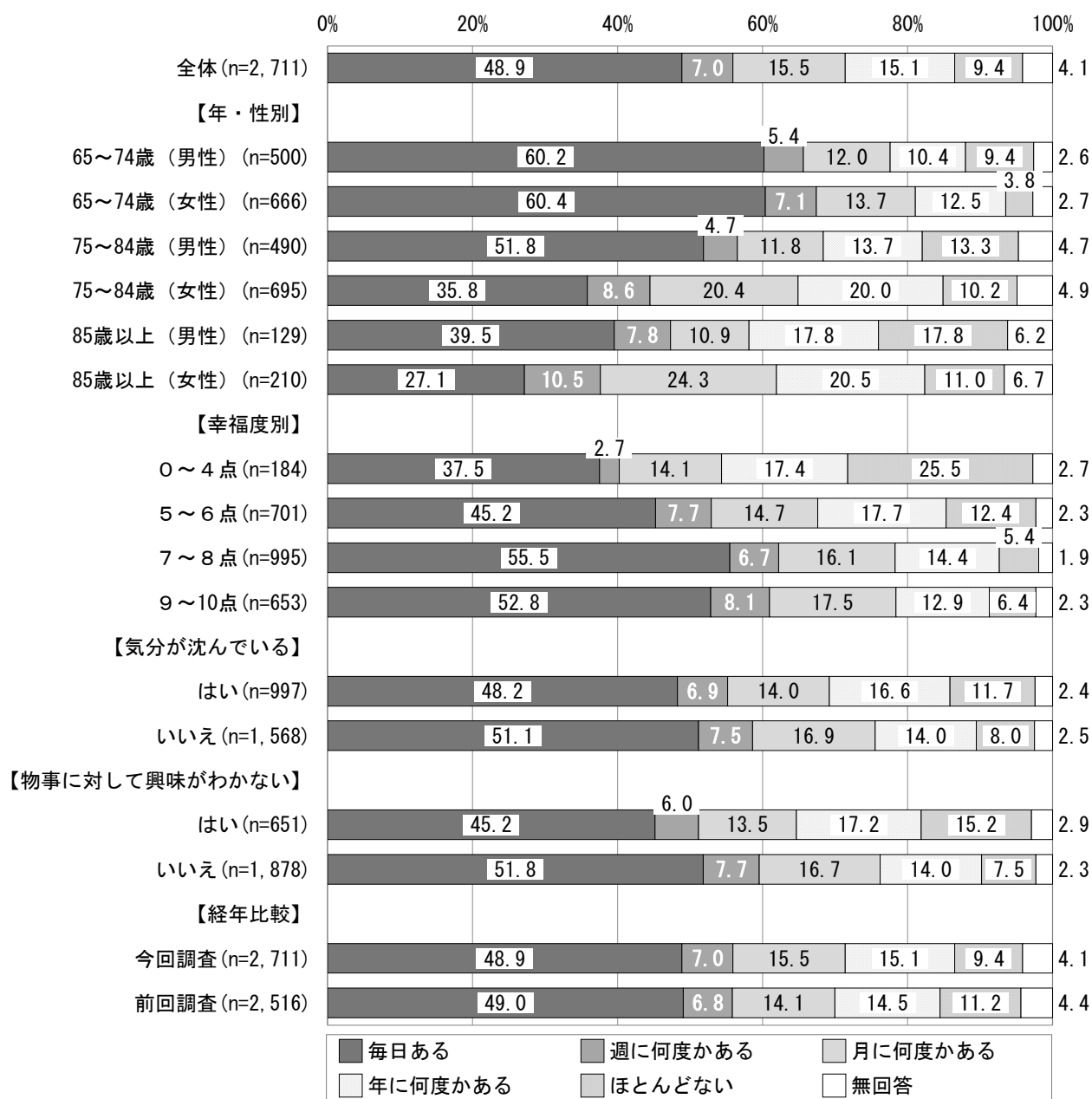
全体では、「毎日ある」が48.9%と最も高く、「月に何度かある」が15.5%、「年に何度かある」が15.1%と続いている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「ほとんどない」は増加している。「毎日ある」と「週に何度かある」を合わせた『毎週ある』は、75～84歳以上では男性のほうが女性よりも高くなっている。

幸福度別にみると、幸福度7点以上はいずれも「毎日ある」が半数を超えている。

鬱リスクの指標（気分の沈み、物事に対する興味）別にみると、気分の沈みの有無による大きな傾向の違いはみられないが、物事に対する興味がわからないことのある人は会食頻度が低い傾向がみられる。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



問4 毎日の生活について

問4（1）物忘れが多いと感じますか

全体では、「はい」が42.2%、「いいえ」が55.1%となっている。

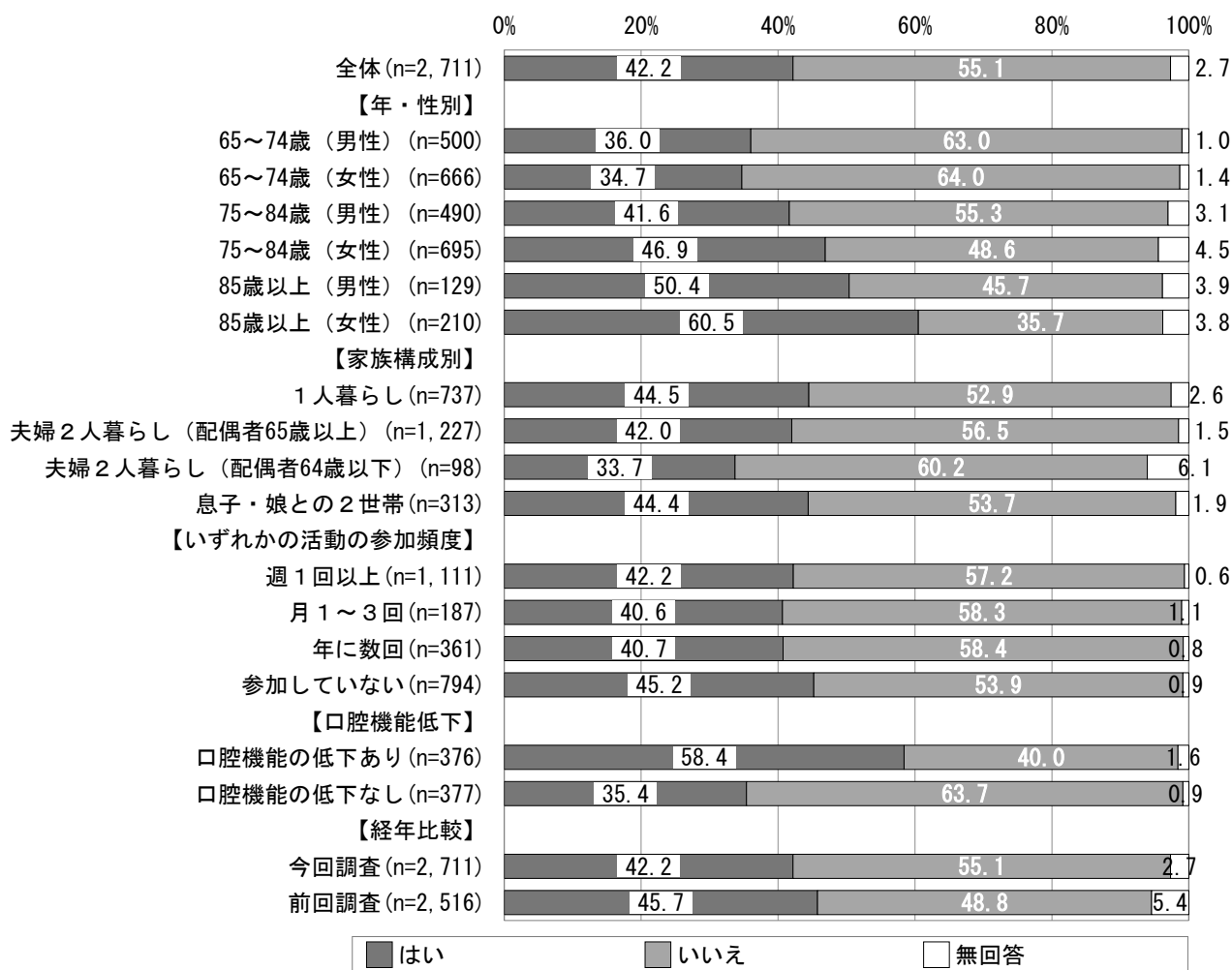
年・性別にみると、年齢があがるにつれ「はい」は増加している。75～84歳以上では女性のほうが男性よりも「はい」が高くなっている。

家族構成別では、配偶者が64歳以下の夫婦2人暮らしの「はい」が低い、年齢によるものとみられ、家族構成による大きな傾向の違いはみられない。

地域活動（いずれかの活動）への参加頻度別では、大きな傾向の違いはみられない。

口腔機能低下の有無別では、口腔機能の低下があるほうが「はい」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



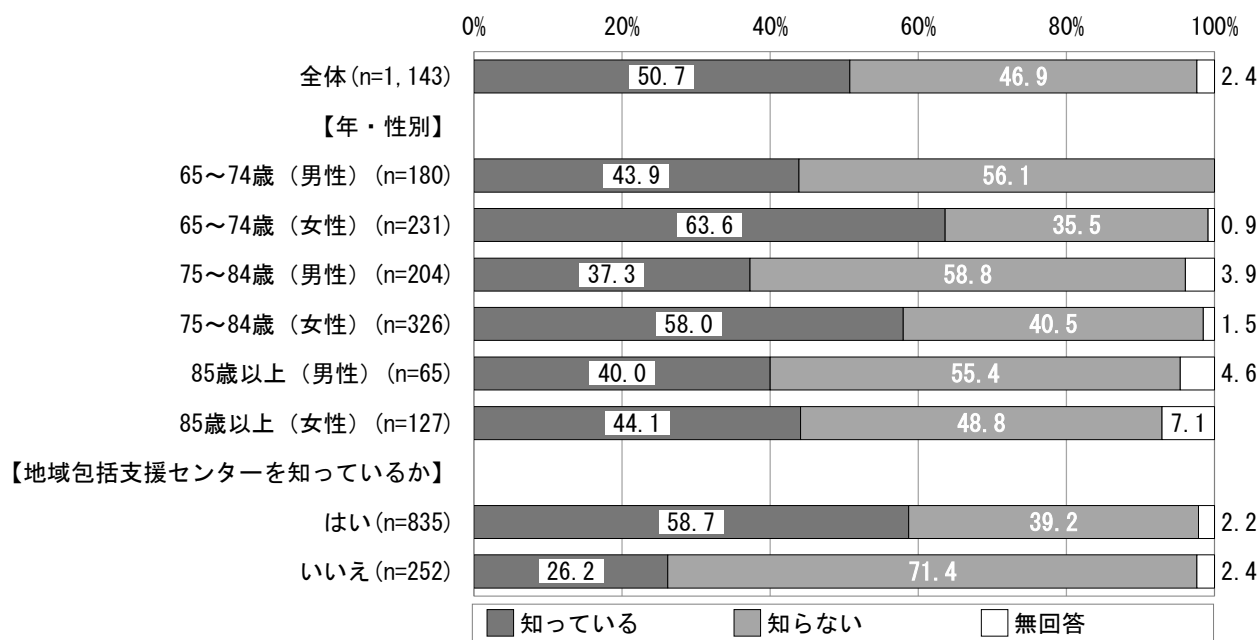
問 4 (1) ① 物忘れ外来を知っていますか

※問 4 (1) で「はい」と回答した方に質問

全体では、「知っている」が 50.7%、「知らない」が 46.9%となっている。

年・性別にみると、いずれの年齢層でも女性のほうが男性よりも「知っている」が高くなっている。

地域包括支援センターを知っているかどうかでみると、地域包括支援センターを知っている人は知らない人よりも「知っている」が高くなっている。



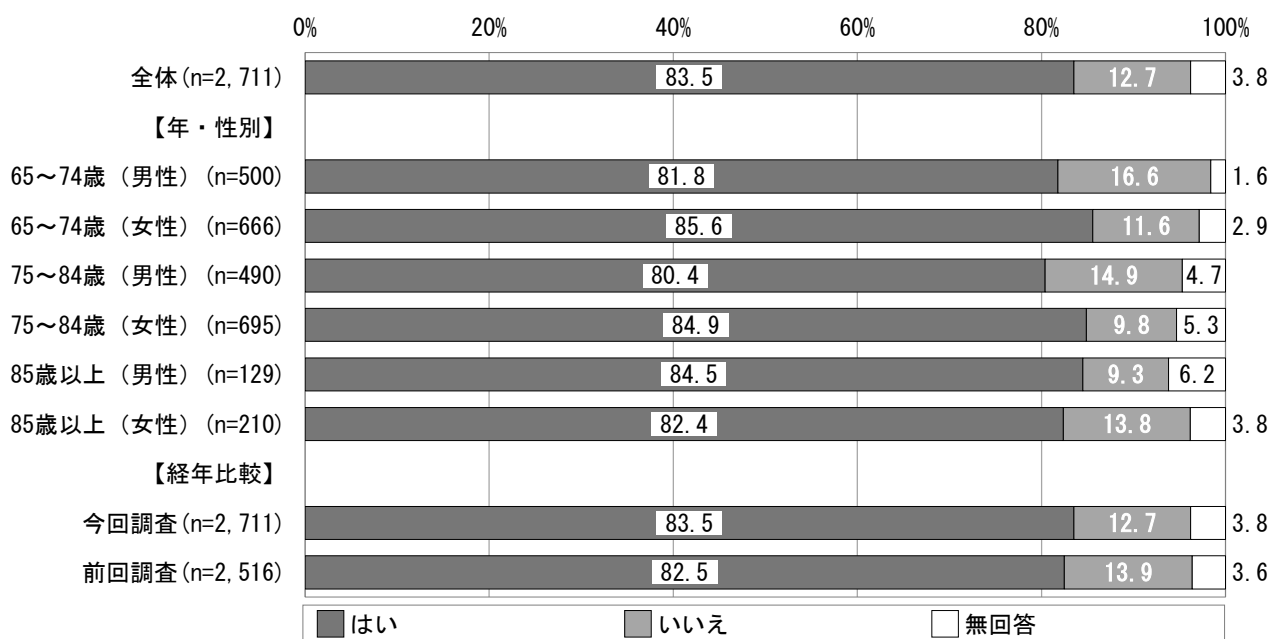
第2章 調査の結果

問4（2） 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

全体では、「はい」が83.5%、「いいえ」が12.7%となっている。

年・性別による大きな傾向の違いはみられない。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

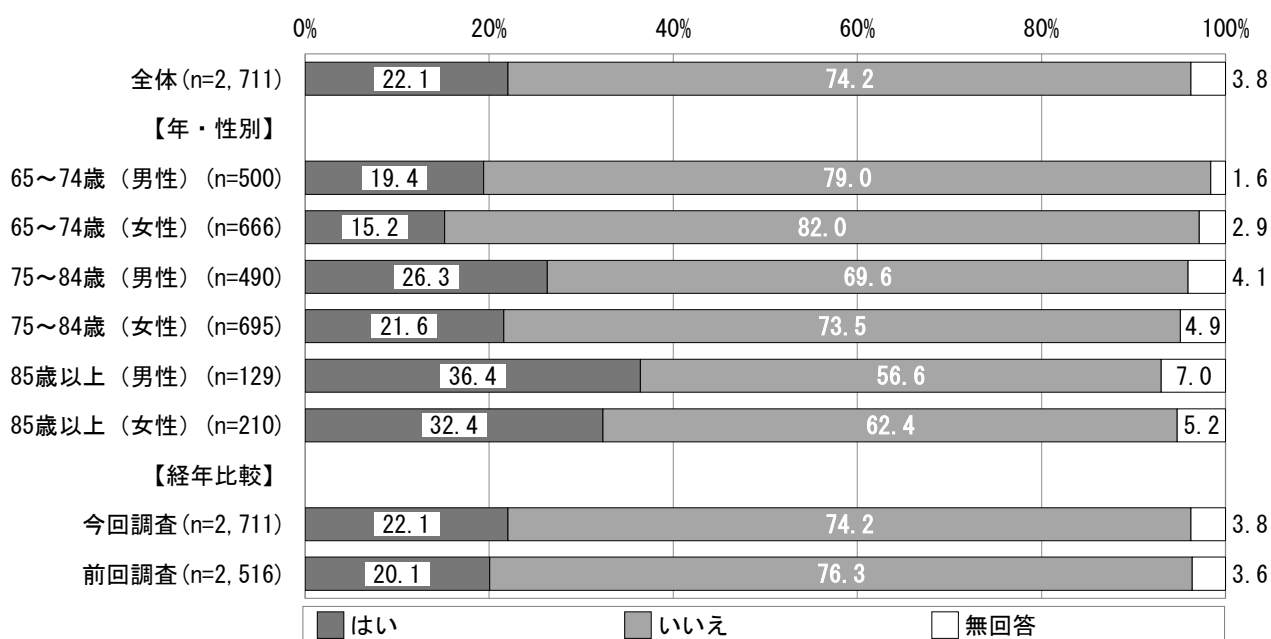


問4（3） 今日が何月何日かわからない時がありますか

全体では、「はい」が22.1%、「いいえ」が74.2%となっている。

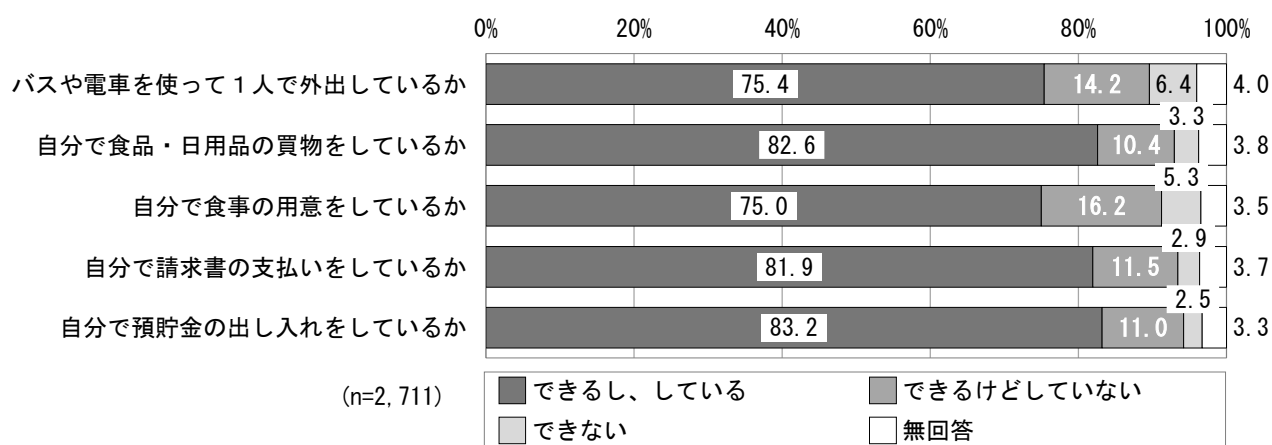
年・性別にみると、年齢があがるにつれ「はい」は増加している。いずれの年齢層でも男性のほうが女性よりも「はい」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



- 問4（4） バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）
 問4（5） 自分で食品・日用品の買物をしていますか
 問4（6） 自分で食事の用意をしていますか
 問4（7） 自分で請求書の支払いをしていますか
 問4（8） 自分で預貯金の出し入れをしていますか

手段的日常生活動作（IADL）に関するそれぞれの設問をみると、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』が約9割となっているが、＜バスや電車を使って1人で外出しているか＞は、「できない」が6.4%と相対的に高くなっている。



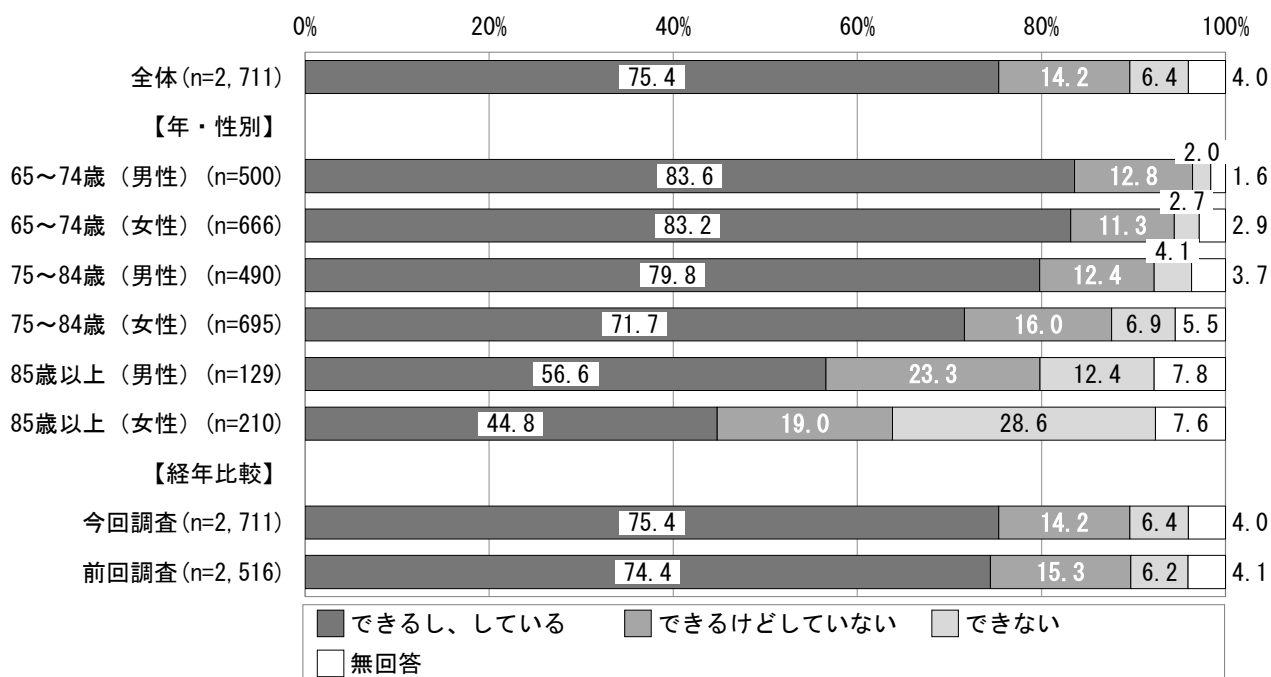
第2章 調査の結果

問4（4） バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

全体では、「できるし、している」が75.4%と最も高く、「できるけどしていない」が14.2%、「できない」が6.4%と続いている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「できるし、している」は減少している。いずれの年齢層でも男性のほうが女性よりも「できるし、している」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

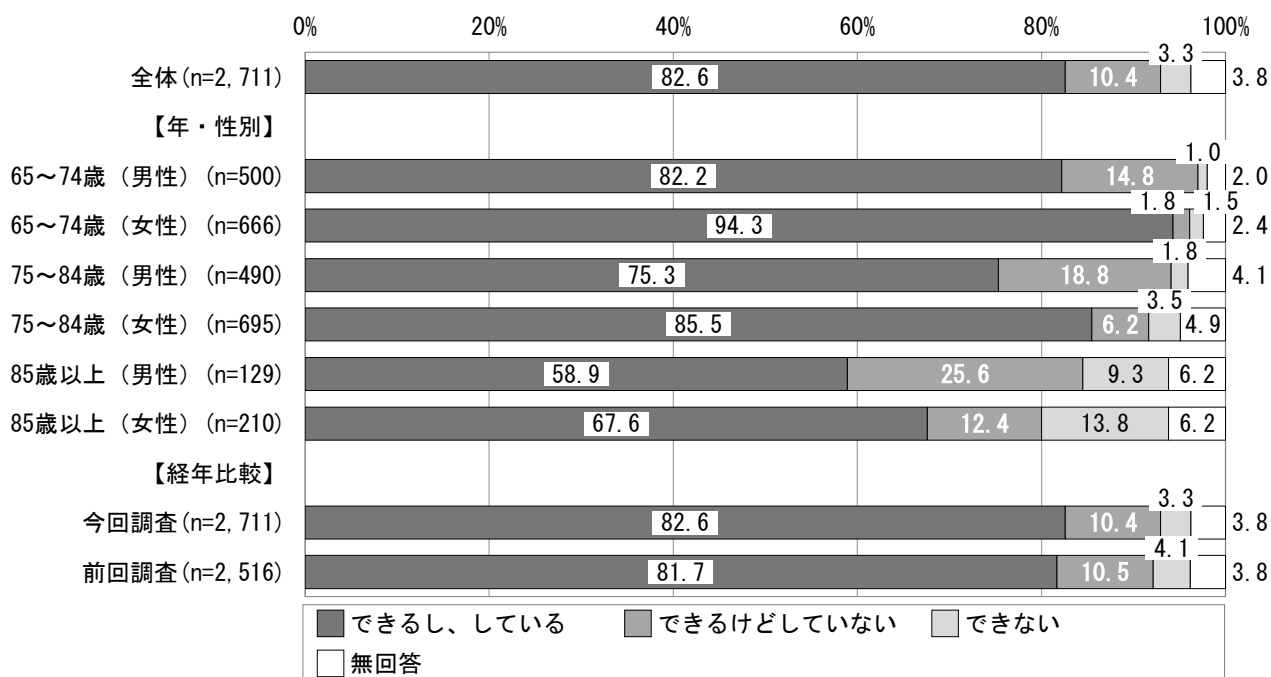


問4（5） 自分で食品・日用品の買物をしていますか

全体では、「できるし、している」が82.6%と最も高く、「できるけどしていない」が10.4%、「できない」が3.3%と続いている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「できるし、している」は減少している。いずれの年齢層でも女性のほうが男性よりも「できるし、している」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



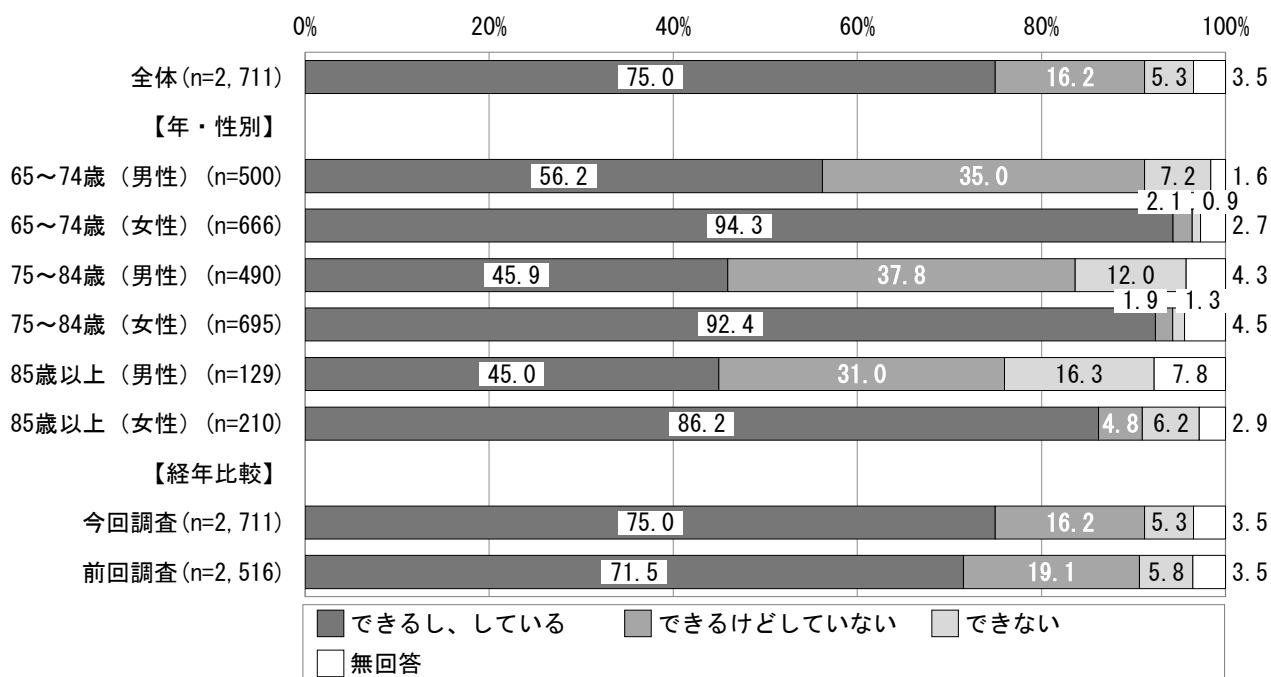
第2章 調査の結果

問4（6） 自分で食事の用意をしていますか

全体では、「できるし、している」が75.0%と最も高く、「できるけどしていない」が16.2%、「できない」が5.3%と続いている。

年・性別にみると、いずれの年齢層でも女性のほうが男性よりも「できるし、している」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

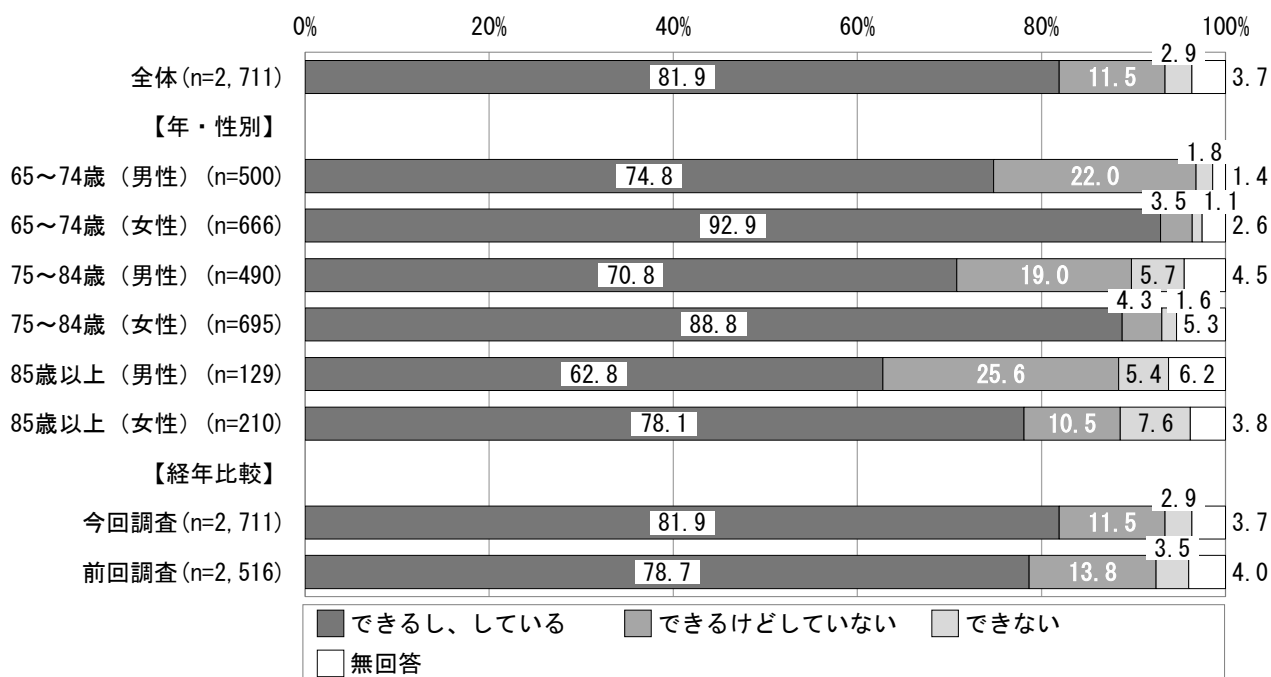


問 4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか

全体では、「できるし、している」が 81.9%と最も高く、「できるけどしていない」が 11.5%、「できない」が 2.9%と続いている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「できるし、している」は減少している。いずれの年齢層でも女性のほうが男性よりも「できるし、している」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



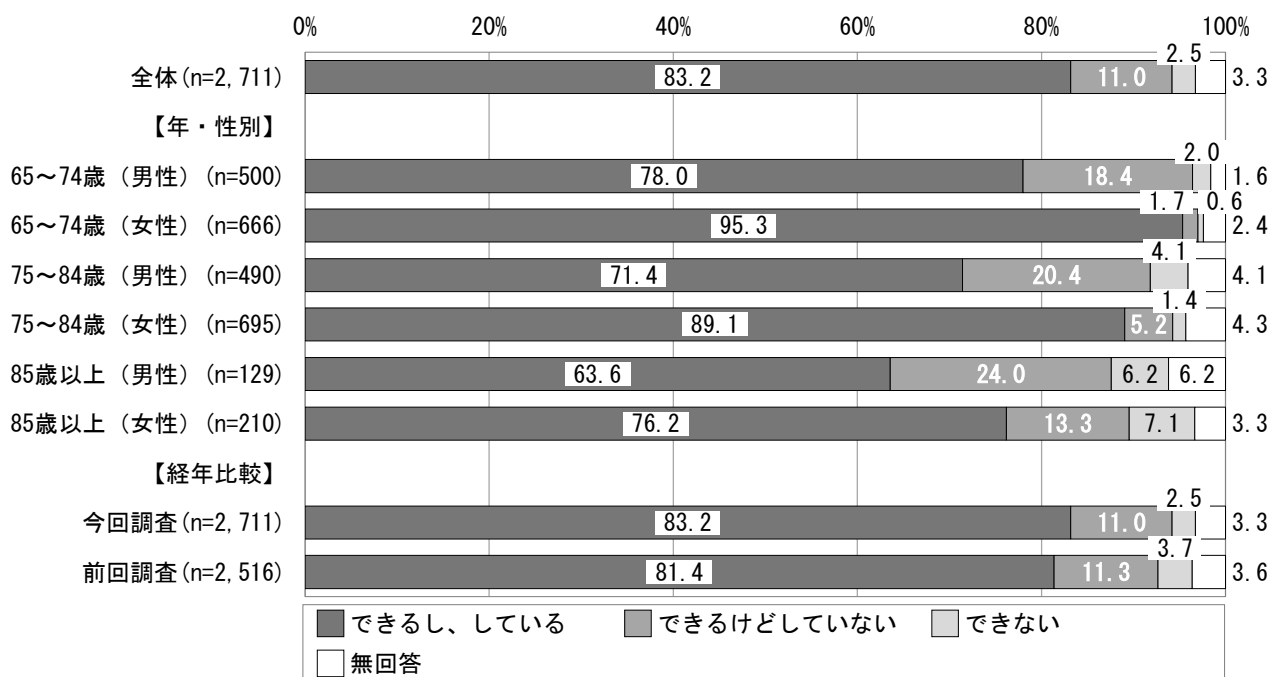
第2章 調査の結果

問4（8） 自分で預貯金の出し入れをしていますか

全体では、「できるし、している」が83.2%と最も高く、「できるけどしていない」が11.0%、「できない」が2.5%と続いている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「できるし、している」は減少している。いずれの年齢層でも女性のほうが男性よりも「できるし、している」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

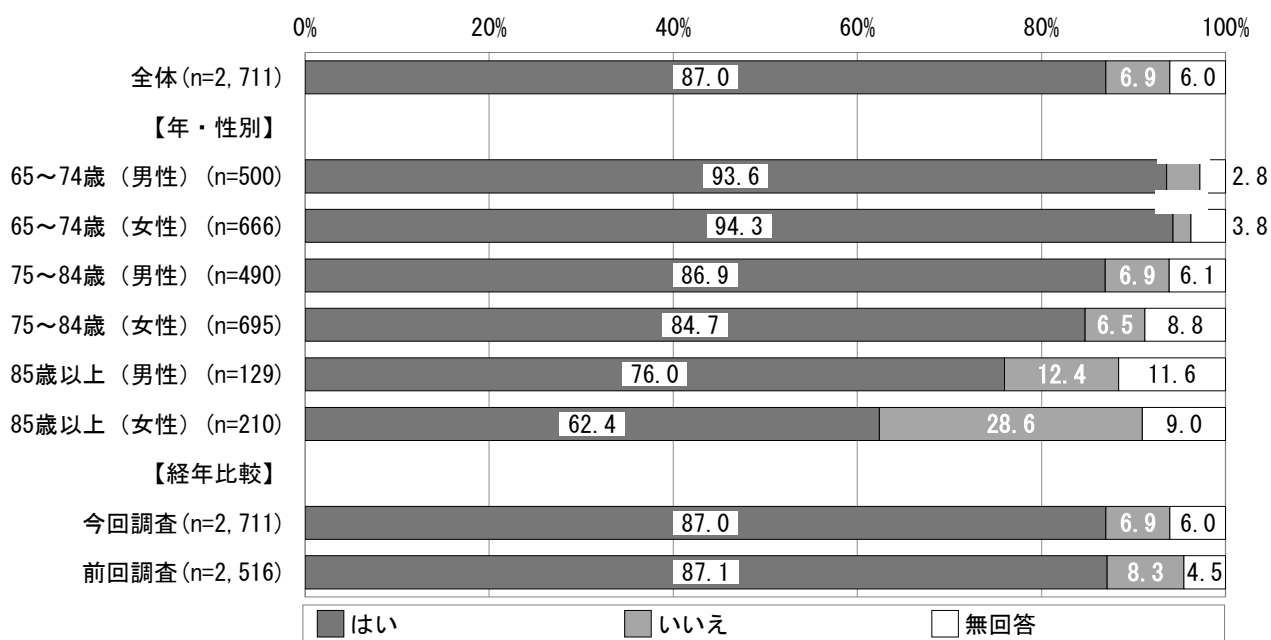


問 4（9） 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

全体では、「はい」が 87.0%、「いいえ」が 6.9%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「はい」は減少している。75～84 歳以上では、男性のほうが女性よりも「できるし、している」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



第2章 調査の結果

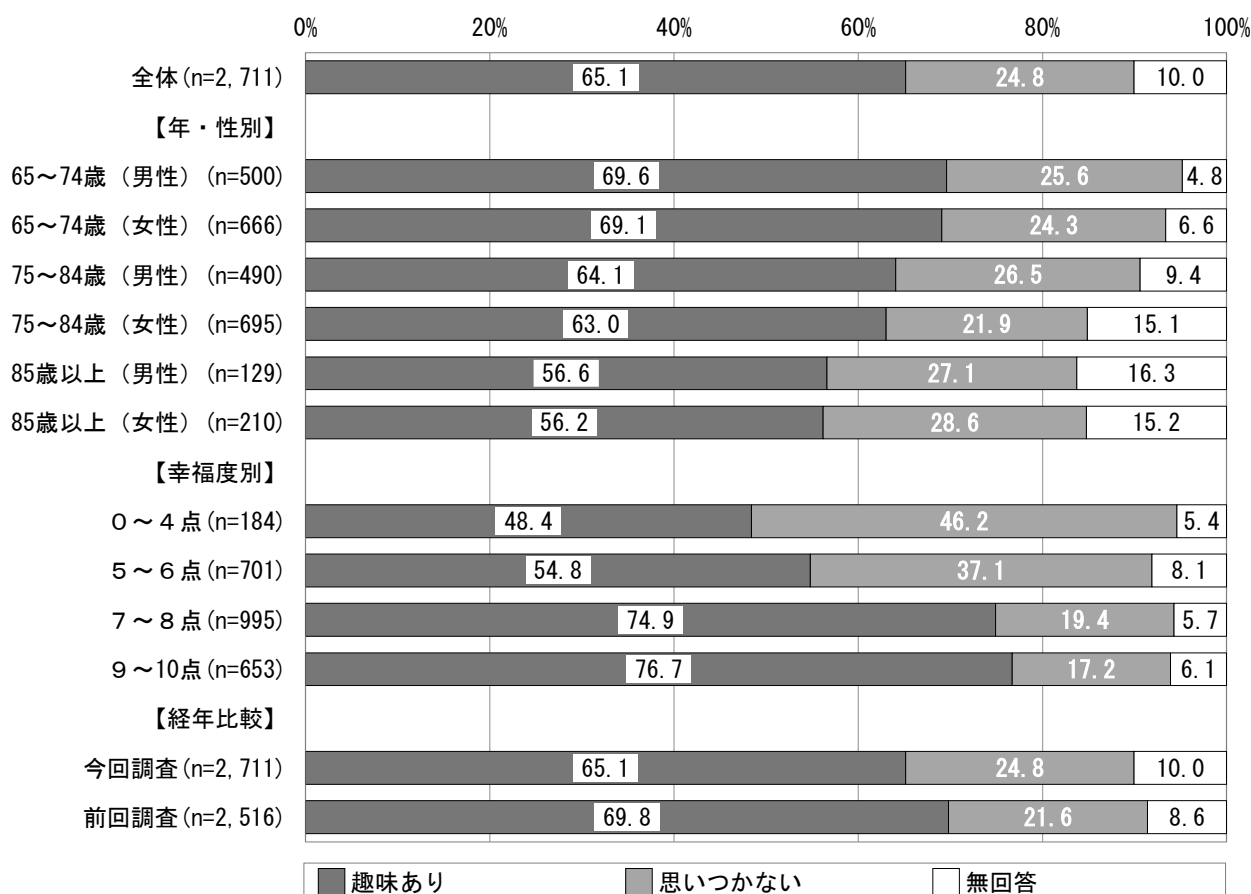
問4 (10) 趣味はありますか

全体では、「趣味あり」が65.1%、「思いつかない」が24.8%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「趣味あり」は減少している。性別による大きな傾向の違いはみられない。

幸福度別にみると、幸福度7点以上はいずれも「趣味あり」が7割を超えている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

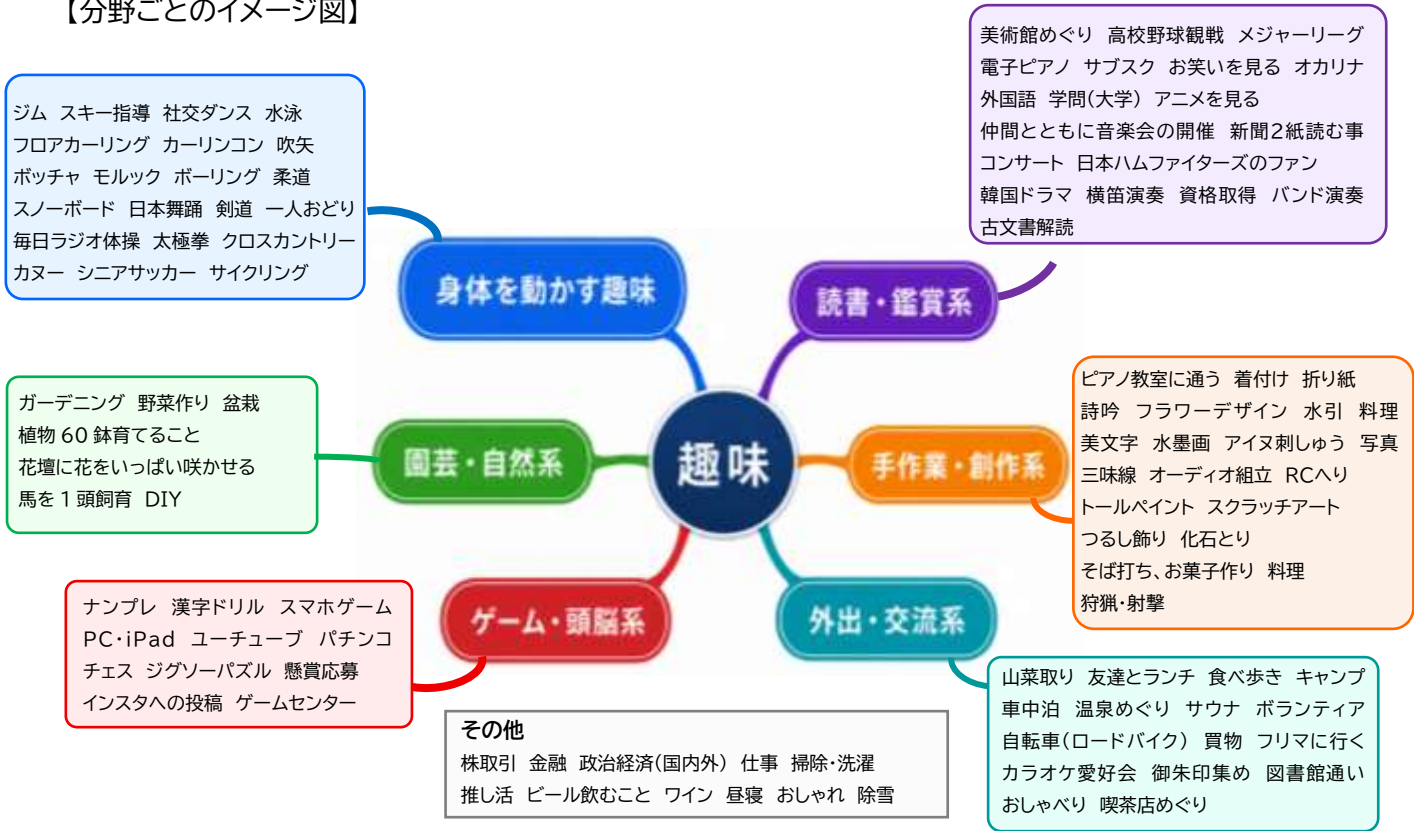


趣味の内容をみると、全体では「スポーツ・運動」が最も多くなっている。

(%)	スポーツ・運動	読書	ゴルフ（スポーツ・運動から抽出）	手芸・編み物	音楽鑑賞・演奏	映画・テレビ鑑賞	カラオケ・歌	家庭菜園・野菜作り	旅行・ドライブ	園芸・花の手入れ	囲碁・将棋・麻雀	パズル・ゲーム	絵画・書道・工芸	釣り	ダンス・舞踊（スポーツ・運動から抽出）	パソコン・インターネット	料理・食事	その他
全体（n=1,665）	34.8	17.4	12.6	12.5	9.2	8.2	8.0	7.8	7.3	6.7	6.1	5.6	4.7	3.9	2.9	2.3	2.3	11.5
【年・性別】																		
65～74歳（男性）（n=329）	42.2	10.3	20.1	0.3	10.9	6.1	4.6	8.5	12.8	2.7	4.0	2.4	3.0	11.6	0.3	3.6	0.6	15.2
65～74歳（女性）（n=428）	27.1	25.5	3.5	20.8	9.6	13.1	3.3	5.1	10.5	7.9	2.6	8.9	4.2	0.0	2.8	0.9	3.0	9.3
75～84歳（男性）（n=295）	48.8	9.5	27.5	0.3	5.8	6.8	8.8	11.5	7.5	2.0	12.2	3.1	3.4	8.5	1.0	4.7	0.3	12.5
75～84歳（女性）（n=416）	31.3	21.9	7.2	22.1	9.4	6.5	12.3	7.2	1.7	10.6	5.5	6.3	7.5	0.2	6.0	0.7	4.8	9.6
85歳以上（男性）（n=71）	36.6	9.9	16.9	0.0	11.3	8.5	8.5	8.5	2.8	2.8	18.3	2.8	2.8	0.0	2.8	4.2	0.0	15.5
85歳以上（女性）（n=111）	18.9	14.4	4.5	21.6	9.0	4.5	19.8	6.3	1.8	13.5	4.5	9.0	5.4	0.9	4.5	0.9	2.7	12.6

※趣味カテゴリは10件以上の回答をもとに分類（10件未満はその他）

【分野ごとのイメージ図】



第2章 調査の結果

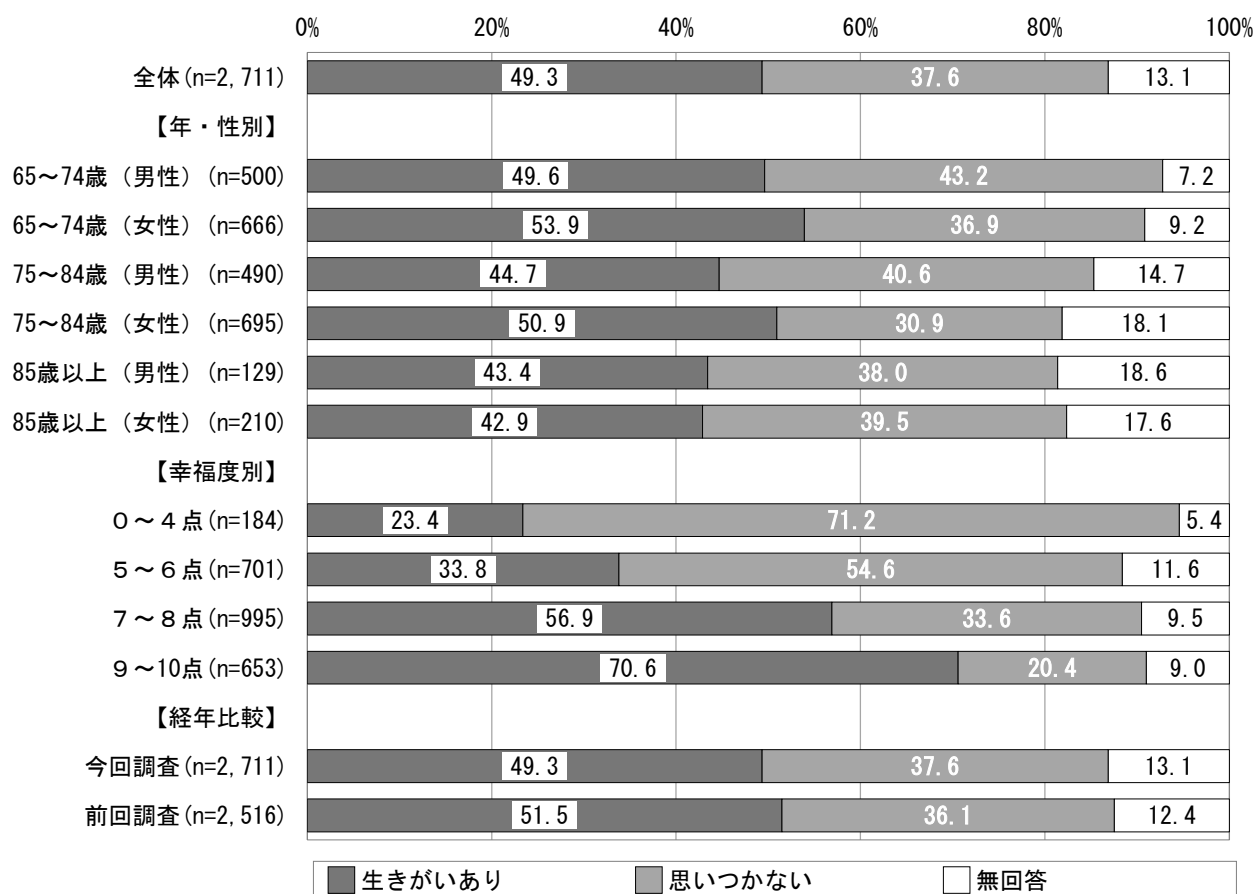
問4 (11) 生きがいがありますか

全体では、「生きがいあり」が49.3%、「思いつかない」が37.6%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「生きがいあり」は減少している。65～74歳、75～84歳においては女性のほうが男性よりも「生きがいあり」が高くなっている。

幸福度別にみると、幸福度が高くなるほど、「生きがいあり」は高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



生きがいの内容をみると、「孫・子供の成長を見守る」が最も多くなっている。

(%)	孫・子供の成長を見守る	仕事・社会活動への参加	家族との時間	健康維持・長寿を目指す	友人・知人との交流	旅行・外出を楽しむ	趣味・習い事を楽しむ	家庭菜園・野菜作り	ペット・動物の世話	信仰・宗教	その他
全体(n=1,198)	31.6	10.6	9.4	8.4	8.1	7.8	5.5	4.3	2.3	0.9	31.1
【年・性別】											
65～74歳（男性）(n=215)	25.6	17.7	11.2	5.6	4.7	11.2	10.2	2.3	0.5	0.9	28.8
65～74歳（女性）(n=328)	39.3	12.2	11.0	7.0	9.5	11.6	2.7	2.4	4.3	0.9	25.3
75～84歳（男性）(n=188)	23.4	9.6	7.4	6.9	4.3	4.3	5.3	5.3	0.0	0.0	41.0
75～84歳（女性）(n=327)	35.5	6.4	8.9	11.9	11.9	5.8	6.1	5.5	2.4	1.5	29.7
85歳以上（男性）(n=46)	15.2	8.7	6.5	8.7	4.3	0.0	8.7	4.3	0.0	0.0	50.0
85歳以上（女性）(n=83)	27.7	3.6	8.4	12.0	8.4	4.8	1.2	7.2	4.8	1.2	33.7

※生きがいカテゴリは10件以上の回答をもとに分類（10件未満はその他）

【分野ごとのイメージ図】

孫の成長(孫と張り合うこと) いい写真が撮れる事 孫の部活応援、送り迎え
めい、おいの子供たちとの交流 今現在、ひまごのめんどうを見ている
主人と一緒に過ごす事 家内が居る 母と共に楽しく過ごすこと
娘や孫とラインできる事が楽しい まごチャネルで、ひまごのテレビをみる事
家族旅行 家族の幸せ 毎朝のお経と亡夫への感謝の話しかけ

仕事、地域のボランティア まだ仕事が好きでパート続けている事
社会貢献活動 スポーツの指導
茶道とお花を教える、公共施設に生けています
自分の能力(PC)を使って町内会等の役割を担う事
マンションの理事会運営を15年以上続けている
国の平和と民の幸福の為に活動 パソコンの使い方を教える

ネコの世話 犬を最後まで看取る事
日々、神仏に祈る事
キリスト教を信じる
仏法(浄土真宗)を聞くこと
自分が認められる事がある時
他人に少しでも喜んでもらえそうなことをすること

友人と小旅行にいったりランチに行って昔話
をすることで
友人と楽しく飲んだり食べたりする事
新しい友人を作ること、同期会(中学校、高校、
大学)の企画、運営など
サークル後の食事会
物を作ってあげて喜んでくれる事
人とのお付き合い、お話し
他人と会飲、会食をする
皆仲良く、先祖を大切に、人との助け合い
女子会に通っている

家族・成長の喜び

暮らし・心の支え

人とのつながり

その他
美容 スポーツ大会出場 デイトレード 貯金 資産運用
花畑のスギナなくすること?かな 世界一周旅行
宝くじ買うこと

社会参加・役割

健康・前向きな生活

1日1日を楽しむ事
命のあるかぎり生ききる
100歳をめざします
体調は思うようにはいかないの
ですが、毎日生きて、食べて、笑って、
当たり前事に感謝できる事
これからやりたいことが、いっぱい
ある
人が本来持っている、人と人の心や
思いを大切に…事
新しい体験をすること、日々新鮮
に生きること、知らなかった事がわ
かること

楽しみ・活動

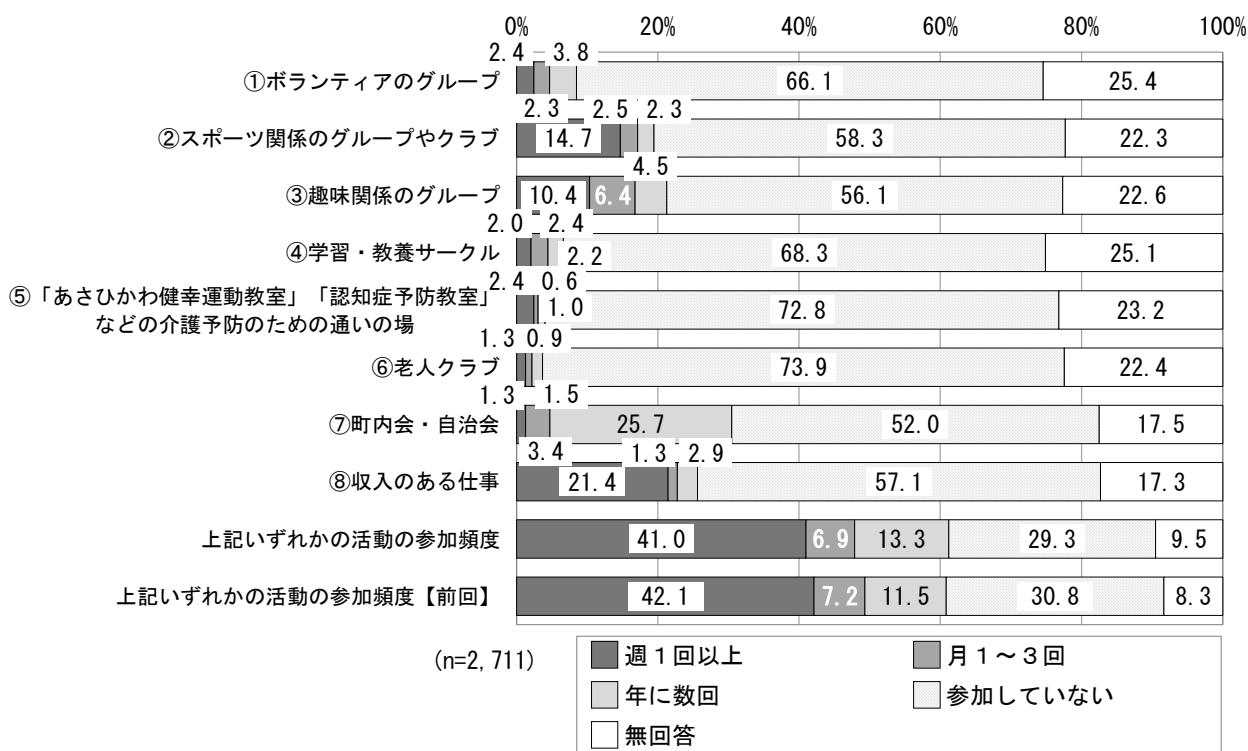
27年にゴッホ展、2期に本州に行くこと
着物を着て旅行に行きたい
お1人旅行をしたい(以前は夫妻で今は1人
なので旅行をしたいが～決心がつかない。
今年こそと思うのだが)
好きな歌手がいて毎日楽しく音楽を聞いて
いる
嵐山、突哨山の花を訪ねる野歩き
私、人類はどこから来て、どこへ行くのかも
っとよく知りたい。知的探究心
年間1,000km以上ロードバイクで走行、孫
と屋外焼肉他

問5 地域での活動について

問5（1）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

- ①ボランティアのグループ
- ②スポーツ関係のグループやクラブ
- ③趣味関係のグループ
- ④学習・教養サークル
- ⑤「あさひかわ健幸運動教室」「認知症予防教室」などの介護予防のための通いの場
- ⑥老人クラブ
- ⑦町内会・自治会
- ⑧収入のある仕事

地域での活動に関するそれぞれの設問について、「週1回以上」の割合をみると、＜⑧収入のある仕事＞（21.4%）、＜②スポーツ関係のグループやクラブ＞（14.7%）、＜③趣味関係のグループ＞（10.4%）で高くなっている。一方、「参加していない」が最も高いのは、＜⑥老人クラブ＞で73.9%となっている。また、①～⑧のいずれかに参加している頻度は、「週1回以上」が41.0%となっている。経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



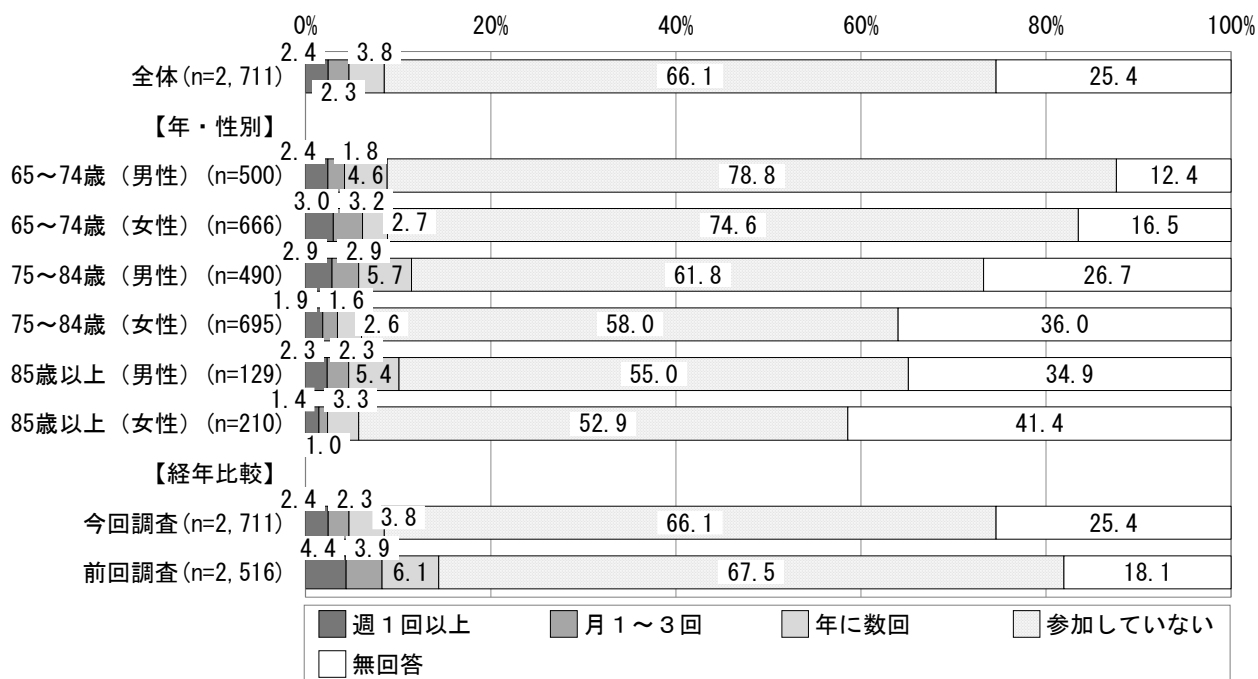
【詳細表】

	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	「あさひかわ健康運動教室」「認知症予防教室」など、介護予防のための通	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事	左記のいずれかの活動の参加頻度	左記のいずれかの活動の参加頻度 【前回】
n=2,516										
週4回以上	0.4	2.6	1.0	0.2	0.1	0.1	0.1	14.8	18.1	18.0
週2～3回	1.0	7.3	3.8	0.7	0.5	0.8	0.4	5.8	14.6	14.1
週1回	1.0	4.7	5.6	1.1	1.9	0.4	0.8	0.9	8.4	10.0
月1～3回	2.3	2.5	6.4	2.4	0.6	0.9	3.4	1.3	7.0	7.2
年に数回	3.8	2.3	4.5	2.2	1.0	1.5	25.7	2.9	13.2	11.5
参加していない	66.1	58.3	56.1	68.3	72.8	73.9	52.0	57.1	29.1	30.8
無回答	25.4	22.3	22.6	25.1	23.2	22.4	17.5	17.3	9.5	8.3
週1回以上	2.4	14.6	10.4	2.0	2.5	1.3	1.3	21.5	41.1	42.1

第2章 調査の結果

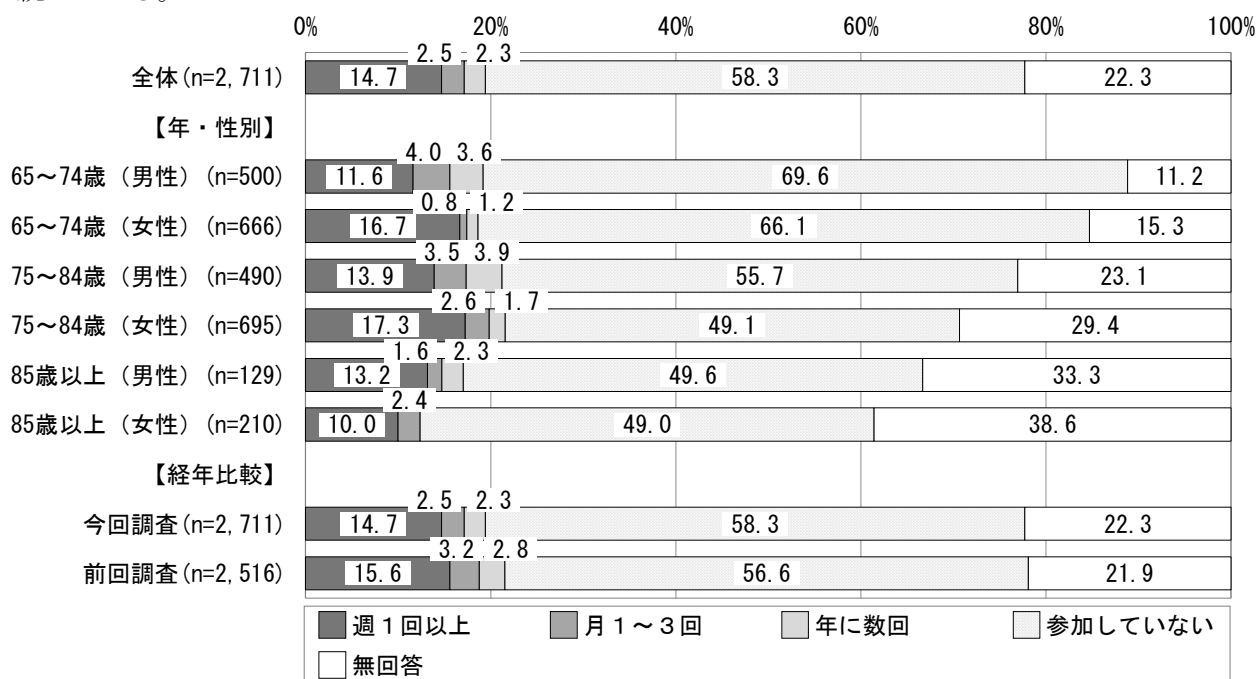
① ボランティアのグループ

全体では、「参加していない」が66.1%と最も高く、「年に数回」が3.8%、「週1回以上」が2.4%と続いている。



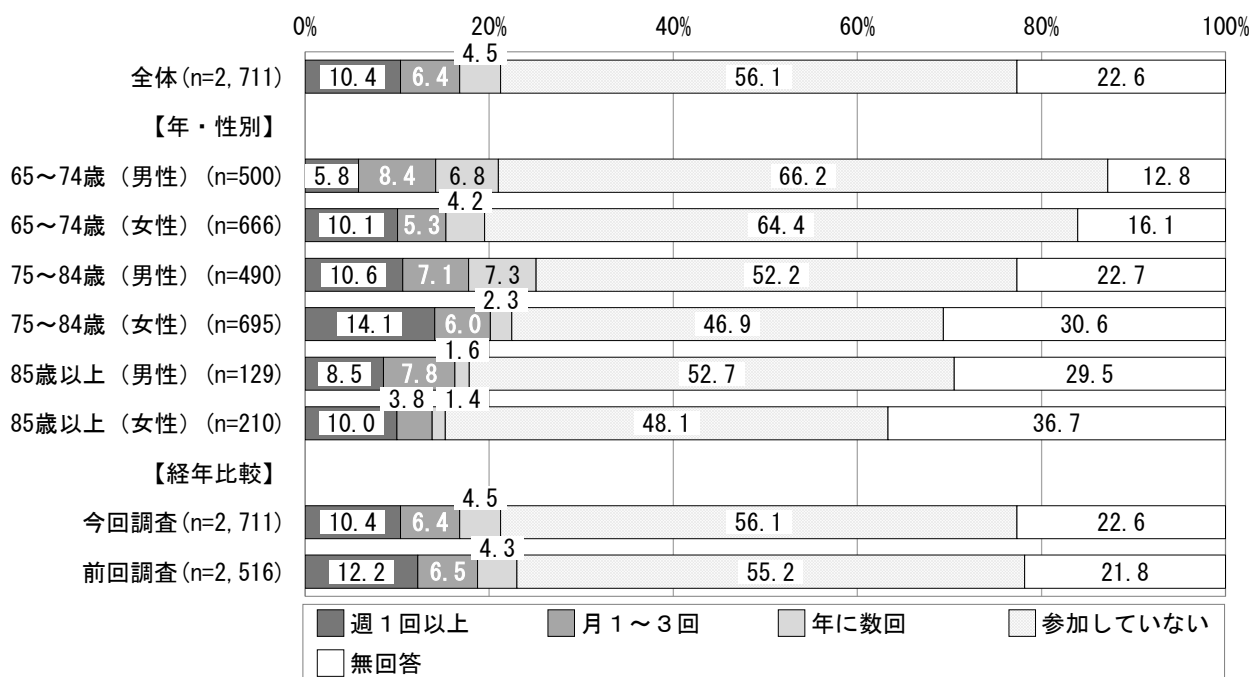
② スポーツ関係のグループやクラブ

全体では、「参加していない」が58.3%と最も高く、「週1回以上」が14.7%、「月1～3回」が2.5%と続いている。



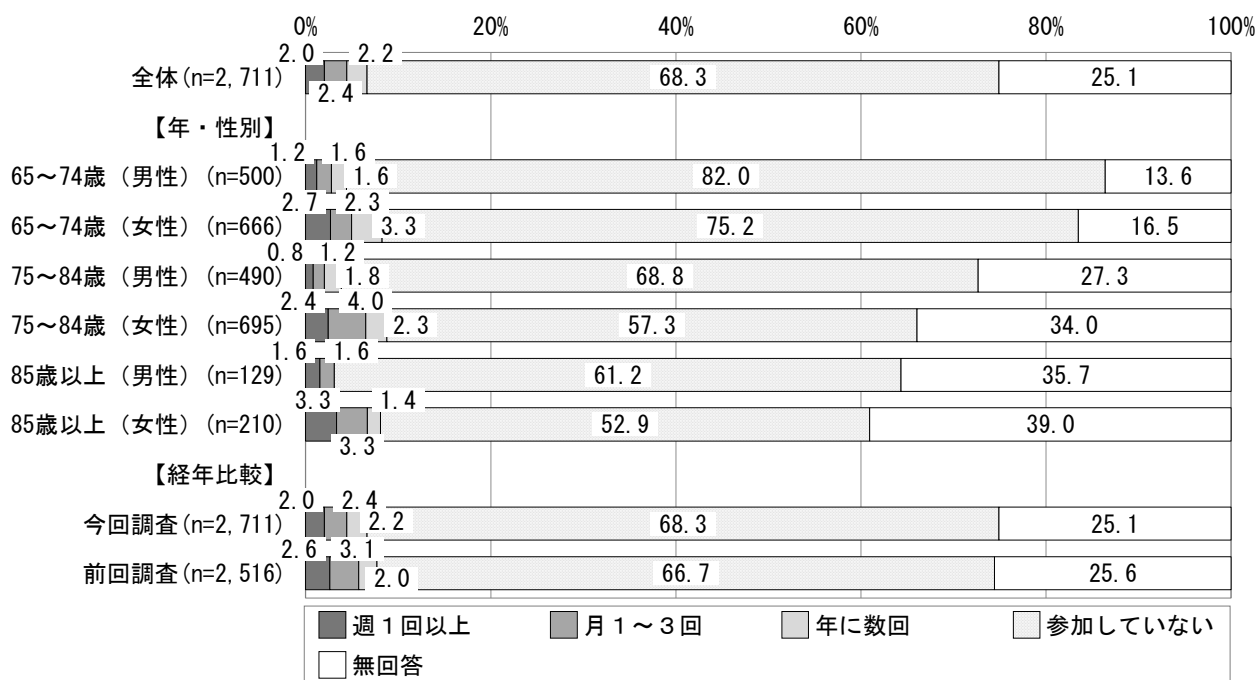
③趣味関係のグループ

全体では、「参加していない」が56.1%と最も高く、「週1回以上」が10.4%、「月1～3回」が6.4%と続いている。



④学習・教養サークル

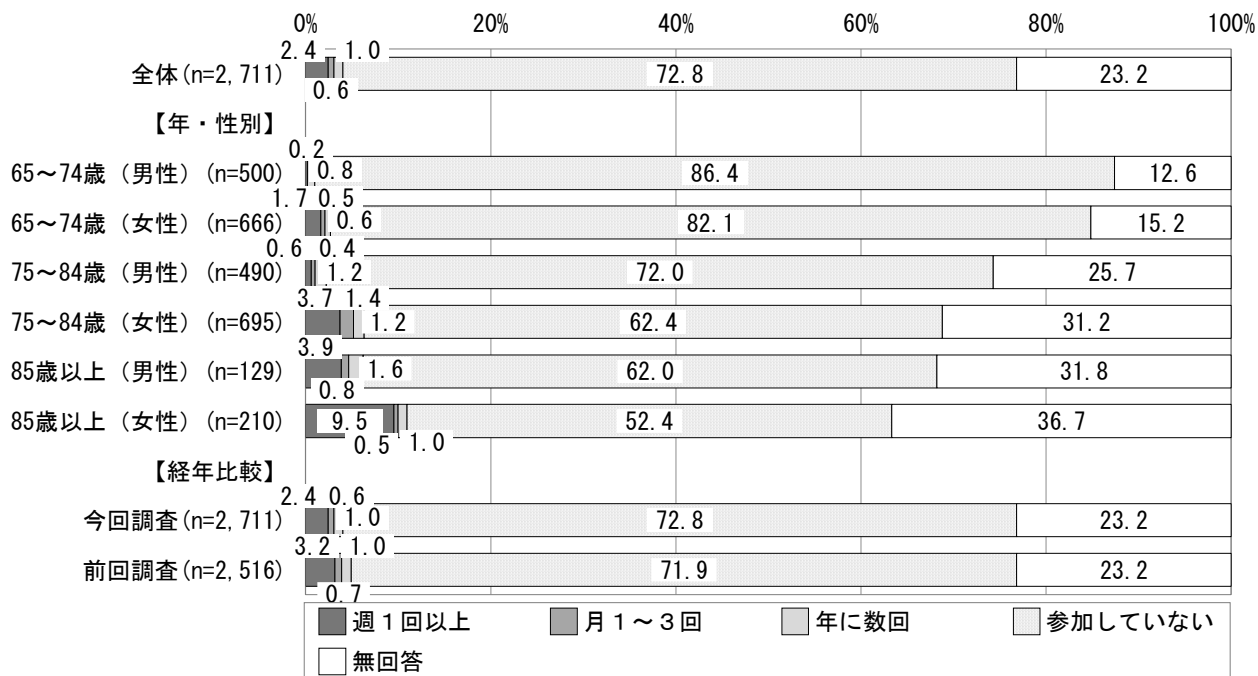
全体では、「参加していない」が68.3%と最も高く、「月1～3回」が2.4%、「年に数回」が2.2%と続いている。



第2章 調査の結果

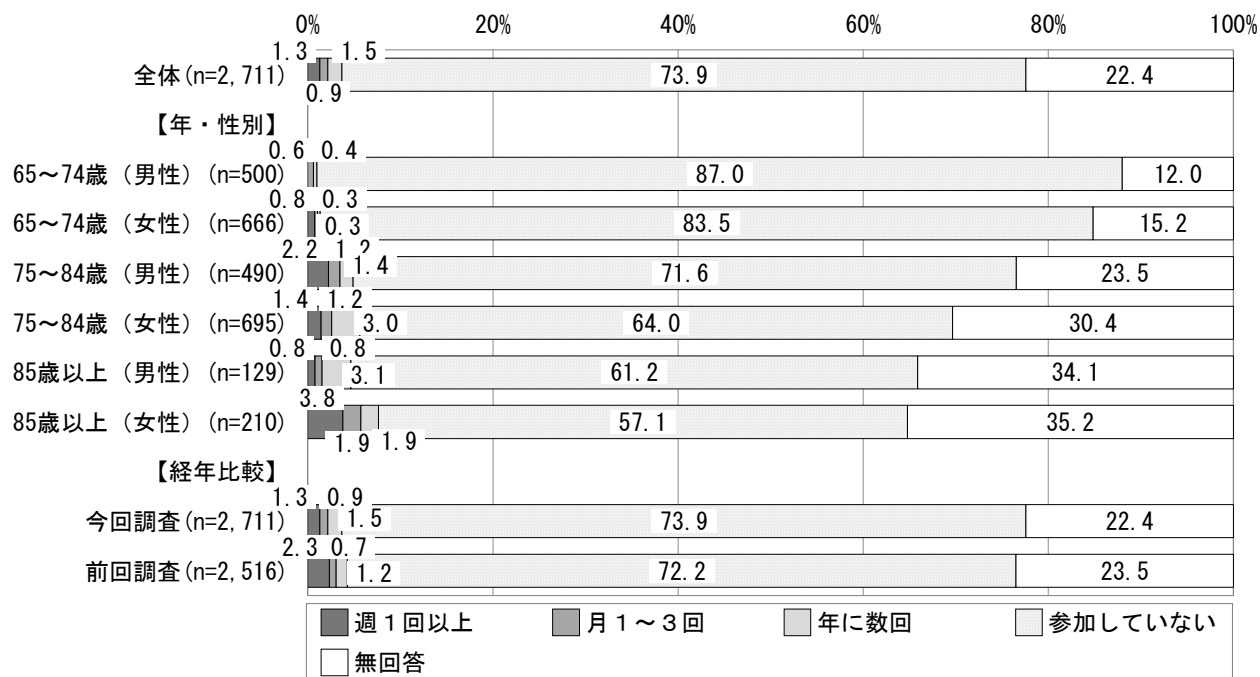
⑤「あさひかわ健幸運動教室」「認知症予防教室」などの介護予防のための通いの場

全体では、「参加していない」が72.8%と最も高く、「週1回以上」が2.4%、「年に数回」が1.0%と続いている。



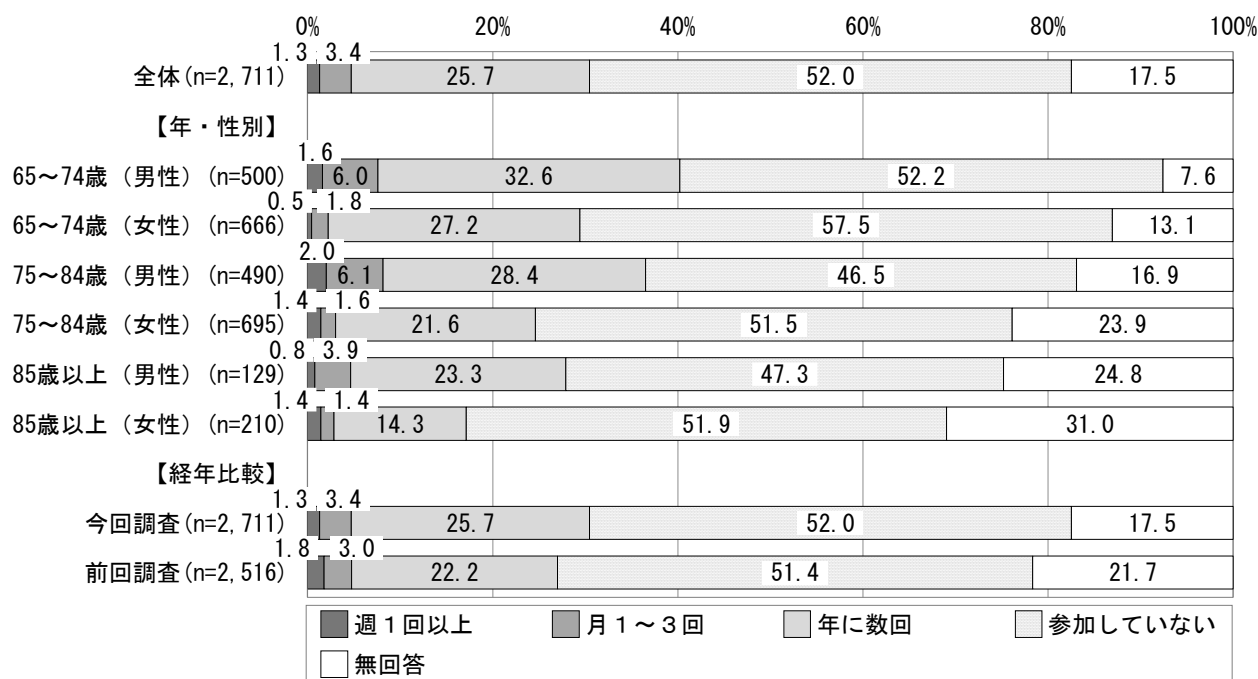
⑥老人クラブ

全体では、「参加していない」が73.9%と最も高く、「年に数回」が1.5%、「週1回以上」が1.3%と続いている。



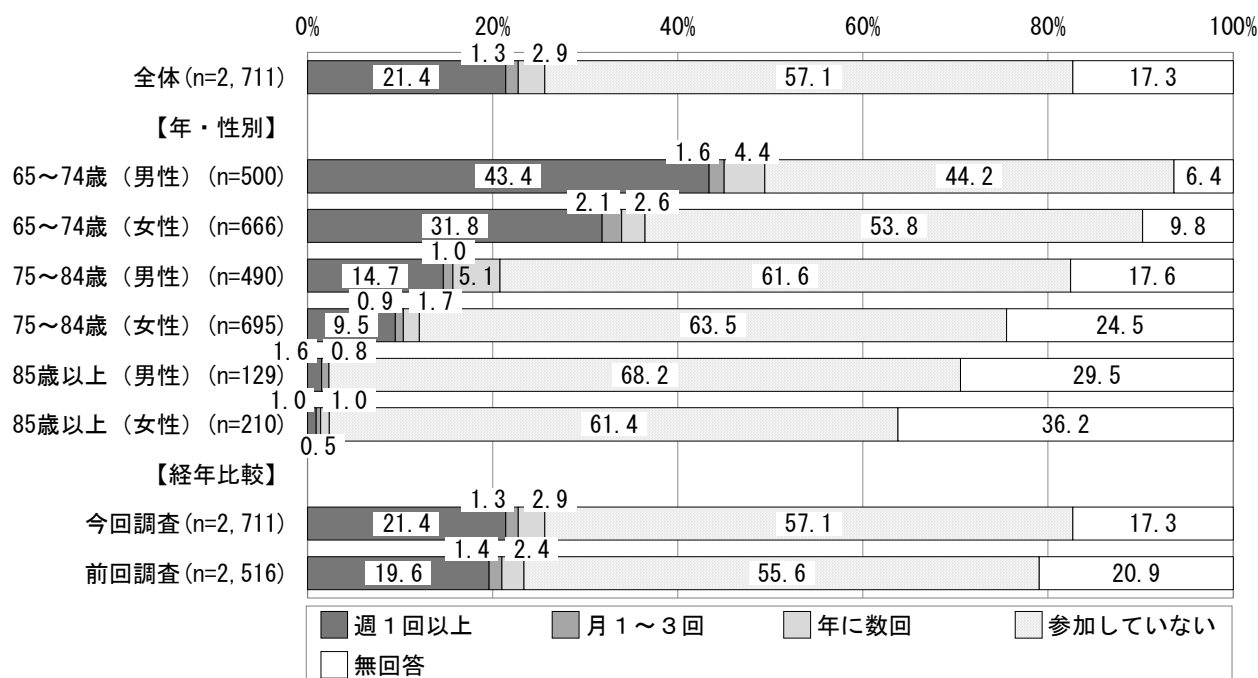
⑦町内会・自治会

全体では、「参加していない」が52.0%と最も高く、「年に数回」が25.7%、「月1～3回」が3.4%と続いている。



⑧収入のある仕事

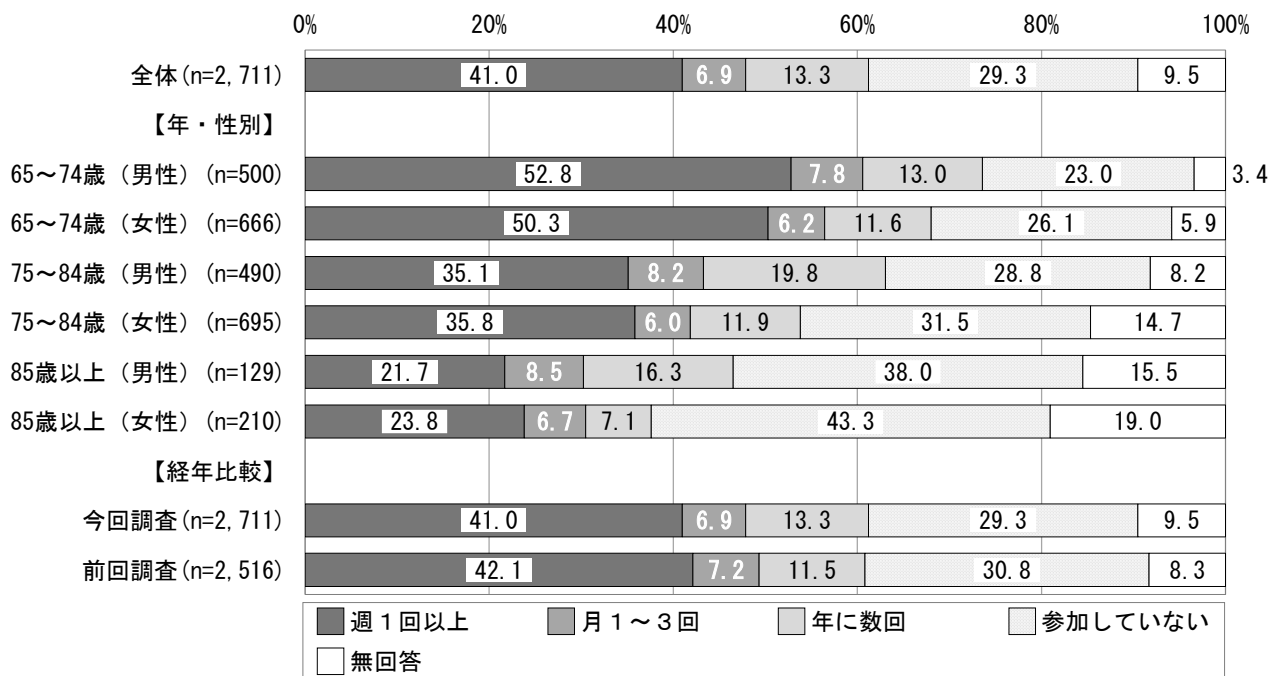
全体では、「参加していない」が57.1%と最も高く、「週1回以上」が21.4%、「年に数回」が2.9%と続いている。



第2章 調査の結果

上記いずれかの活動の参加頻度

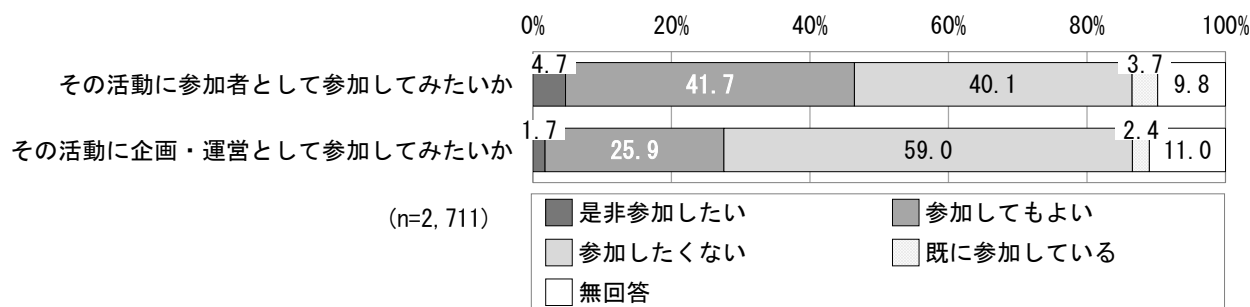
全体では、「週1回以上」が41.0%と最も高く、「参加していない」が29.3%、「年に数回」が13.3%と続いている。



問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか

地域での活動に関する参加意欲をみると、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加の意欲がある』は、＜その活動に参加者として参加してみたいか＞で46.4%となっている一方で、＜その活動に企画・運営として参加してみたいか＞では27.6%となっている。

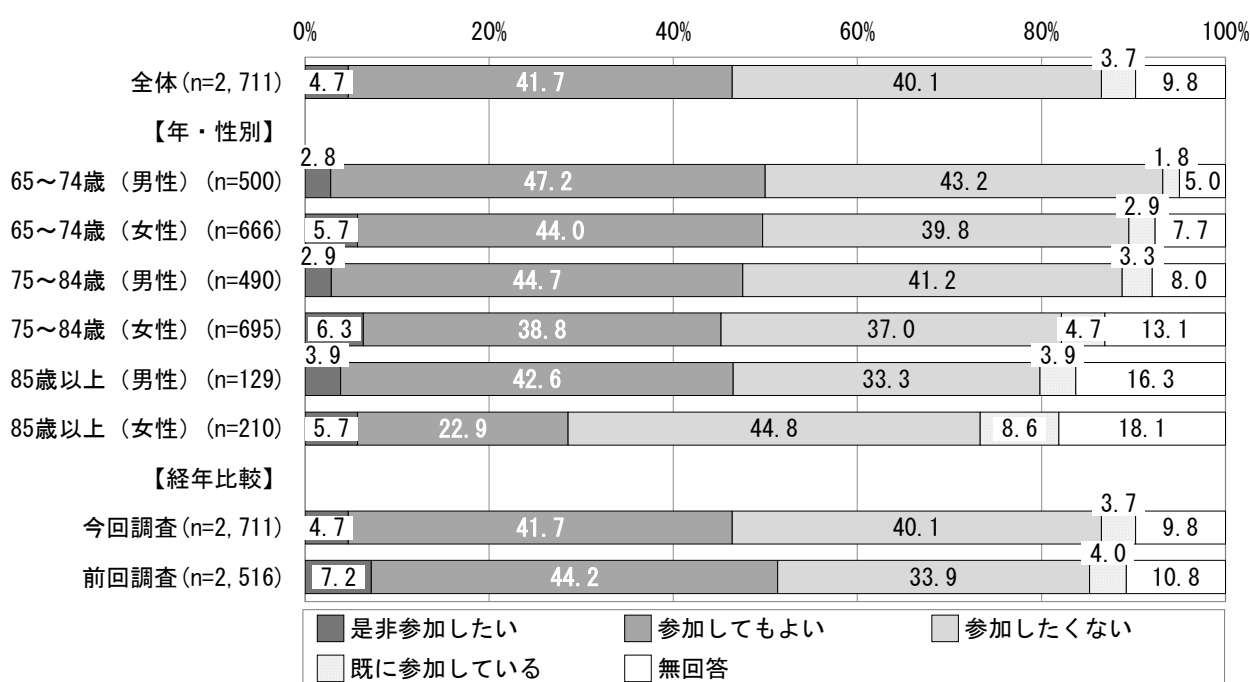


問5（2） 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

全体では、「参加してもよい」が41.7%と最も高く、「参加したくない」が40.1%、「是非参加したい」が4.7%と続いている。「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向』は、46.4%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ『参加意向』は減少している。85歳以上の女性の『参加意向』が28.6%と最も低くなっている。

経年比較では、前回調査よりも『参加意向』が減少している。



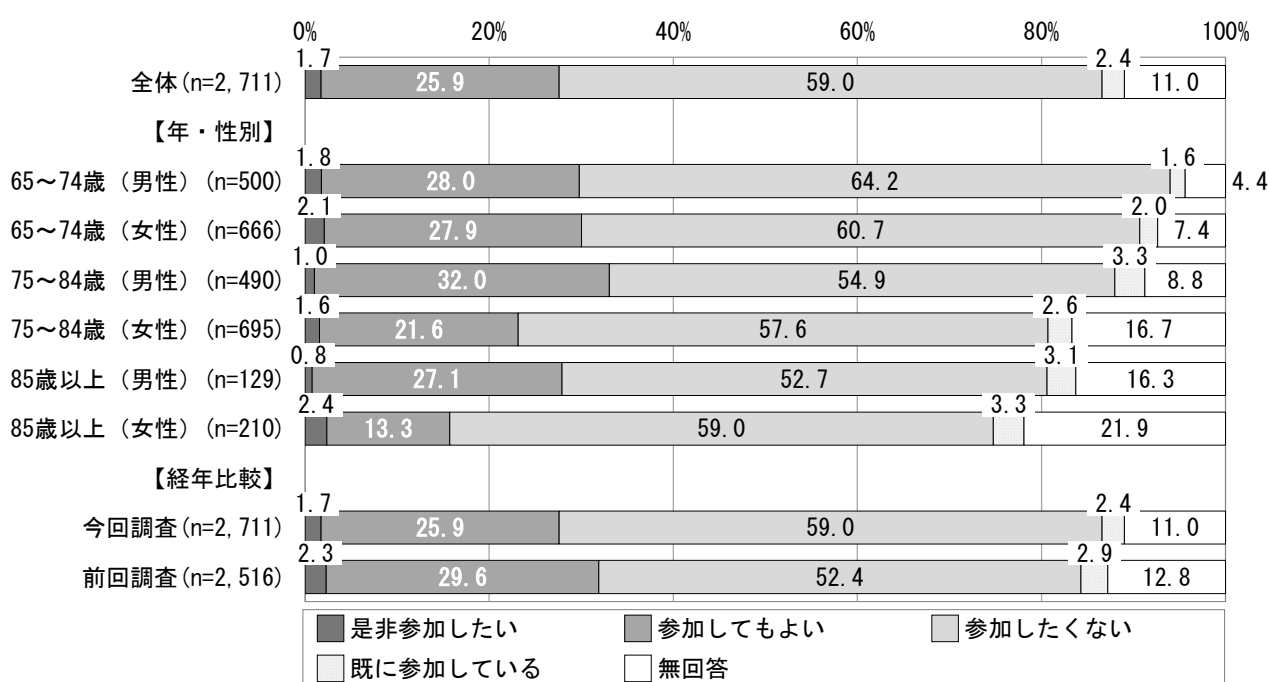
第2章 調査の結果

問5（3） 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

全体では、「参加したくない」が59.0%と最も高く、「参加してもよい」が25.9%、「既に参加している」が2.4%と続いている。「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向』は、27.6%となっている。

年・性別にみると、75～84歳の男性の『参加意向』が33.1%と最も高くなっている。85歳以上の女性の『参加意向』が15.7%と最も低くなっている。

経年比較では、前回調査よりも『参加意向』が減少しています。



問6 就労について

問6 (1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (いくつでも)

全体では、「引退した」が45.4%と最も高く、「非常勤 (パート・アルバイト等)」が14.4%、「職についたことがない」が9.3%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「引退した」の割合が高くなる傾向にある。

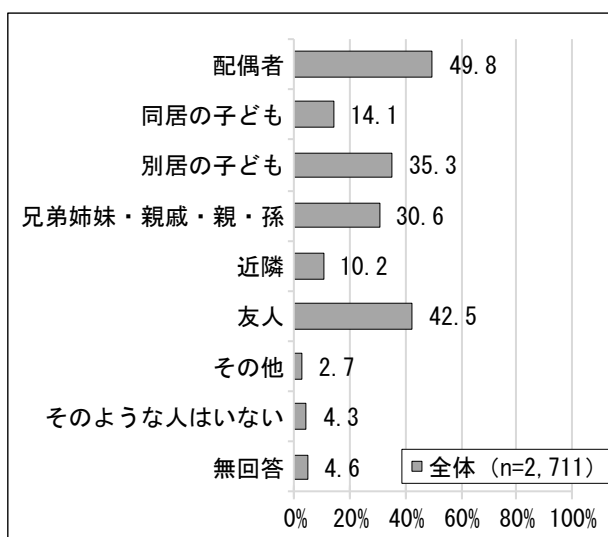
(%)	引退した	非常勤 (パート・アルバイト等)	職についたことがない	常勤 (フルタイム)	自営業	求職中	その他	無回答
全体 (n=2,711)	45.4	14.4	9.3	7.6	6.8	1.2	6.7	10.3
【年齢別】								
65～74歳 (n=1,166)	39.7	23.3	5.0	14.2	7.5	1.7	6.1	4.1
75～84歳 (n=1,185)	49.9	9.1	12.0	2.5	6.7	0.9	7.3	13.2
85歳以上 (n=339)	50.4	2.1	14.7	1.8	4.1	0.0	6.2	21.8

問7 たすけあいについて

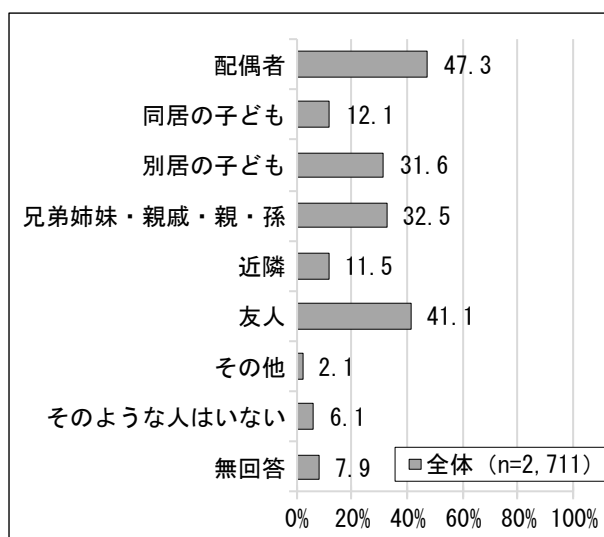
- 問7（1） あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（いくつでも）
 問7（2） 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（いくつでも）
 問7（3） あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）
 問7（4） 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

たすけあいの状況を把握する4つの設問については、いずれの設問でも「配偶者」が最も高くなっている。また、＜心配事や愚痴を聞いてくれる人＞や＜心配事や愚痴を聞いてあげる人＞では、「友人」等の親族以外の回答も多くみられるが、＜看病や世話をしてくれる人＞や＜看病や世話をしてあげる人＞では親族以外の回答は少なくなっている。

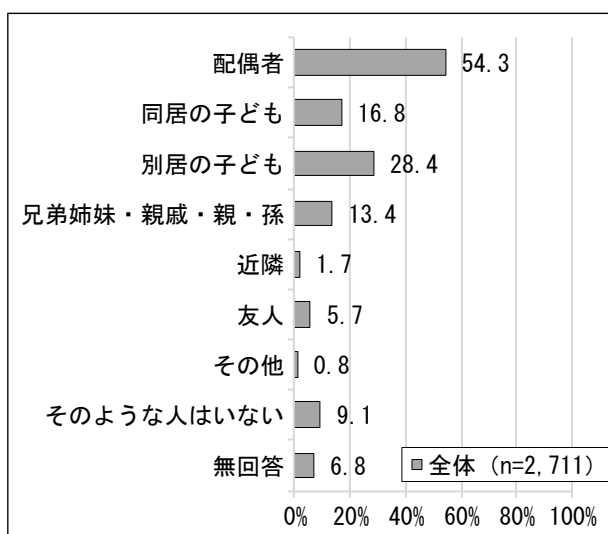
（1） 心配事や愚痴を聞いてくれる人



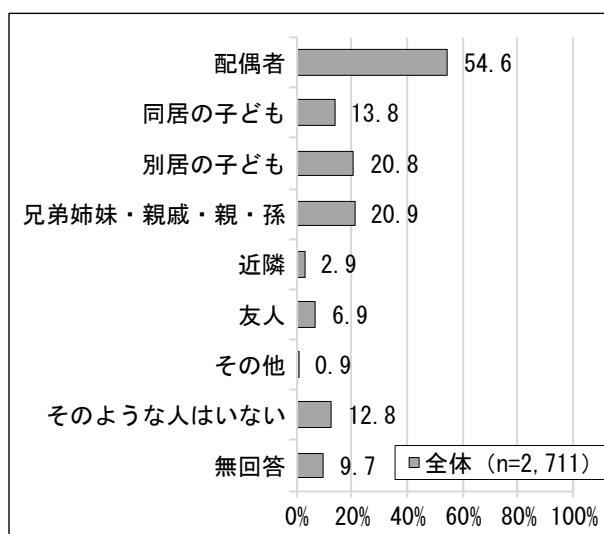
（2） 心配事や愚痴を聞いてあげる人



（3） 看病や世話をしてくれる人

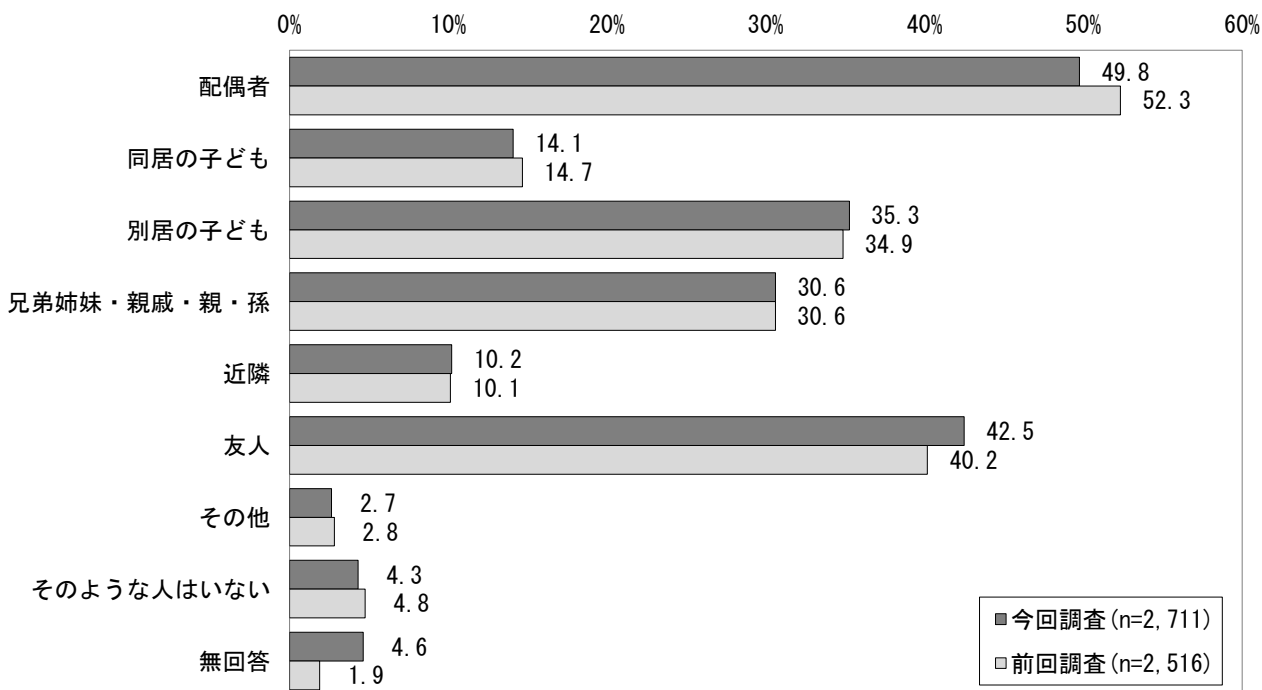


（4） 看病や世話をしてあげる人



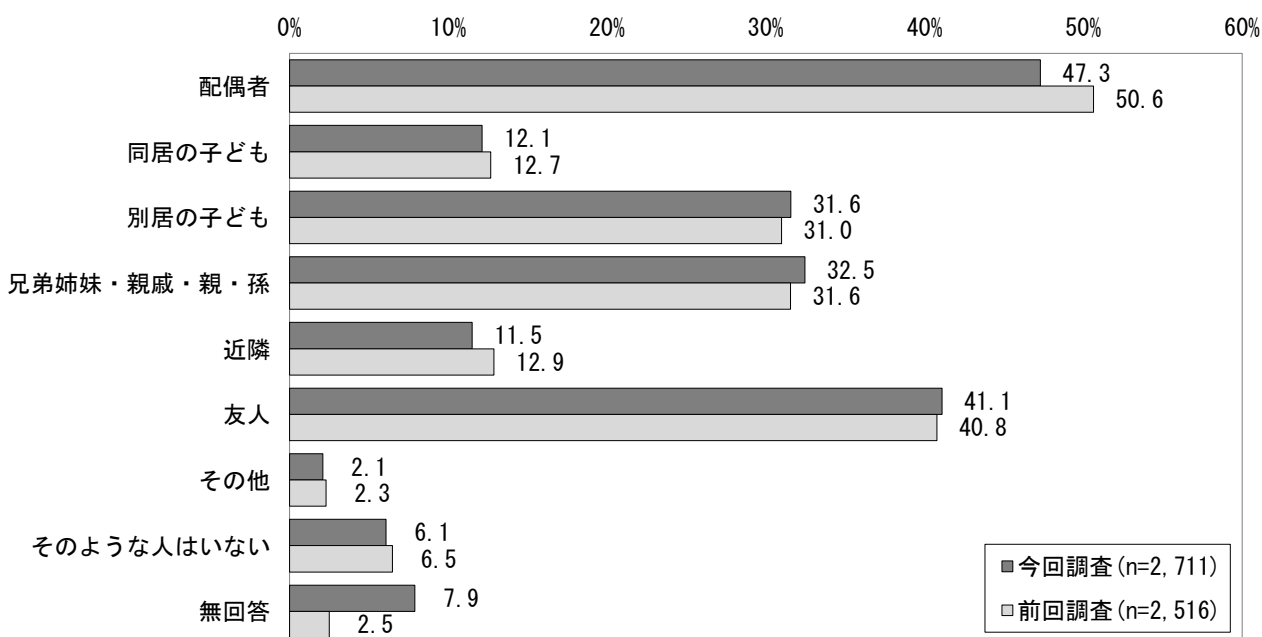
問7（1） あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（いくつでも）

全体では、「配偶者」が49.8%と最も高く、「友人」が42.5%、「別居の子ども」が35.3%と続いている。経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



問7（2） 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（いくつでも）

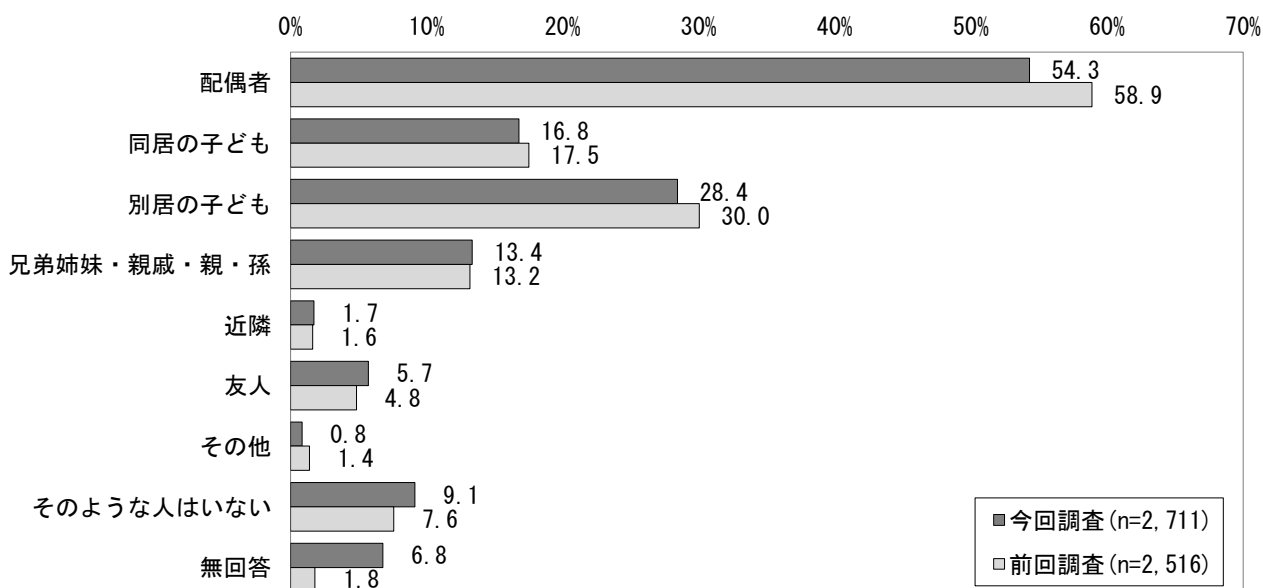
全体では、「配偶者」が47.3%と最も高く、「友人」が41.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が32.5%と続いている。経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



第2章 調査の結果

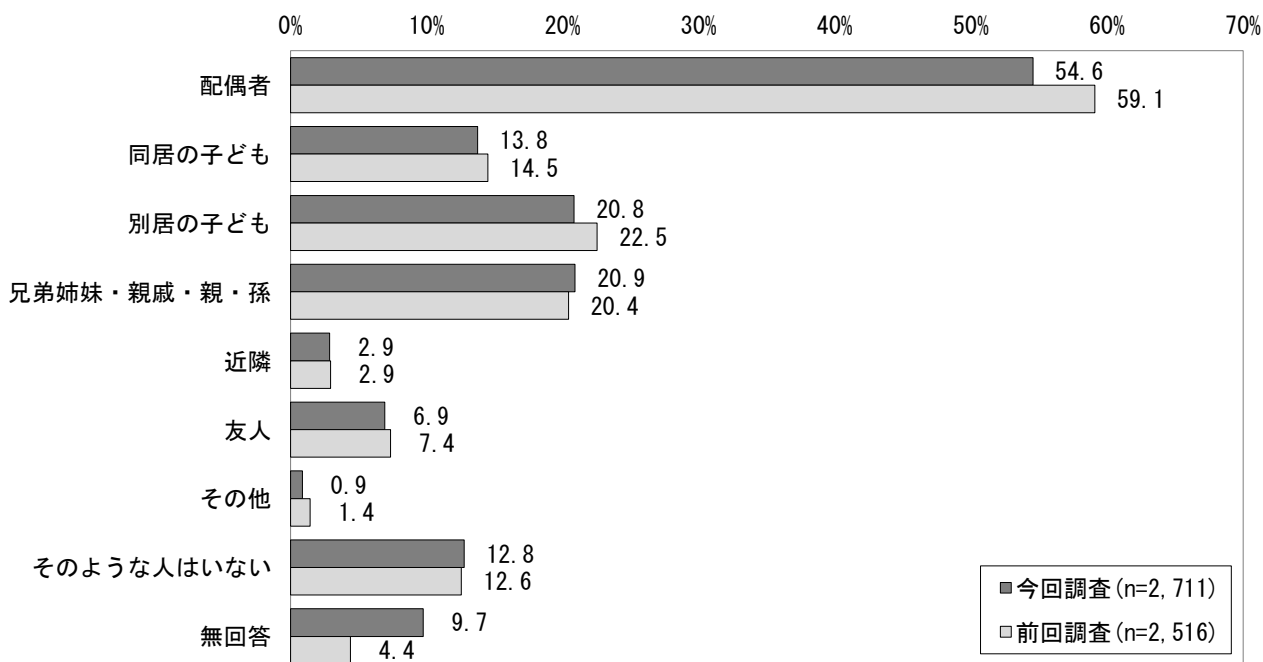
問7（3） あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

全体では、「配偶者」が54.3%と最も高く、「別居の子ども」が28.4%、「同居の子ども」が16.8%と続いている。経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



問7（4） 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

全体では、「配偶者」が54.6%と最も高く、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.9%、「別居の子ども」が20.8%と続いている。経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



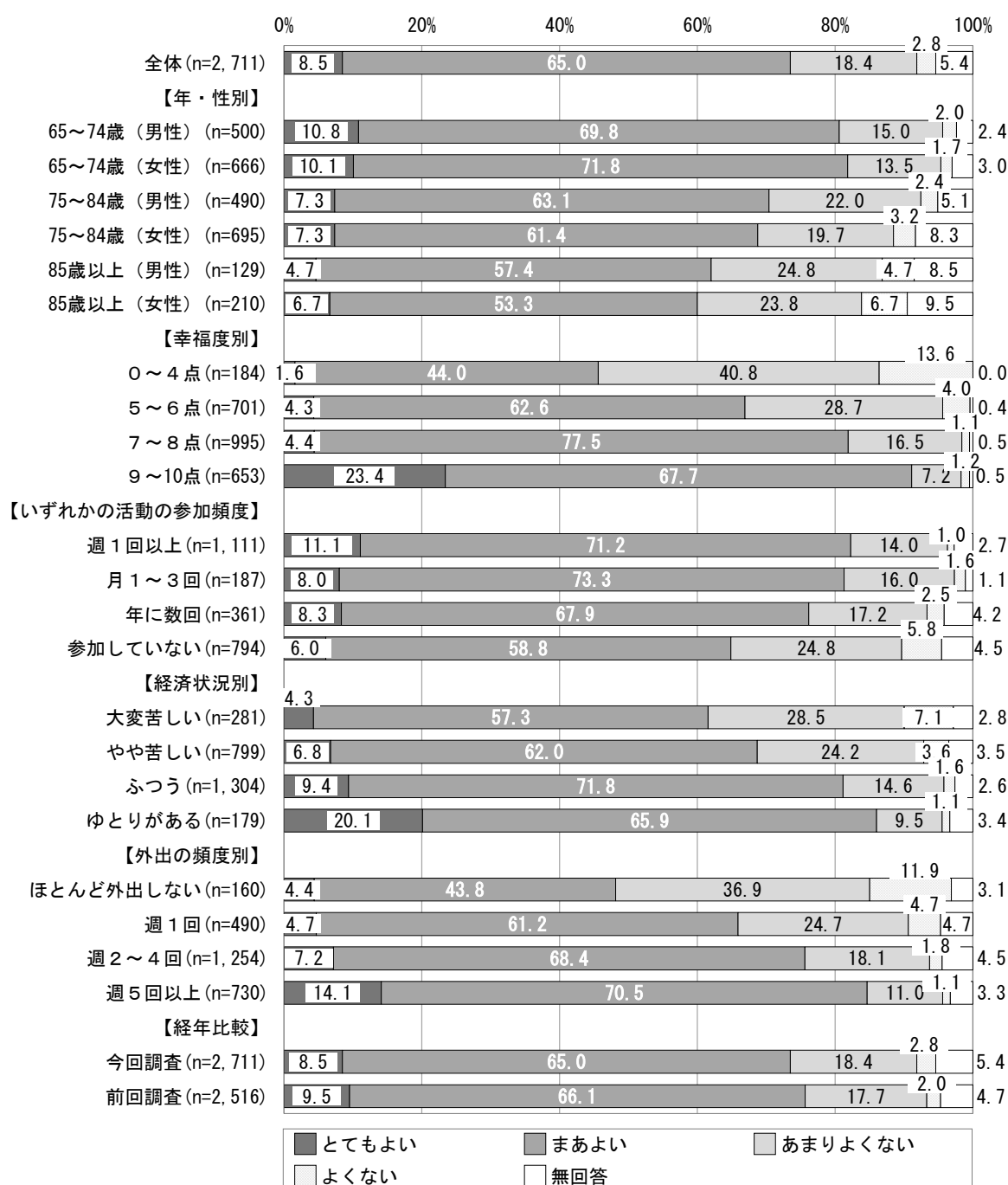
問 8 健康について

問 8 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

全体では、「まあよい」が 65.0%と最も高く、「あまりよくない」が 18.4%と続いている。「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』は 73.5%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ『よい』は減少している。幸福度別では、幸福度が高いほど『よい』は増加している。地域活動（いずれかの活動）への参加頻度別では、参加頻度が低いほど『よい』は低くなっている。経済状況別では、経済状況がよいほど『よい』は高くなっている。外出頻度別では、外出頻度が高いほど『よい』は高くなっている。

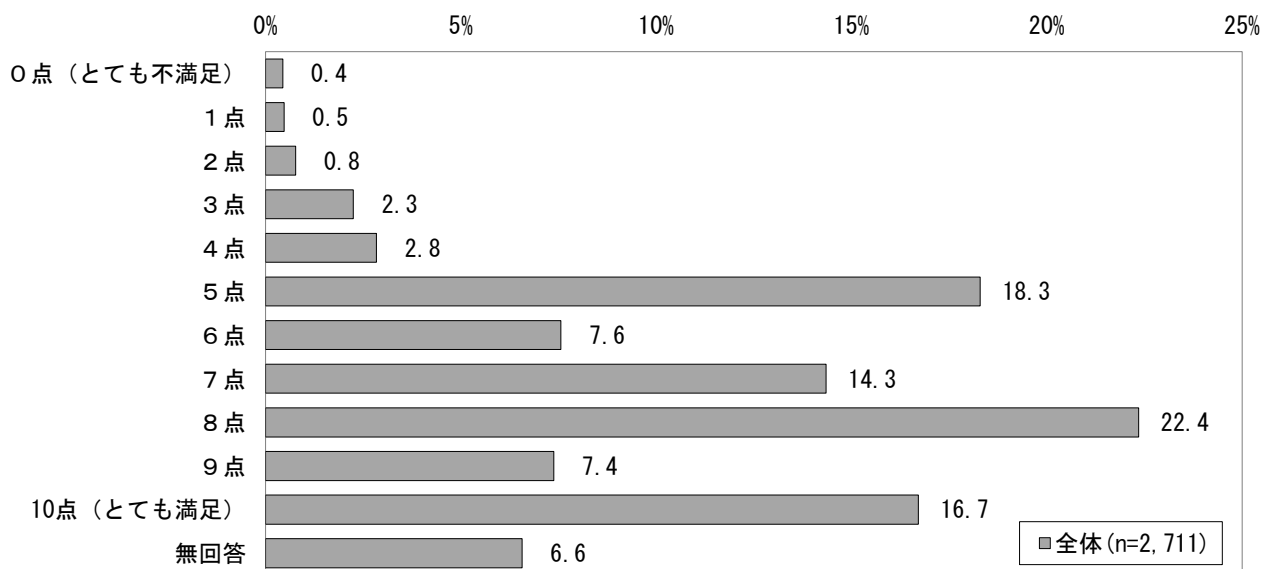
経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



第2章 調査の結果

問8（2） あなたは、現在どの程度幸せですか

主観的幸福感を問う本設問では、「8点」が22.4%と最も高く、「5点」が18.3%が続いている。



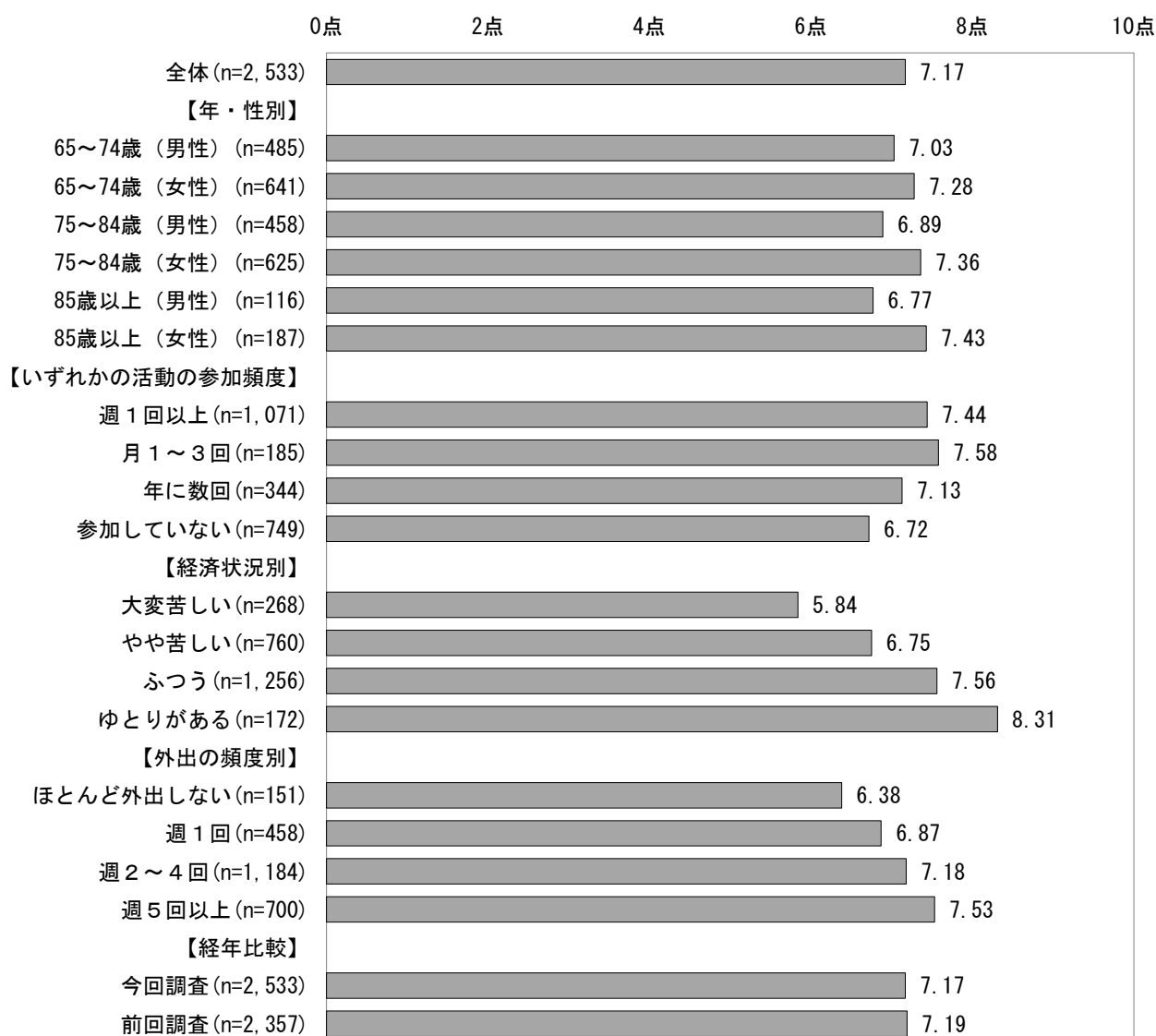
以下は属性別の平均点（n 数から無回答を除いて算出）を示している。全体では 7.17 点である。

年・性別にみると、いずれの年齢層においても男性のほうが女性よりも平均点が低くなっている。

地域活動（いずれかの活動）への参加頻度別では、週 1 回以上と月 1～3 回の平均点は大きな差はみられないが、年に数回、参加していないと頻度がさがるにつれ平均点は低くなっている。

経済状況別では、経済状況がよいほど平均点は高くなっている。外出頻度別では、外出頻度が高いほど平均点は高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



問8（3） この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

全体では、「はい」が36.8%、「いいえ」が57.8%となっている。

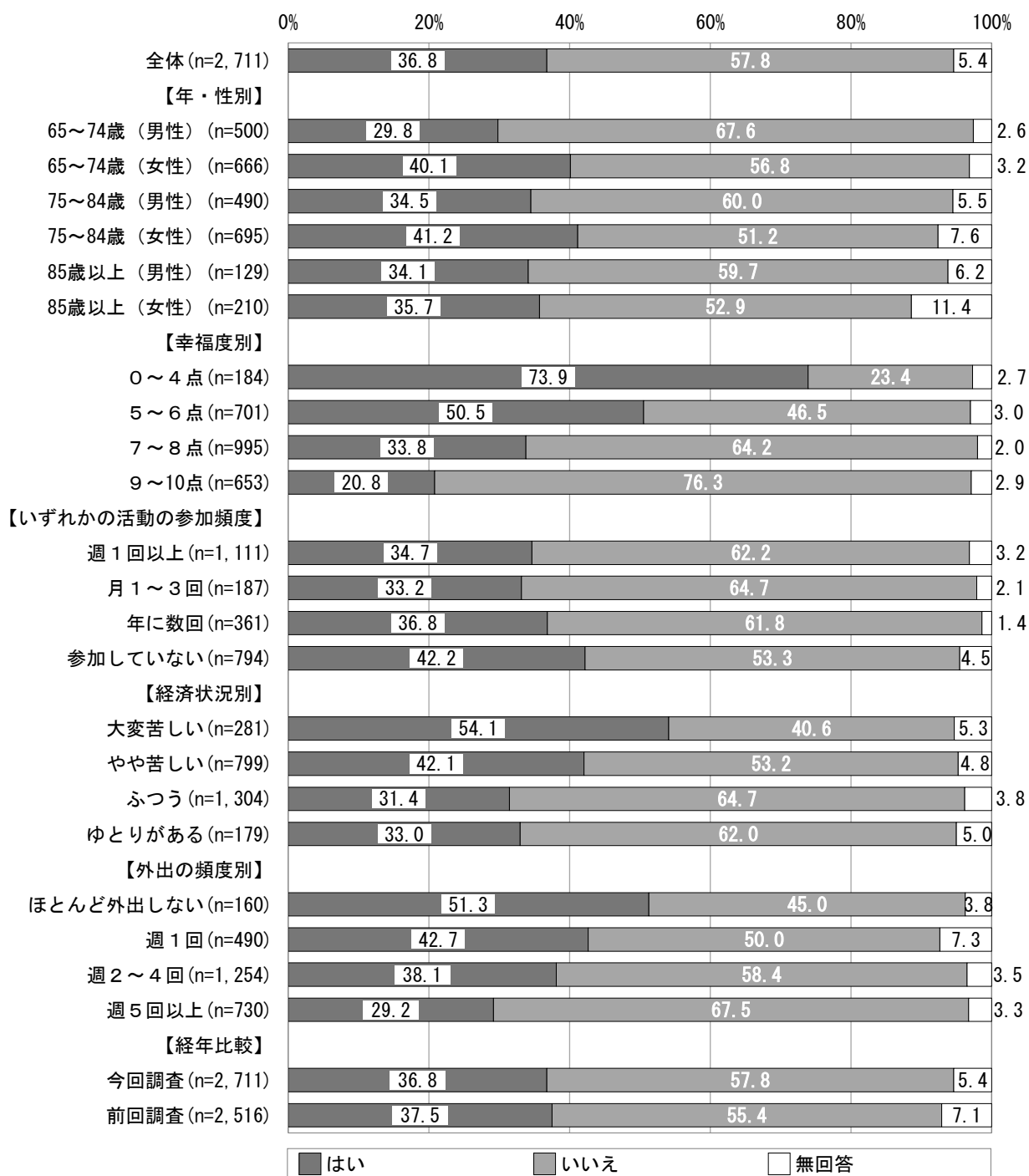
年・性別にみると、いずれの年齢層でも女性のほうが男性よりも「はい」が高くなっている。

幸福度別にみると、幸福度が高いほど「はい」が低くなっている。

地域活動（いずれかの活動）への参加頻度別では、参加している人の中では「はい」に大きな違いはみられないが、参加していない人の「はい」は高くなっている。

経済状況別では、ふつうとゆとりがある人の「はい」に大きな違いはみられないが、苦しくなるほど「はい」は高くなっている。外出頻度別では、外出頻度が「はい」は低くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



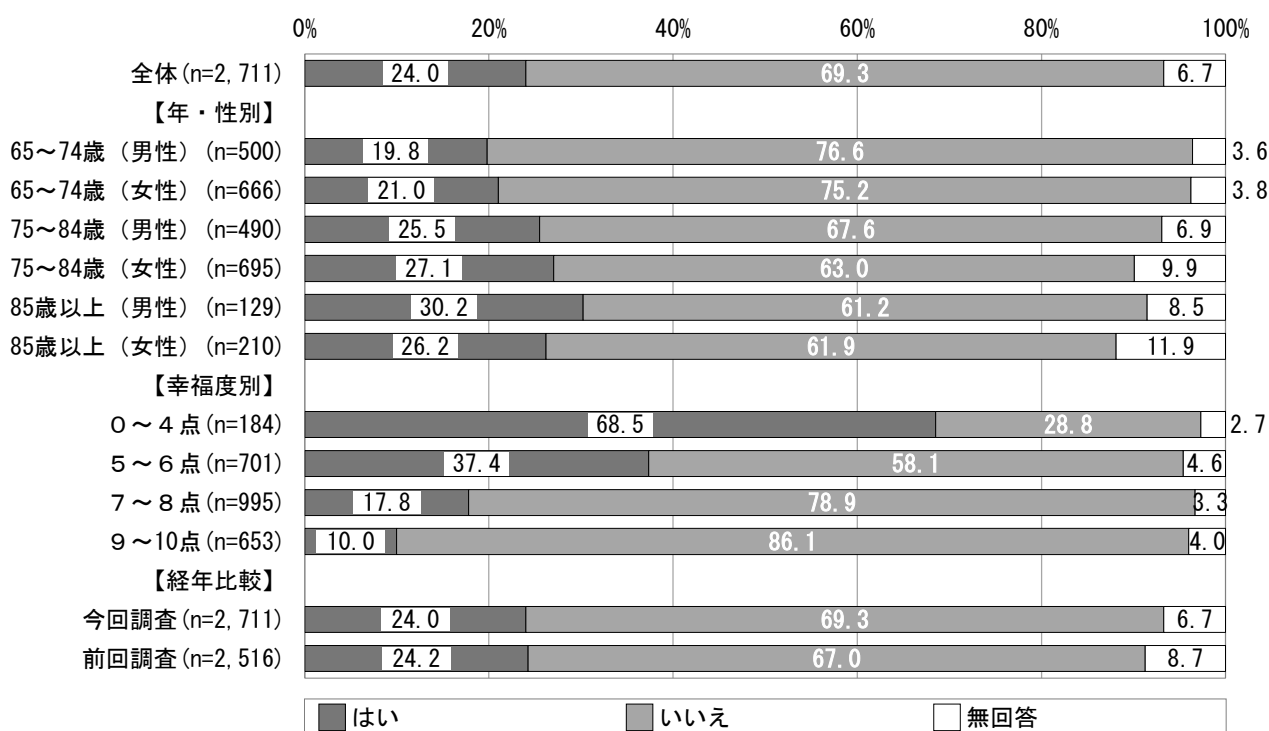
問 8 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

全体では、「はい」が24.0%、「いいえ」が69.3%となっている。

年・性別にみると、85歳以上の男性の「はい」が30.2%と最も高くなっている。

幸福度別にみると、幸福度が高いほど「はい」が低くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



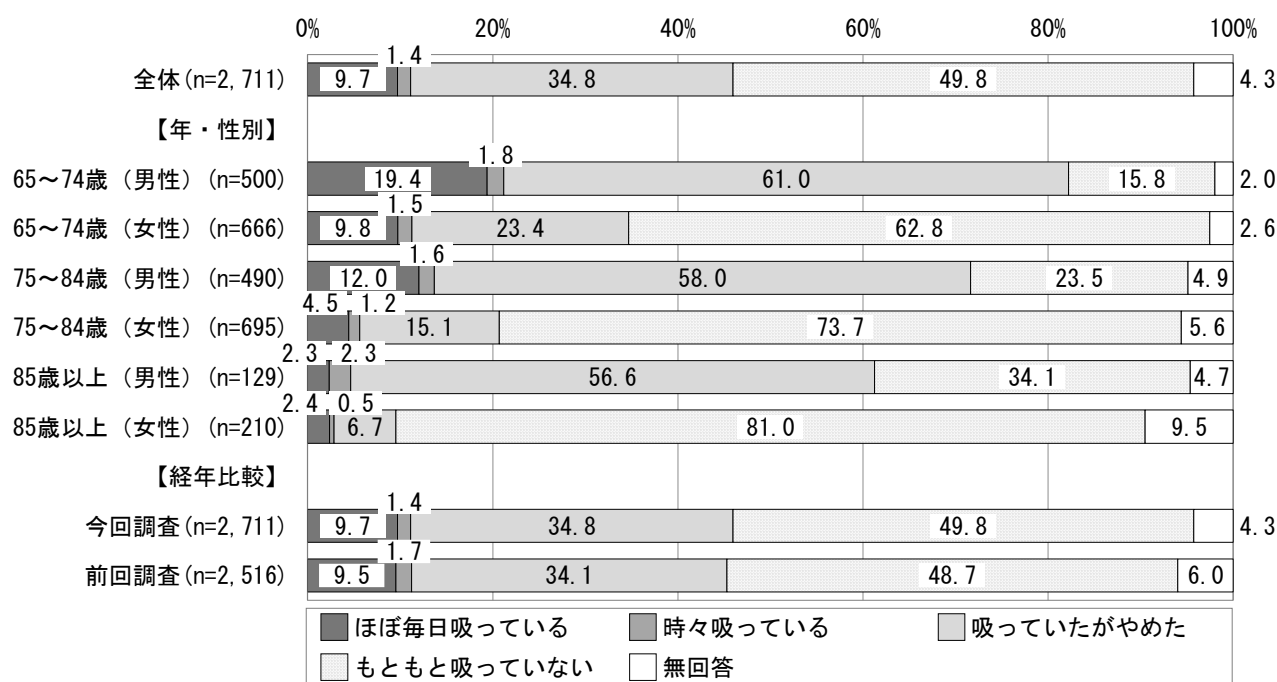
第2章 調査の結果

問8 (5) タバコは吸っていますか

全体では、「もともと吸っていない」が49.8%と最も高く、「吸っていたがやめた」が34.8%、「ほぼ毎日吸っている」が9.7%と続いている。「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』は11.1%となっている。

年・性別にみると、65～74歳、75～84歳においては男性のほうが女性よりも『吸っている』が高くなっている。

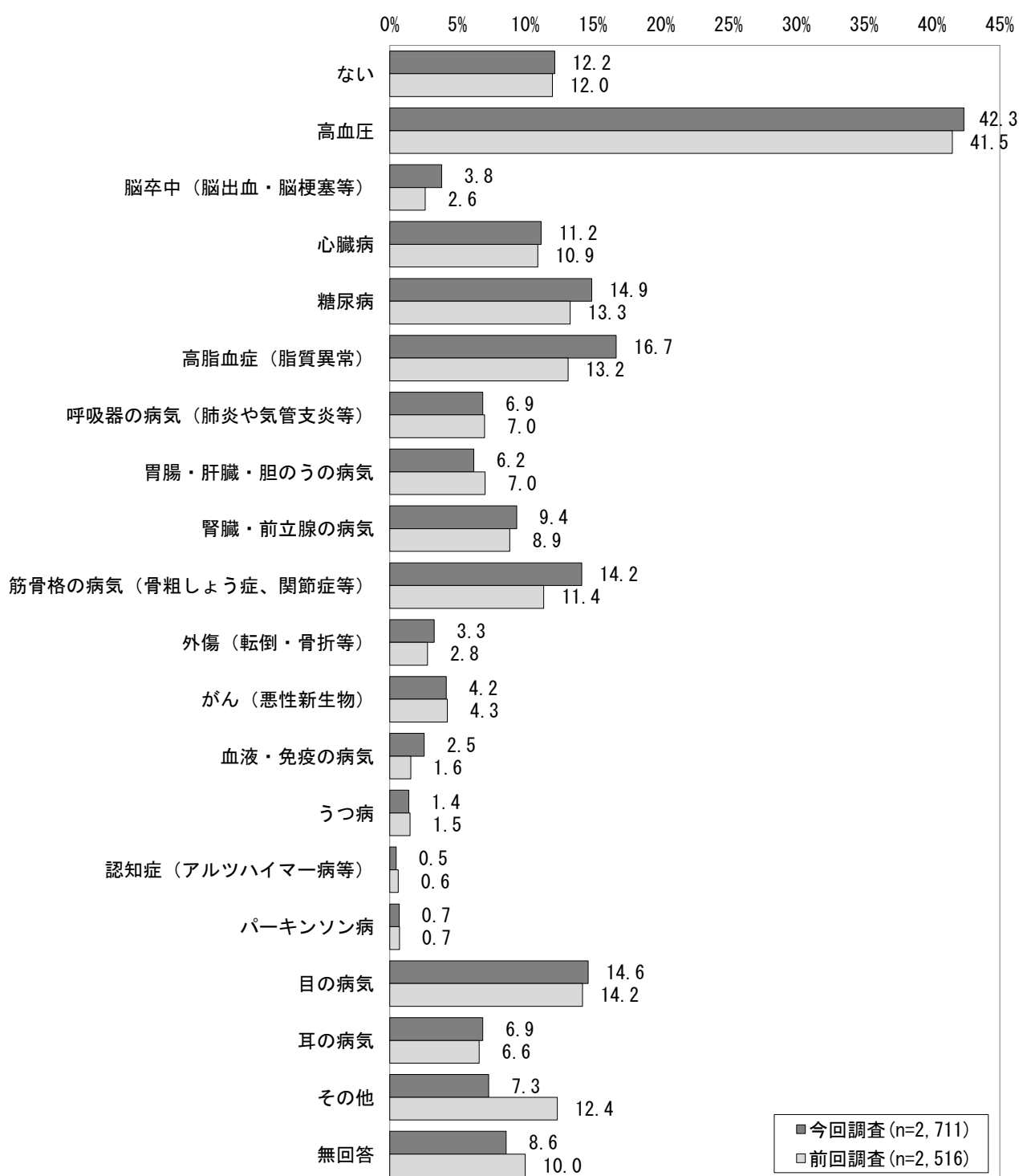
経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



問8 (6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

全体では、「高血圧」が42.3%と最も高く、「高脂血症（脂質異常）」が16.7%、「糖尿病」が14.9%と続いている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



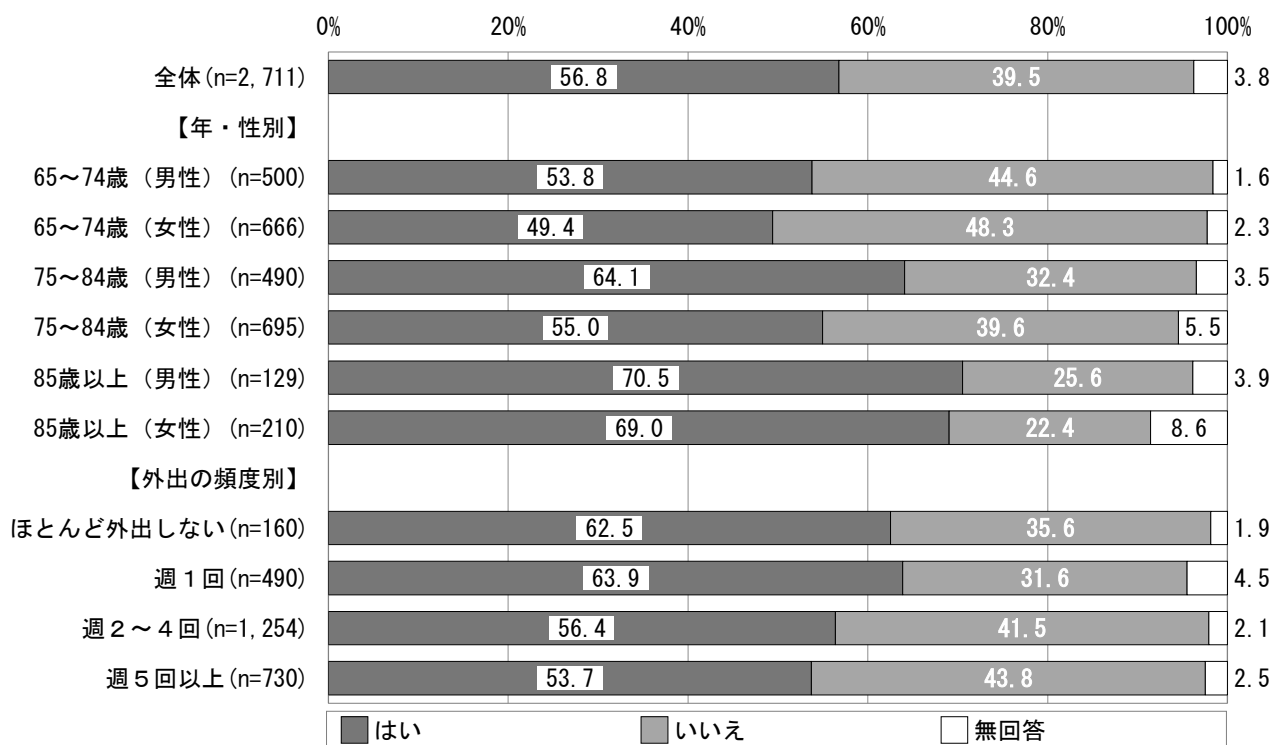
第2章 調査の結果

問8（7） 加齢により聴力が衰えたと感じますか

全体では、「はい」が56.8%、「いいえ」が39.5%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「はい」は増加している。いずれの年齢層も男性のほうが女性よりも「はい」が高くなっている。

外出頻度別では、外出頻度が高いほど「はい」は低くなっている。ほとんど外出しない人と週1回の人では、「はい」に大きな違いはみられない。



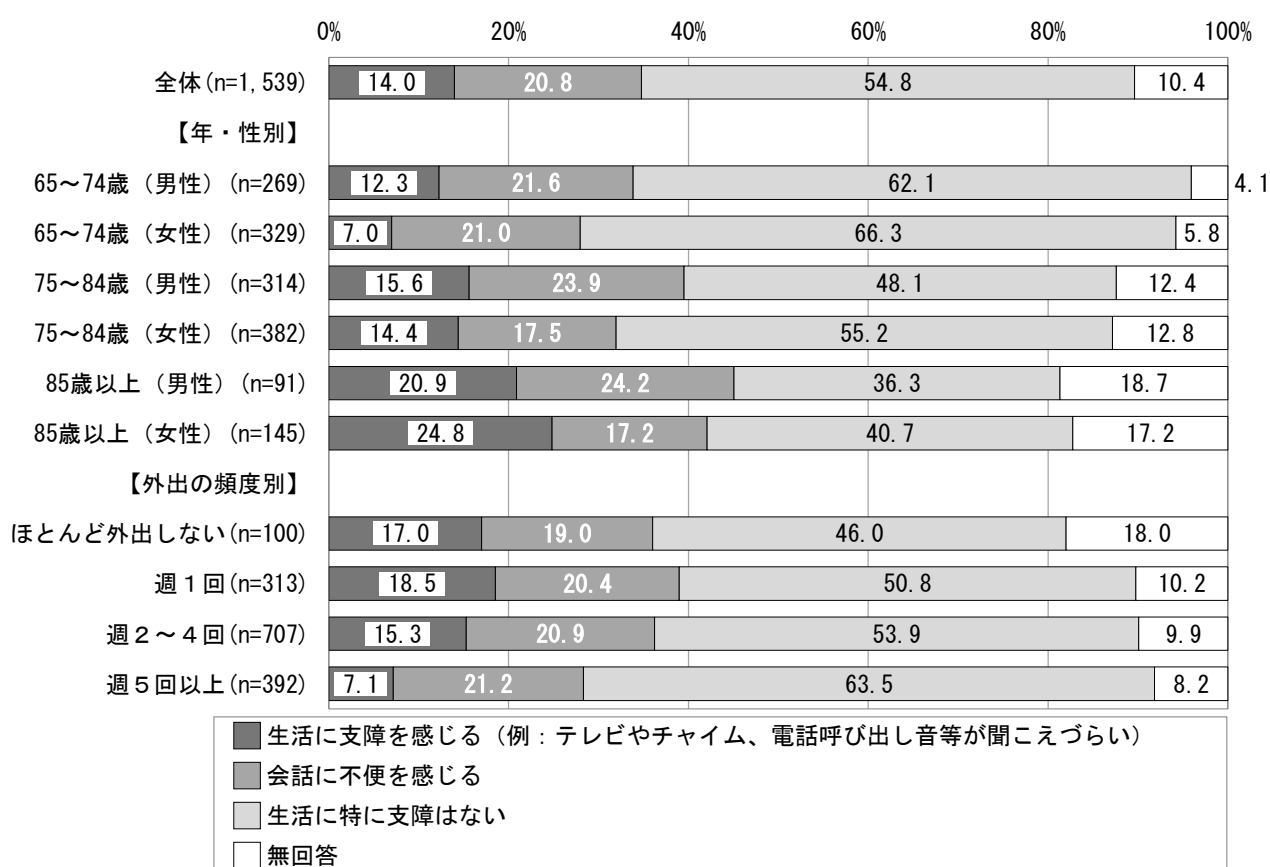
問8 (7) ① 聴力の衰えをどの程度感じていますか

※問8 (7) で「はい」と回答した方に質問

全体では、「生活に特に支障はない」が54.8%と最も高く、「会話に不便を感じる」が20.8%、「生活に支障を感じる」が14.0%と続いている。「生活に支障を感じる」と「会話に不便を感じる」を合わせた『日常生活に影響するほどの衰えを感じる』は34.8%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ『日常生活に影響するほどの衰えを感じる』は増加している。いずれの年齢層でも男性のほうが女性よりも『日常生活に影響するほどの衰えを感じる』が高くなっている。

外出頻度別では、週5日以上外出をしている人は『日常生活に影響するほどの衰えを感じる』は低くなっている。ほとんど外出しない人と週1回の人では、『日常生活に影響するほどの衰えを感じる』に大きな違いはみられない。



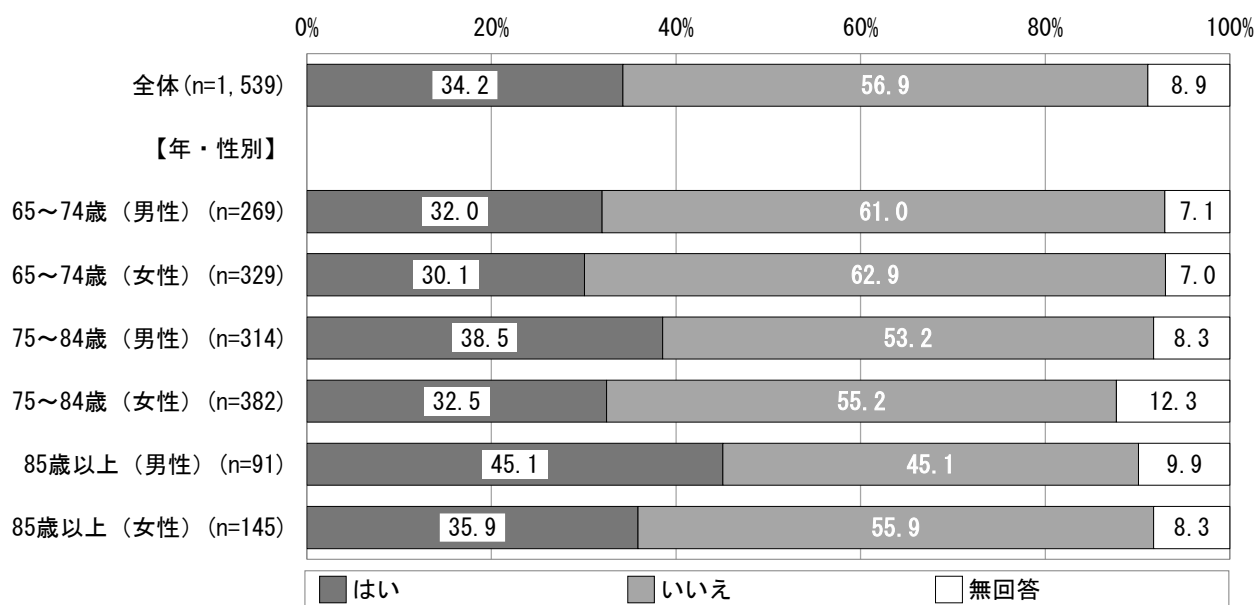
第2章 調査の結果

問8（7）② 聴力の衰えを感じて受診したことがありますか

※問8（7）で「はい」と回答した方に質問

全体では、「はい」が34.2%、「いいえ」が56.9%となっている。

年・性別にみると、75～84歳以上では男性のほうが女性よりも「はい」が高くなっている。



問8 (7) ③ 受診していない理由は何ですか (いくつでも)

※問8 (7) ②で「いいえ」と回答した方に質問

全体では、「まだ大丈夫だろう」「少し聞こえにくいだけ」と考えているから」が 49.4%と最も高く、「老化だから仕方がない」加齢に伴い自然なものだと考えているから」が 46.1%、「耳鼻咽喉科を受診するのは面倒に感じるから」が 9.3%と続いている。

年・性別では、65～74歳、75～84歳においては「まだ大丈夫だろう」「少し聞こえにくいだけ」と考えているから」が最も高く、85歳以上においては「老化だから仕方がない」加齢に伴い自然なものだと考えているから」が最も高くなっている。

(%)	「まだ大丈夫だろう」「少し聞こえにくいだけ」と考えているから	「老化だから仕方がない」加齢に伴い自然なものだと考えているから	耳鼻咽喉科を受診するのは面倒に感じるから	補聴器に対する抵抗感があるから	その他	無回答
全体 (n=875)	49.4	46.1	9.3	4.6	5.7	8.3
【年・性別】						
65～74歳 (男性) (n=164)	51.8	42.1	6.1	2.4	5.5	10.4
65～74歳 (女性) (n=207)	52.7	43.5	7.2	2.9	8.2	5.3
75～84歳 (男性) (n=167)	51.5	42.5	12.0	5.4	6.6	10.8
75～84歳 (女性) (n=211)	53.6	48.3	10.0	5.2	3.8	6.2
85歳以上 (男性) (n=41)	31.7	61.0	9.8	7.3	4.9	14.6
85歳以上 (女性) (n=81)	30.9	54.3	13.6	8.6	2.5	9.9

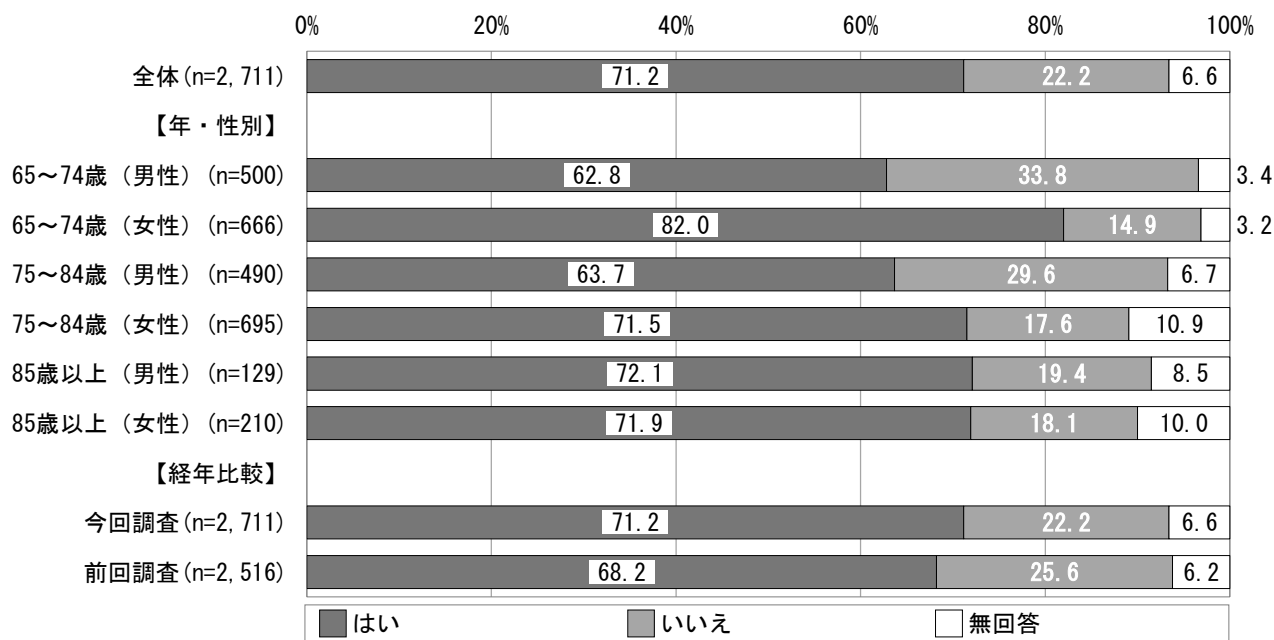
問9 地域包括支援センターについて

問9（1）高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを知っていますか

全体では、「はい」が71.2%、「いいえ」が22.2%となっている。

年・性別にみると、65～74歳の女性の「はい」が82.0%と最も高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

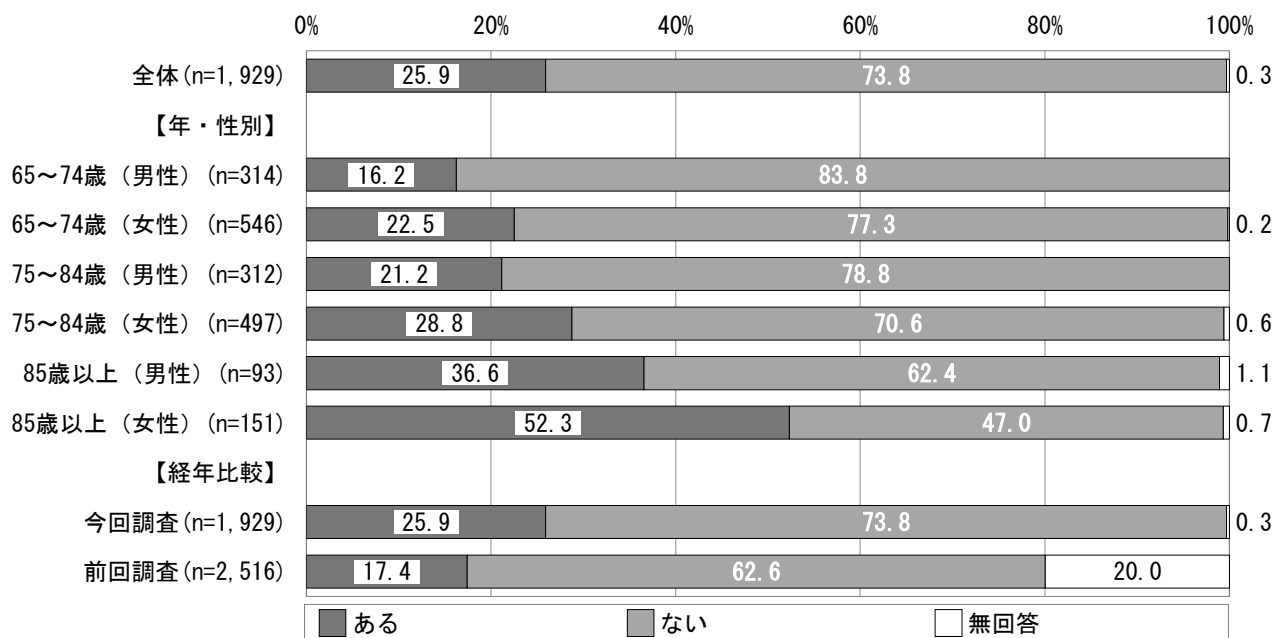


問9 (1) ① 地域包括支援センターを利用したことはありますか

※問9 (1) で「はい」と回答した方に質問

全体では、「ある」が25.9%、「ない」が73.8%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「ある」は増加している。いずれの年齢層でも女性のほうが男性よりも「ある」が高くなっている。



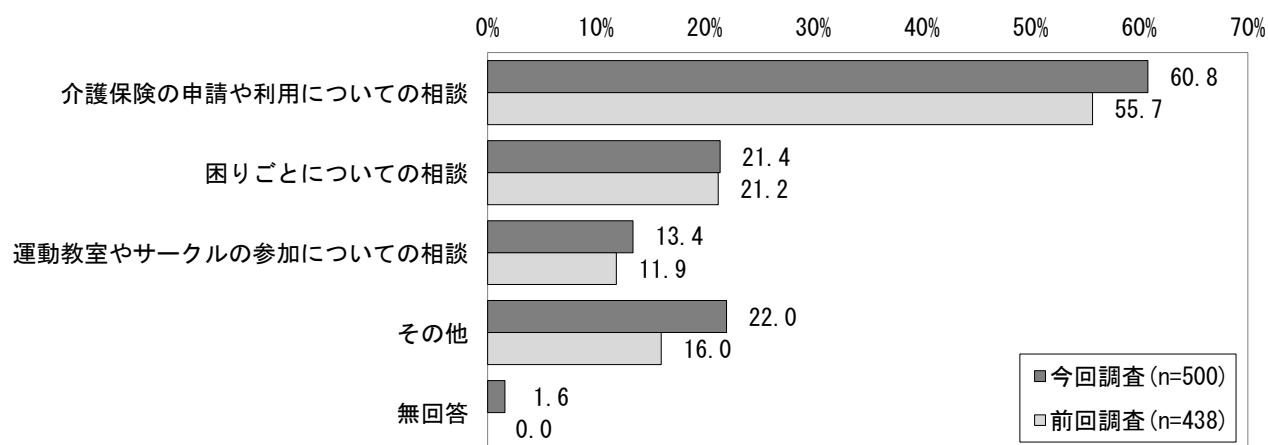
※前回調査は全員が回答している

問9 (1) ② どのようなことで利用しましたか (いくつでも)

※問9 (1) ①で「ある」と回答した方に質問

全体では、「介護保険の申請や利用についての相談」が60.8%と最も高く、「困りごとについての相談」が21.4%、「運動教室やサークルの参加についての相談」が13.4%と続いている。

経年比較では「介護保険の申請や利用についての相談」と「その他」に増加がみられる。



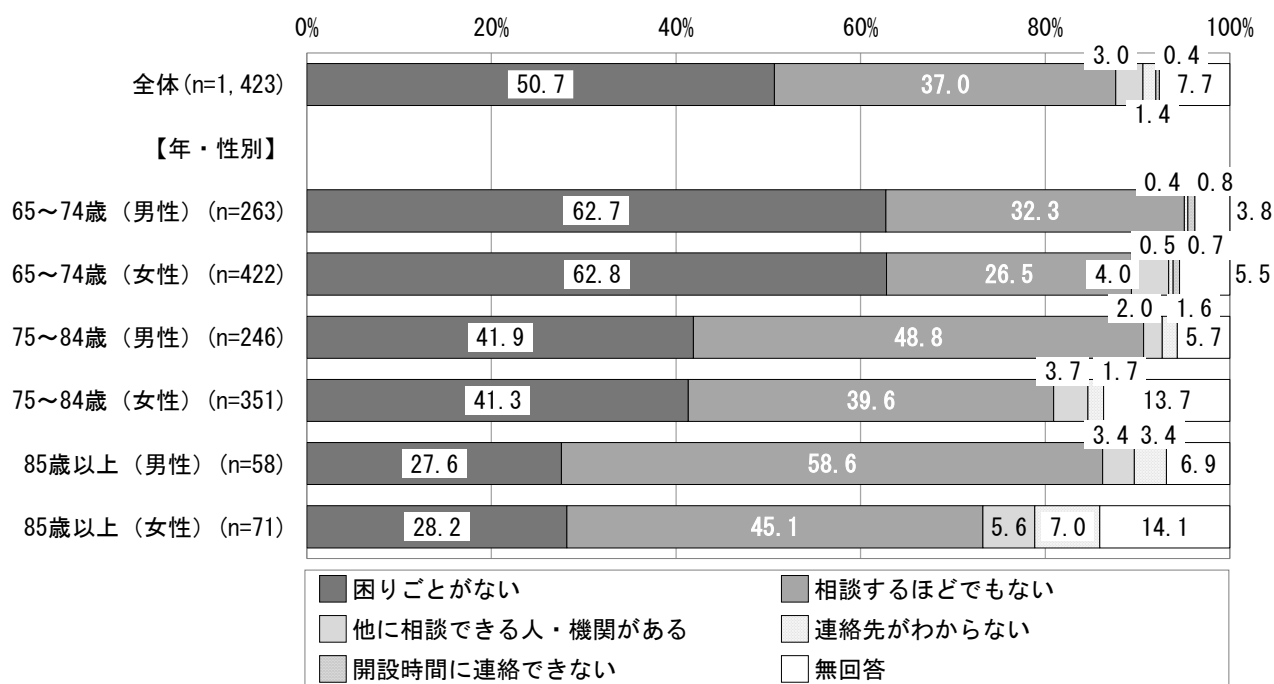
第2章 調査の結果

問9（1）③ 利用したことがない理由はどれですか

※問9（1）①で「ない」と回答した方に質問

全体では、「困りごとがない」が50.7%と最も高く、「相談するほどでもない」が37.0%、「他に相談できる人・機関がある」が3.0%と続いている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「困りごとはない」は減少している。「困りごとがない」については、性別による大きな違いはみられない。



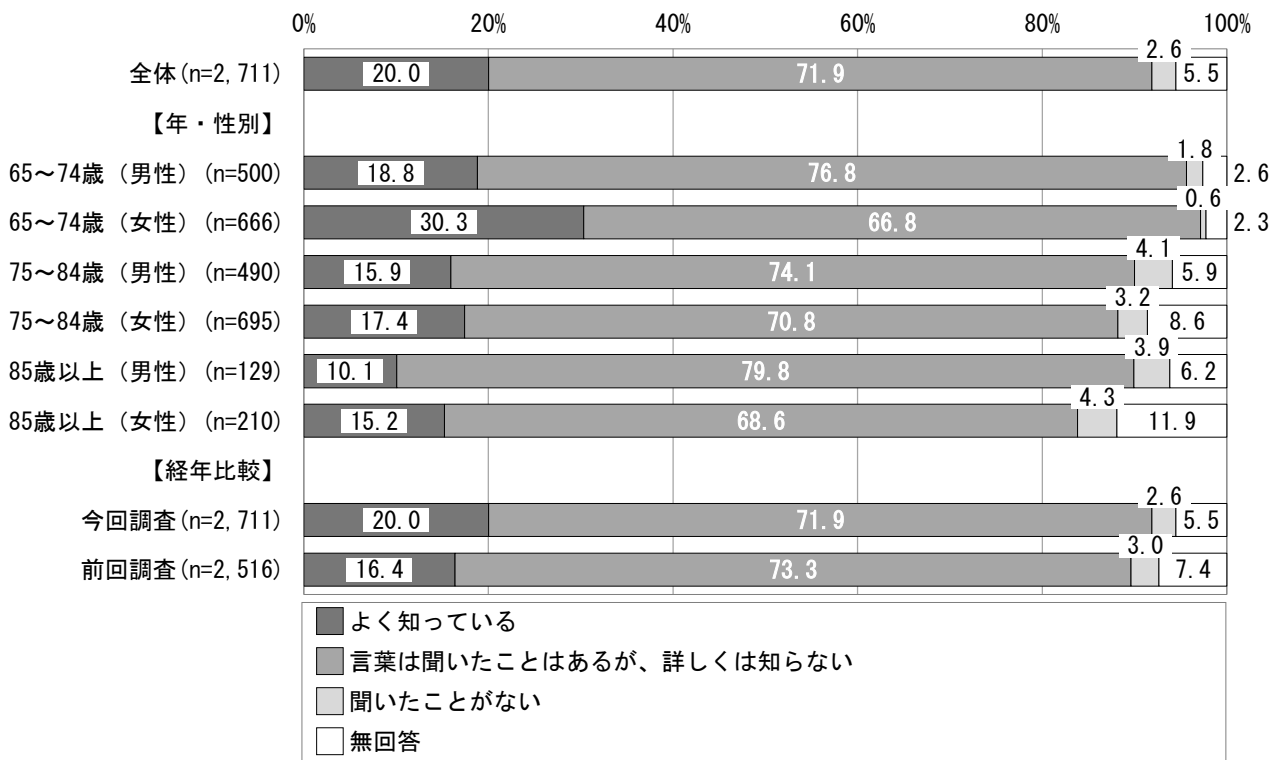
問 10 在宅医療について

問 10（１） 在宅医療について知っていますか

全体では、「言葉は聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 71.9%と最も高く、「よく知っている」が 20.0%、「聞いたことがない」が 2.6%と続いている。

年・性別にみると、65～74 歳の女性の「よく知っている」が 30.3%と最も高く、年齢があがるにつれ「よく知っている」は減少している。いずれの年齢層でも、女性のほうが男性よりも「よく知っている」が高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



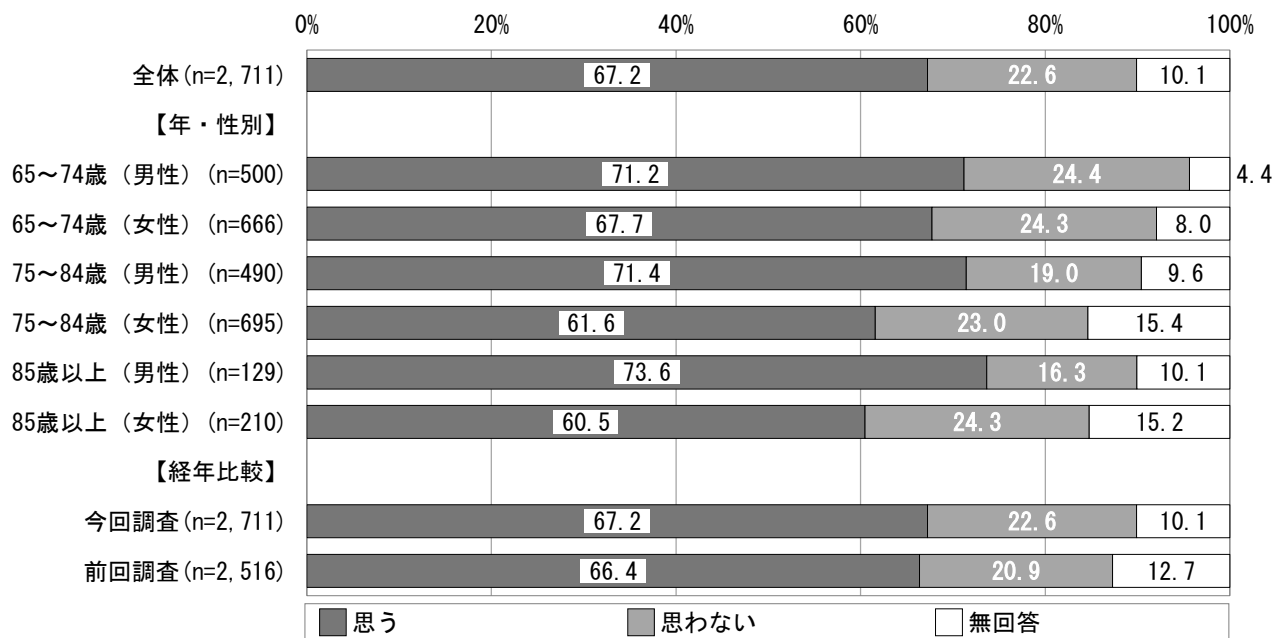
第2章 調査の結果

問10（2） 通院できなくなったとき、自宅で訪問診療を受けたいと思いますか

全体では、「思う」が67.2%、「思わない」が22.6%となっている。

年・性別にみると、いずれの年齢層も女性の「思う」に大きな違いはみられないものの、男性は年齢があがるにつれ「思う」が減少している。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

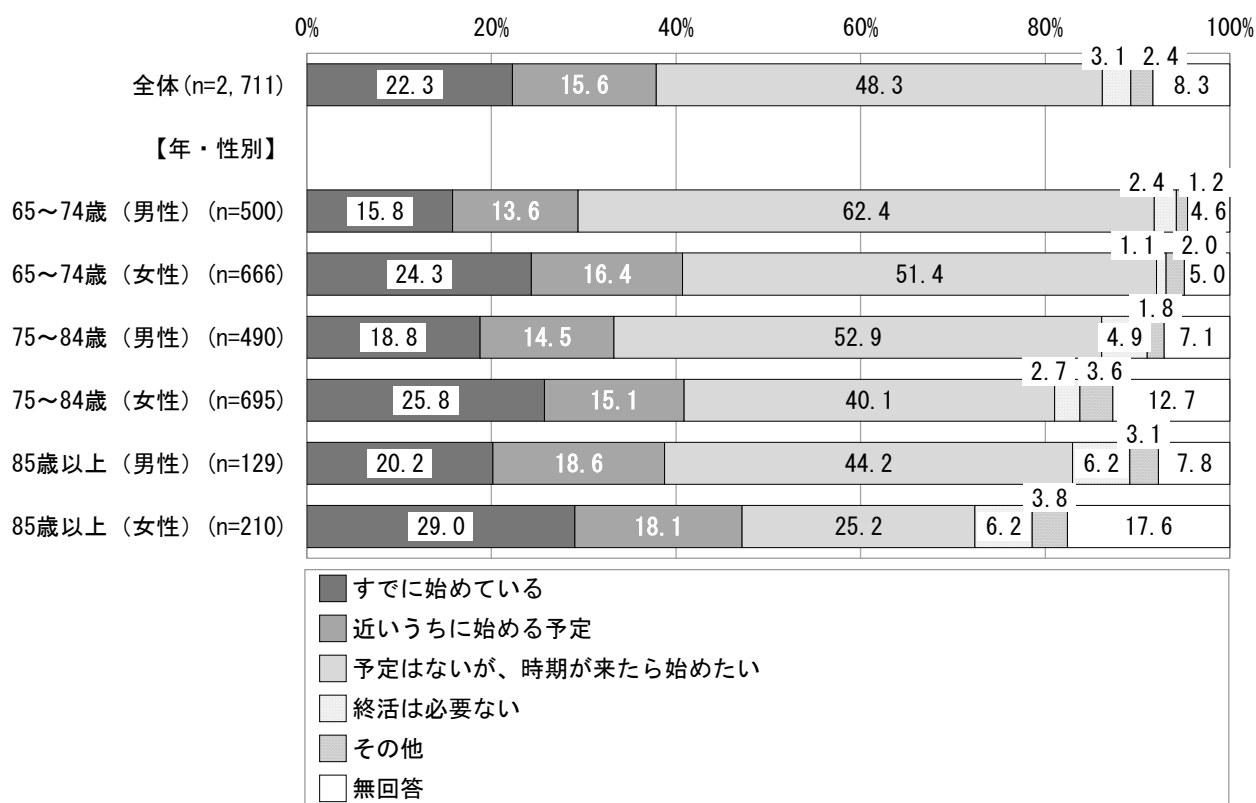


問 11 終活について

問 11（１） 終活の取り組みをしていますか

全体では、「予定はないが、時期が来たら始めたい」が 48.3%と最も高く、「すでに始めている」が 22.3%、「近いうちに始める予定」が 15.6%と続いている。

年・性別にみると、いずれの年齢層も女性のほうが男性よりも「すでに始めている」が高くなっている。また、いずれの年齢層も男性のほうが女性よりも「予定はないが、時期が来たら始めたい」が高く、85歳以上でも 44.2%となっている。



問12 最期を迎える場所について

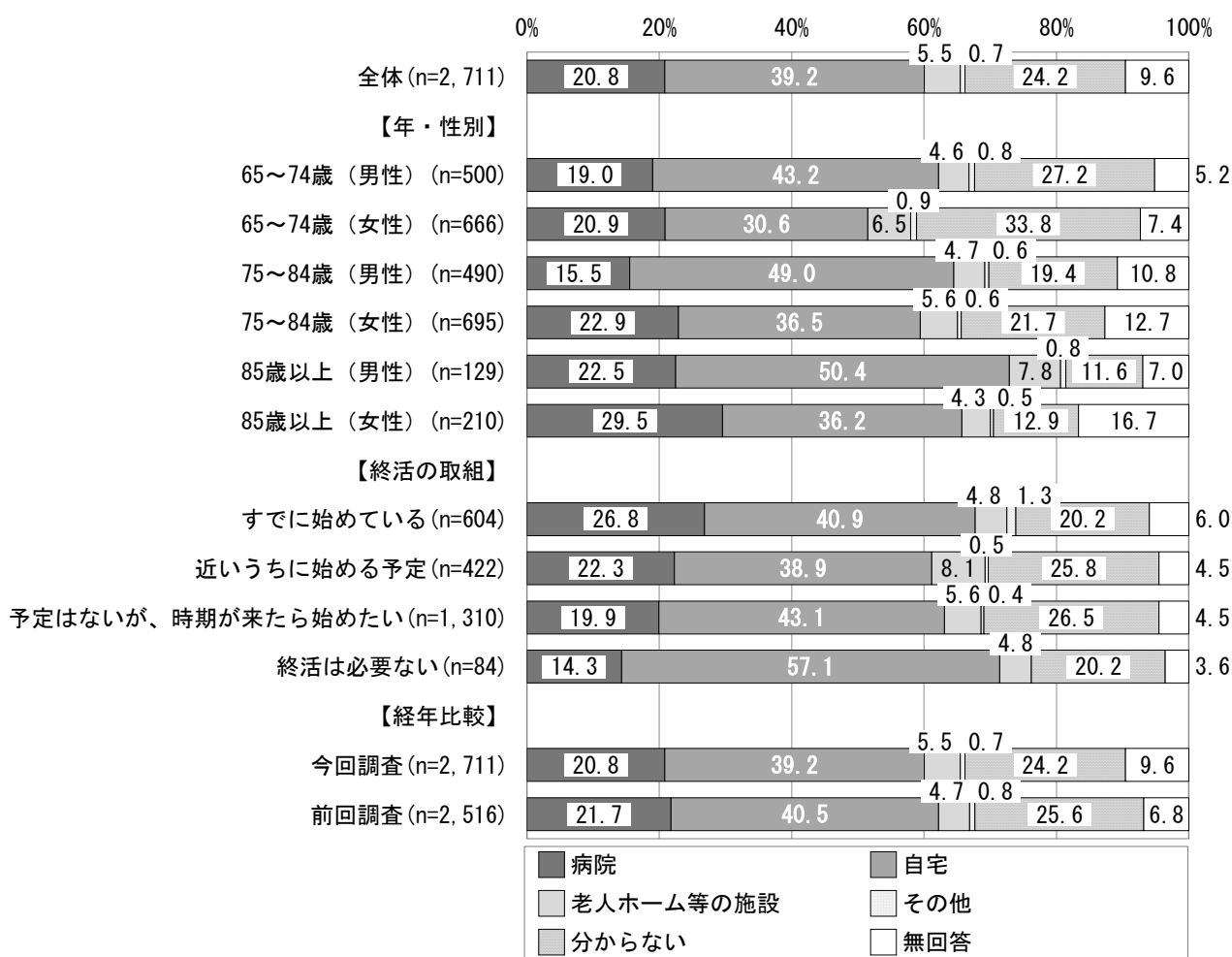
問12（1） 希望としては、どこで最期を迎えたいとお考えですか

全体では、「自宅」が39.2%と最も高く、「病院」が20.8%、「老人ホーム等の施設」が5.5%と続いている。

年・性別にみると、いずれの年齢層も男性のほうが女性よりも「自宅」が高く、女性のほうが男性よりも「病院」が高くなっている。

終活の取組状況別にみると、すでに始めている人は他の取組状況の人よりも「病院」が26.8%と最も高く、終活は必要ない人は他の取組状況の人よりも「自宅」が57.1%と最も高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



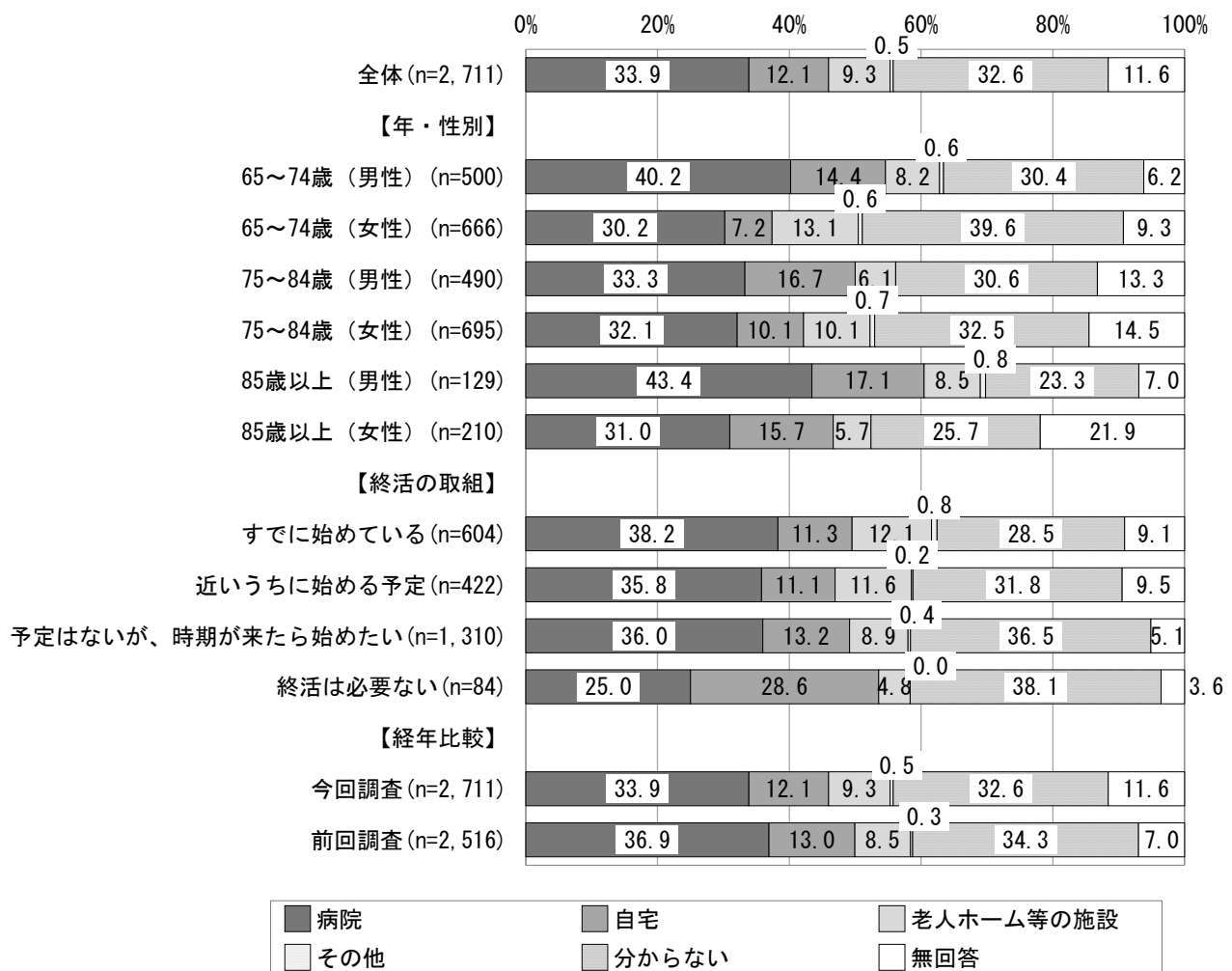
問 12 (2) 現状では、実際に最期を迎えられる場所はどこになると思われますか

全体では、「病院」が 33.9%と最も高く、「自宅」が 12.1%、「老人ホーム等の施設」が 9.3%と続いている。

年・性別にみると、全体的に前問よりも「分からない」が高くなっている。

終活の取組状況別にみると、終活は必要ない人は他の取組状況の人よりも「病院」が 25.0%と最も低く、「自宅」が 28.6%と最も高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



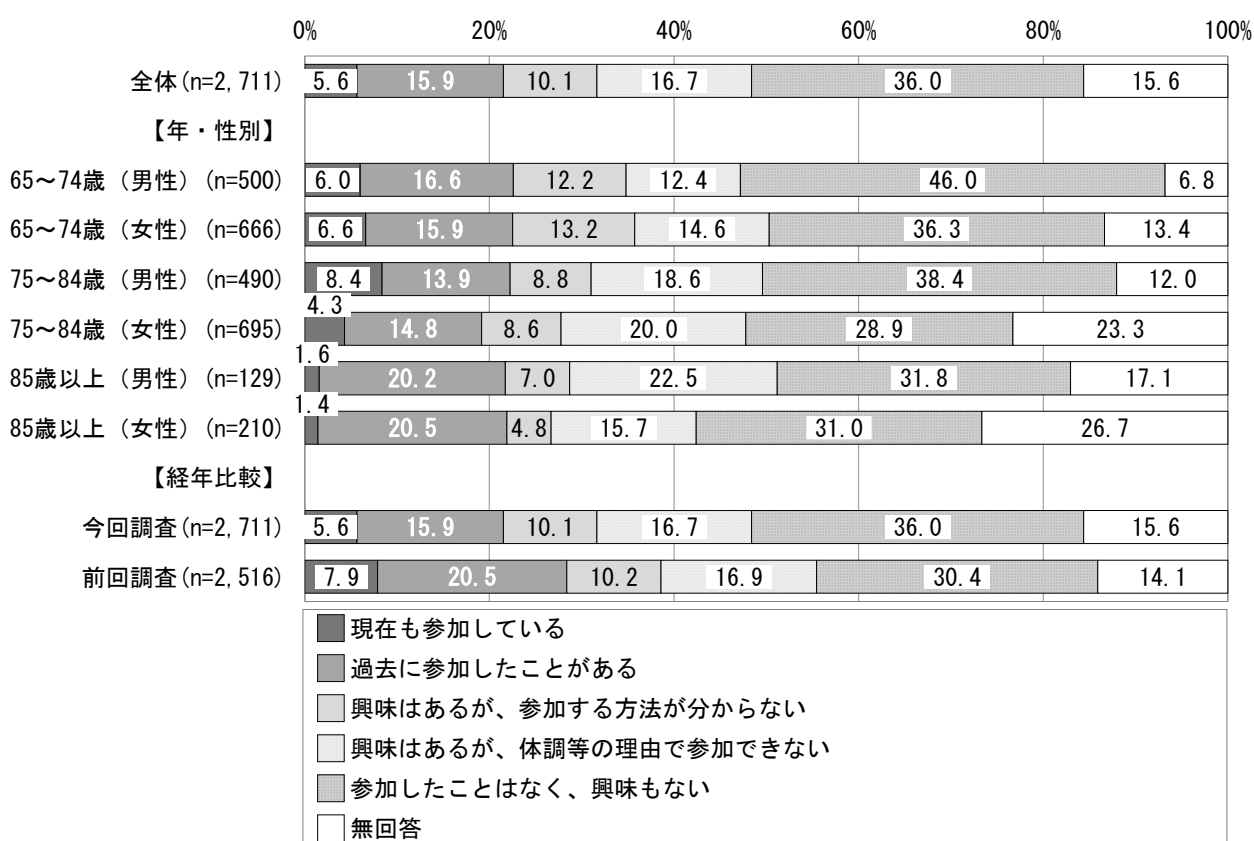
問13 ボランティア活動について（有償ボランティアを含みます）

問13（1） ボランティア活動に参加したことはありますか

全体では、「参加したことはなく、興味もない」が36.0%と最も高く、「興味はあるが、体調等の理由で参加できない」が16.7%、「過去に参加したことがある」が15.9%と続いている。「興味はあるが、体調等の理由で参加できない」と「参加したことはなく、興味もない」を合わせた『参加意向なし』は52.7%となっている。

年・性別にみると、いずれの年齢層も『参加意向なし』に大きな違いはみられない。

経年比較では、前回調査よりも「参加したことはなく、興味もない」が増加している。

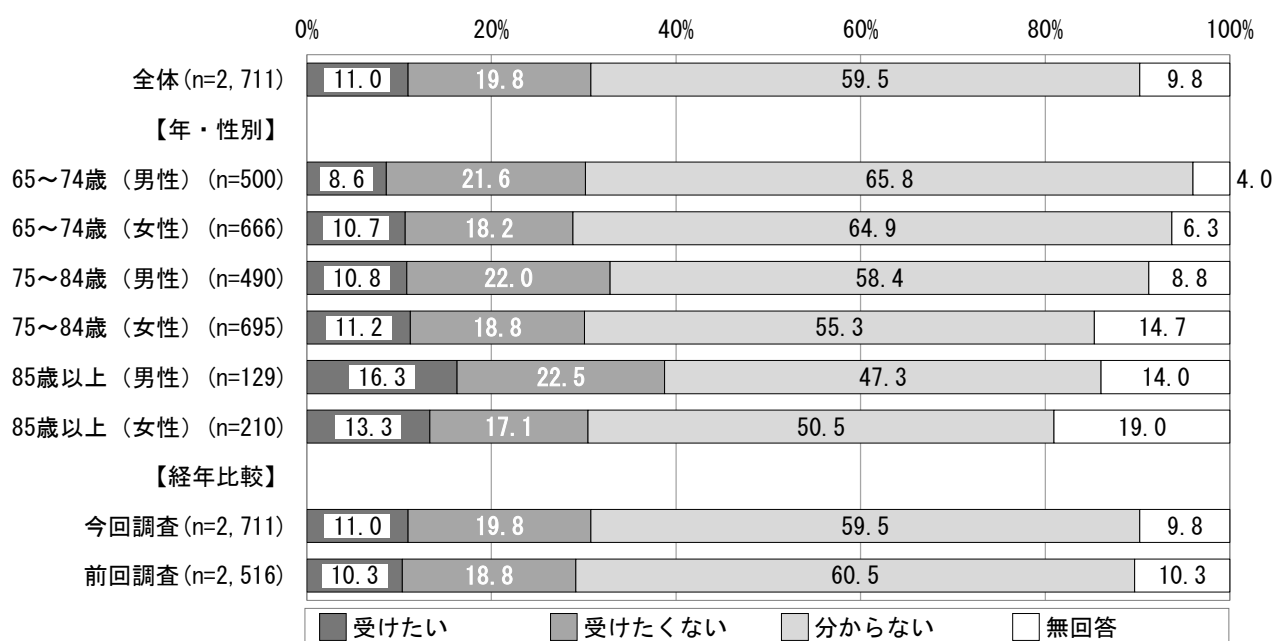


問 13（２） 現在又は将来、ボランティアによる支援を受けたいと思いますか

全体では、「分からない」が 59.5%と最も高く、「受けたくない」が 19.8%、「受けたい」が 11.0%と続いている。

年・性別にみると、85 歳以上の男性の「受けたい」が 16.3%と最も高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



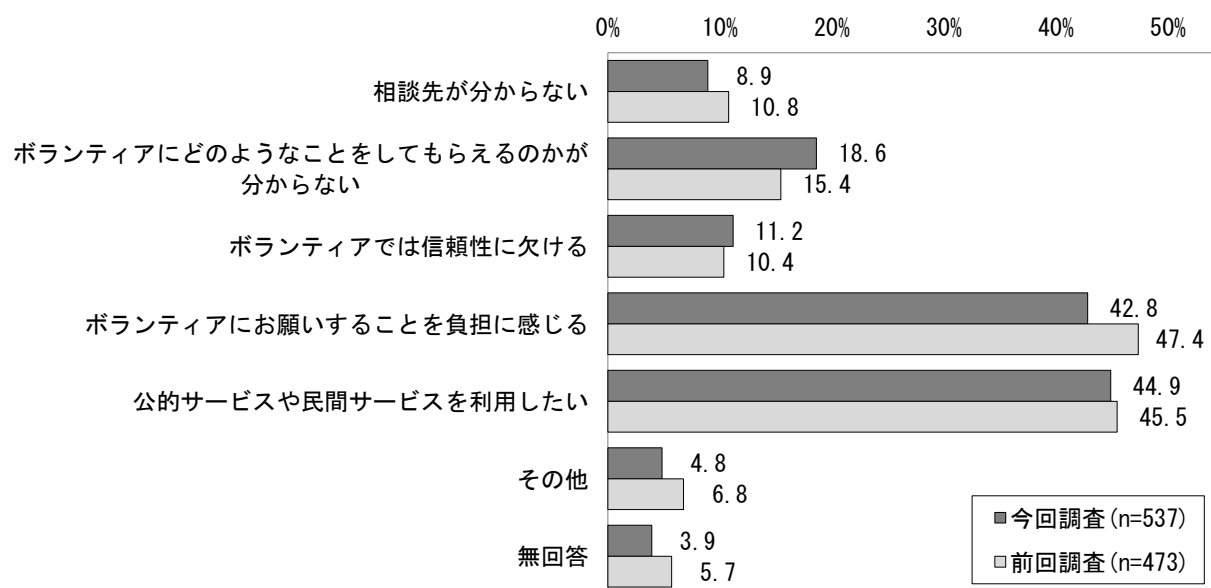
第2章 調査の結果

問 13（2）① 受けたくない理由は何ですか（いくつでも）

※問 13（2）で「受けたくない」と回答した方に質問

全体では、「公的サービスや民間サービスを利用したい」が 44.9%と最も高く、「ボランティアにお願いすることを負担に感じる」が 42.8%、「ボランティアにどのようなことをしてもらえるのかが分からない」が 18.6%と続いている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



問 13（3） 住み慣れた地域で暮らすため、高齢者の生活を支援するボランティア活動があった場合、参加してみたい活動はどれですか（いくつでも）

全体では、「話し相手」が 18.1%と最も高く、「見守り」が 17.4%、「除雪」が 16.0%と続いている。なお、「なし」は 32.9%となっている。

年・性別にみると、いずれの年齢層も男性は「除雪」が最も高く、女性が 65～74 歳は「見守り」、75～84 歳、85 歳以上は「話し相手」が最も高くなっている。

(%)	話し相手	見守り	除雪	ごみ出し	買い物代行	通院の付き添い	家の掃除	その他	なし	無回答
全体 (n=2,711)	18.1	17.4	16.0	15.4	9.4	6.5	5.7	2.5	32.9	18.6
【年・性別】										
65～74歳（男性）(n=500)	9.2	17.2	31.0	14.4	11.4	7.4	3.2	2.4	41.0	7.8
65～74歳（女性）(n=666)	26.3	28.2	11.6	20.7	14.3	12.0	8.9	2.0	27.3	13.1
75～84歳（男性）(n=490)	14.1	15.7	21.8	14.3	6.5	4.7	1.8	2.0	33.9	18.6
75～84歳（女性）(n=695)	22.4	12.9	7.1	13.8	7.2	2.9	6.9	3.0	30.1	26.0
85歳以上（男性）(n=129)	14.7	10.9	17.8	11.6	4.7	3.1	7.0	2.3	35.7	27.1
85歳以上（女性）(n=210)	12.4	5.7	8.6	11.0	5.7	4.8	5.2	4.3	35.7	33.3

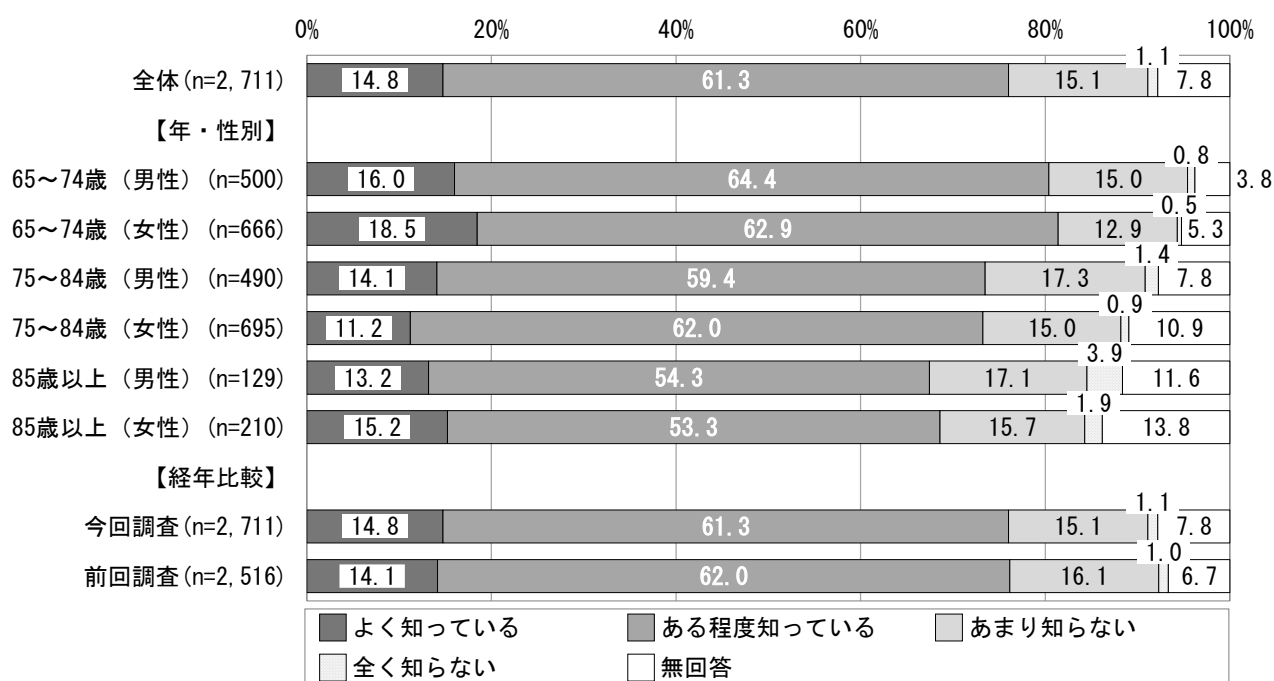
問 14 認知症について

問 14（１） 認知症について、どの程度知っていますか

全体では、「ある程度知っている」が 61.3%と最も高く、「あまり知らない」が 15.1%、「よく知っている」が 14.8%と続いている。「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』が 76.0%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ『知っている』は減少している。性別による大きな傾向の違いはみられない。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

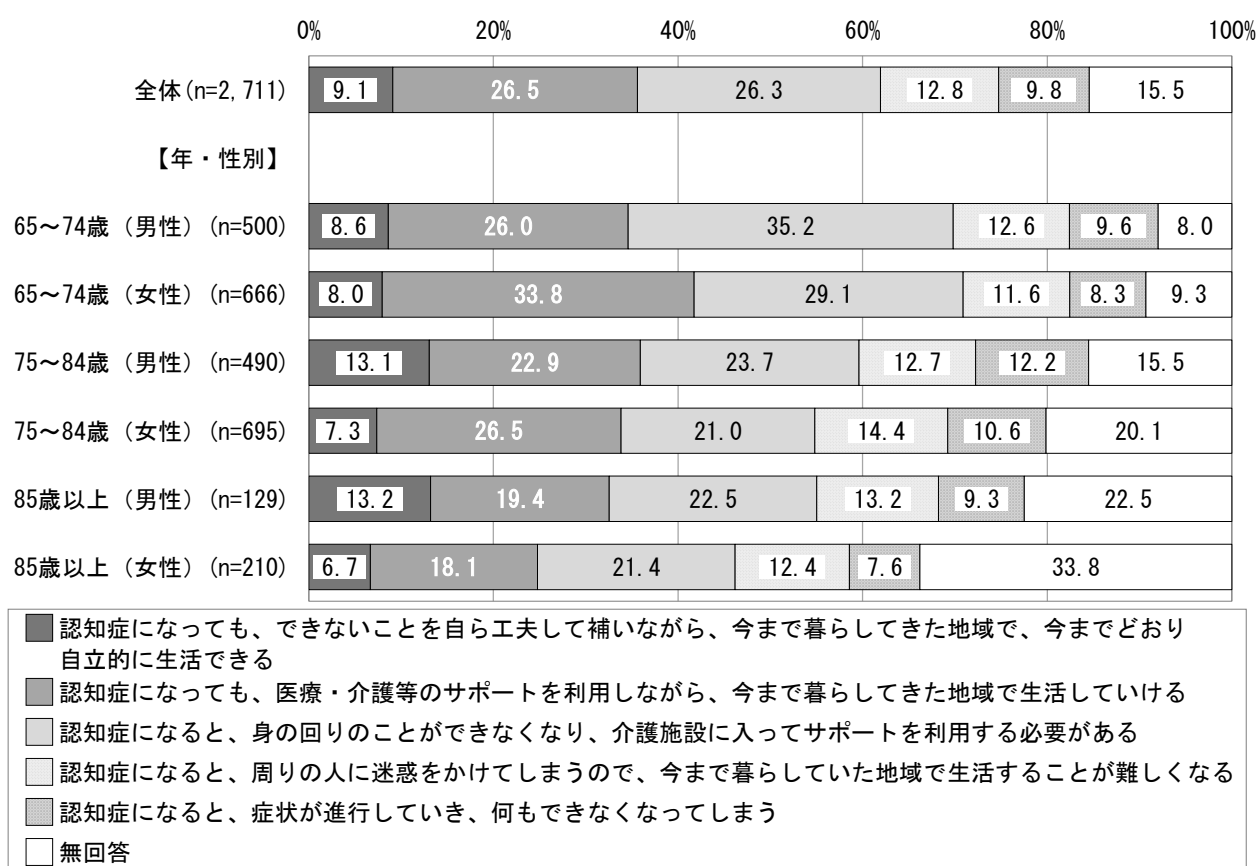


問 14 (2) 認知症について、どのようなイメージを持っていますか

全体では、「認知症になっても、医療・介護等のサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が26.5%と最も高く、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用する必要がある」が26.3%、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしていた地域で生活することが難しくなる」が12.8%と続いている。

特に、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしていた地域で生活することが難しくなる」と「認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう」のような、後ろ向きなイメージを持っているのは、22.6%となっている。

年・性別にみると、後ろ向きなイメージを持っているのは、75～84歳が他の年齢層よりも高く、男性が24.9%、女性が25.0%となっている。



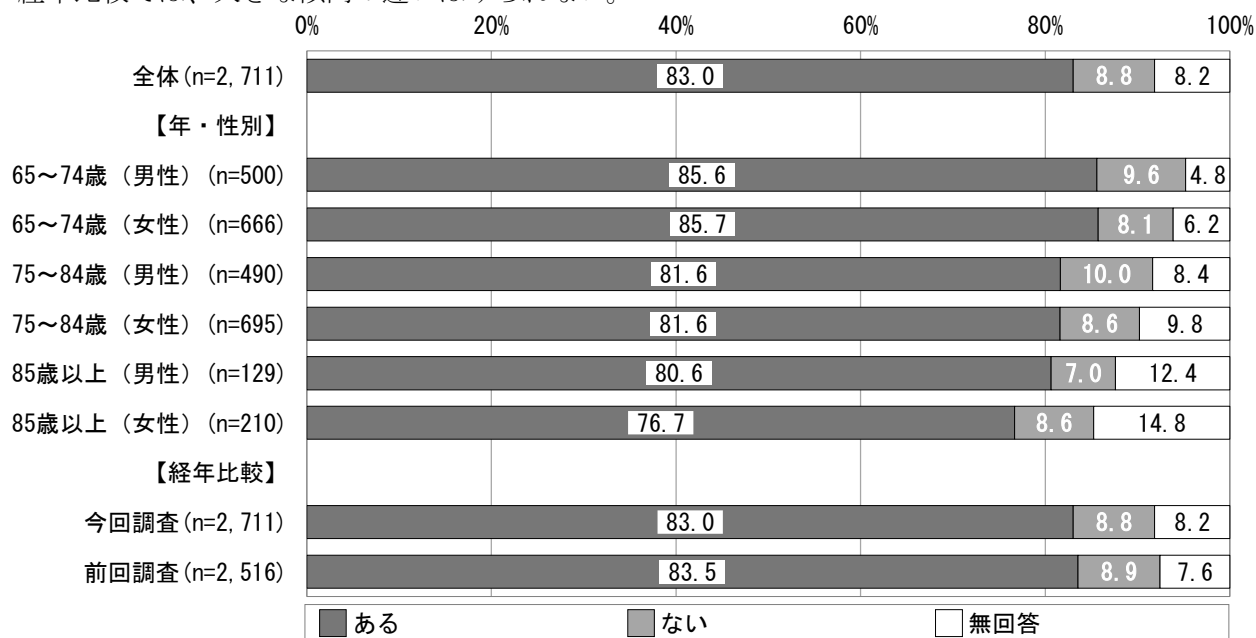
第2章 調査の結果

問 14（3） あなたや家族が認知症になったとき、不安に思うことはありますか

全体では、「ある」が83.0%、「ない」が8.8%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「ある」は減少している。（無回答も増加している。）

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。



問 14（3）① 不安に思うことは何ですか（いくつでも）

※問 14（3）で「ある」と回答した方に質問

全体では、「介護のこと」が81.6%と最も高く、「病気のこと」が55.8%、「経済的なこと」が52.6%と続いている。「病気のこと」と「経済のこと」は、終活は必要ないという認識の人のほうが高くなっている。

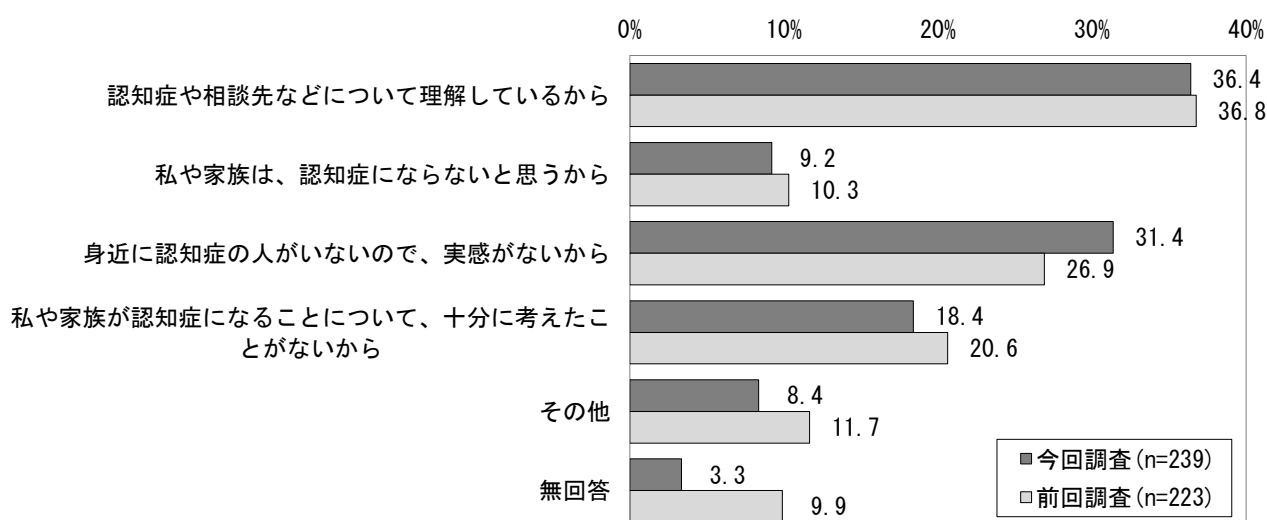
	(%)	介護のこと	病気のこと	経済的なこと	家族との関係	地域との関係	その他	無回答
全体 (n=2,251)		81.6	55.8	52.6	28.7	6.4	1.2	0.7
【経年比較】								
今回調査 (n=2,251)		81.6	55.8	52.6	28.7	6.4	1.2	0.7
前回調査 (n=2,102)		81.9	54.9	49.6	31.7	6.4	2.3	0.0
【終活の取り組み】								
すでに始めている (n=515)		82.3	53.8	50.7	26.6	10.1	1.4	0.8
近いうちに始める予定 (n=374)		83.7	54.5	52.9	30.5	6.1	1.9	0.5
予定はないが、時期が来たら始めたい (n=1,147)		81.0	56.6	51.4	28.6	5.1	0.7	0.6
終活は必要ない (n=50)		76.0	70.0	68.0	24.0	8.0	0.0	0.0

問 14（3）② 不安に思わない理由は何ですか（いくつでも）

※問 14（3）で「ない」と回答した方に質問

全体では、「認知症や相談先などについて理解しているから」が 36.4%と最も高く、「身近に認知症の人がいないので、実感がないから」が 31.4%、「私や家族が認知症になることについて、十分に考えたことがないから」が 18.4%と続いている。

経年比較では、「身近に認知症の人がいないので、実感がないから」に微増がみられるが、全体として大きな傾向の違いはみられない。



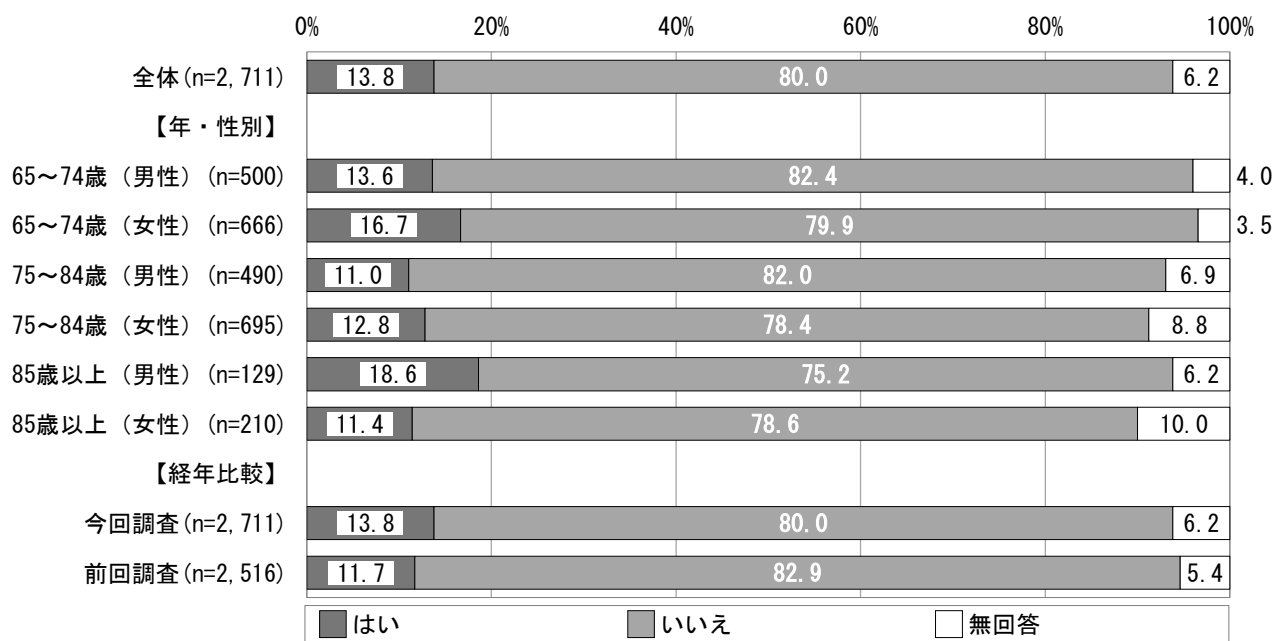
問 15 認知症にかかる相談窓口の把握について

問 15（１） 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

全体では、「はい」が 13.8%、「いいえ」が 80.0%となっている。

年・性別にみると、85 歳以上の男性の「はい」が 18.8%と最も高くなっている。

経年比較では、大きな傾向の違いはみられない。

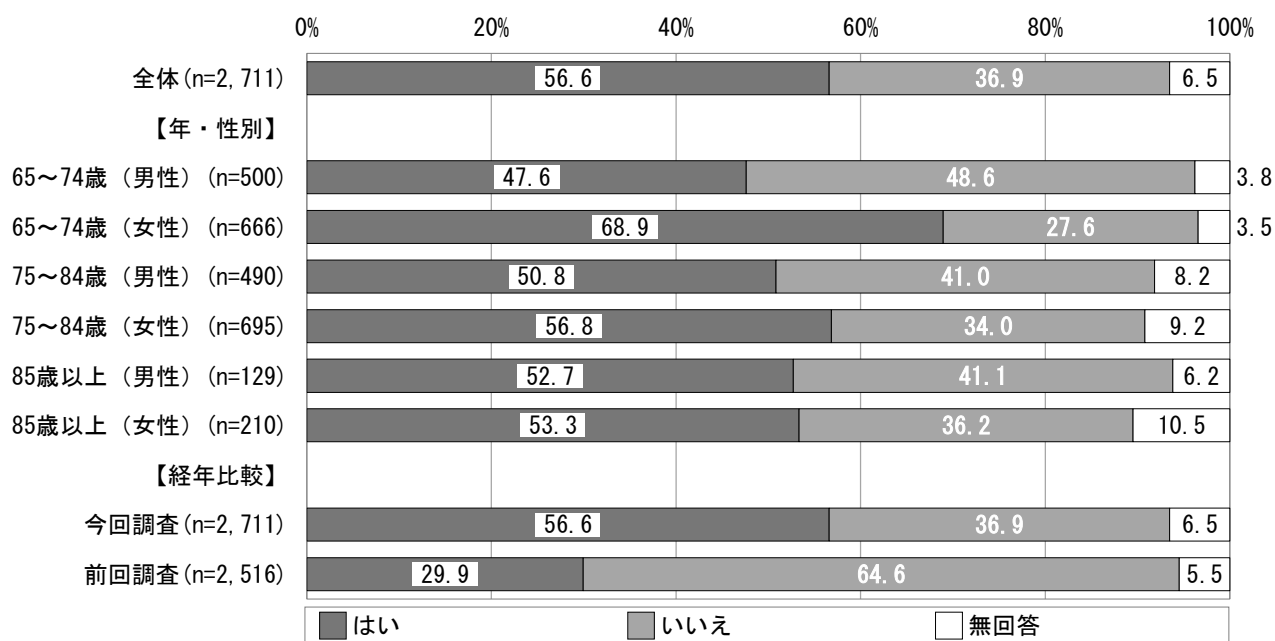


問 15（２） 認知症に関する相談窓口（地域包括支援センター等）を知っていますか

全体では、「はい」が 56.6%、「いいえ」が 36.9%となっている。

年・性別にみると、65～74 歳の女性の「はい」が 68.9%と最も高くなっている。

経年比較では、「はい」に増加がみられる。



問 16 スマートフォンの利用について

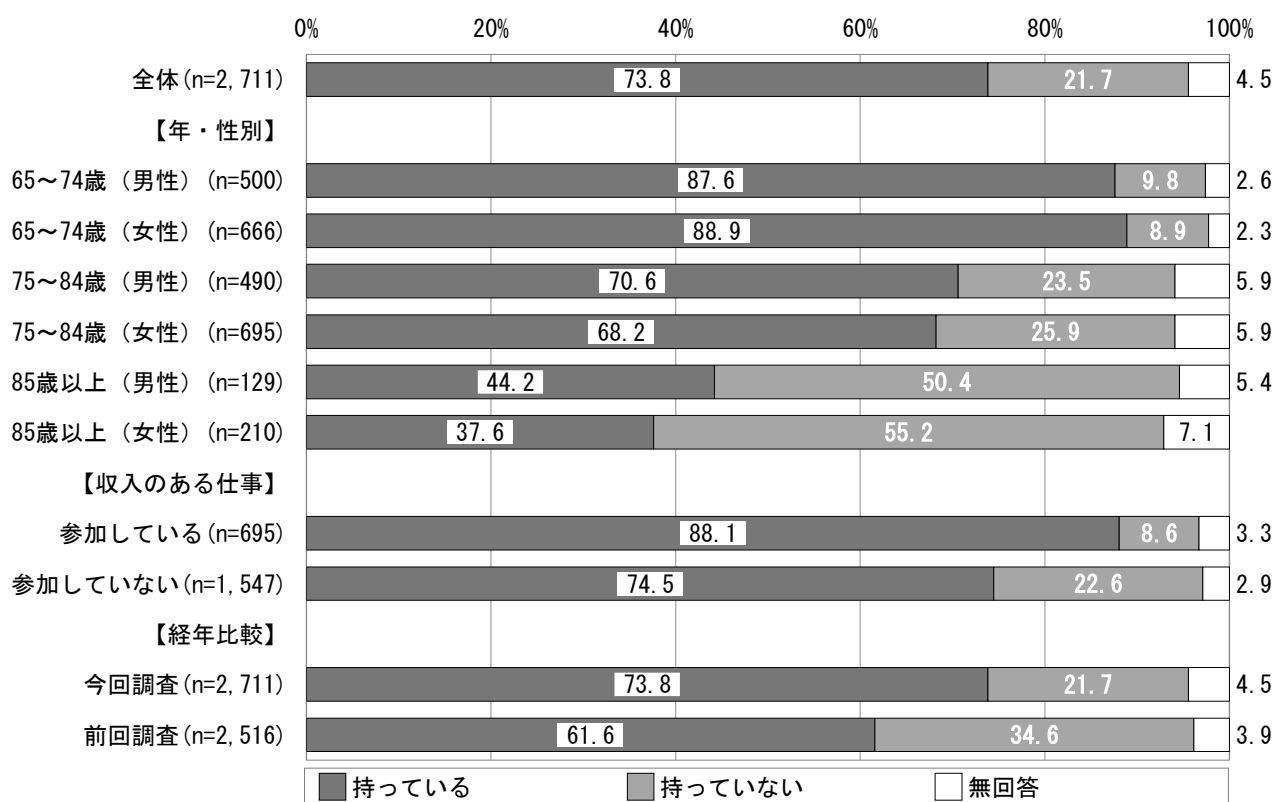
問 16 (1) スマートフォンを持っていますか

全体では、「持っている」が73.8%、「持っていない」が21.7%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「持っている」に減少がみられる。85歳以上において、男性のほうが女性よりも「持っている」が高くなっている。

収入のある仕事の参加状況別にみると、参加している人の「持っている」が88.1%となっている。

経年比較では、「持っている」に増加がみられる。



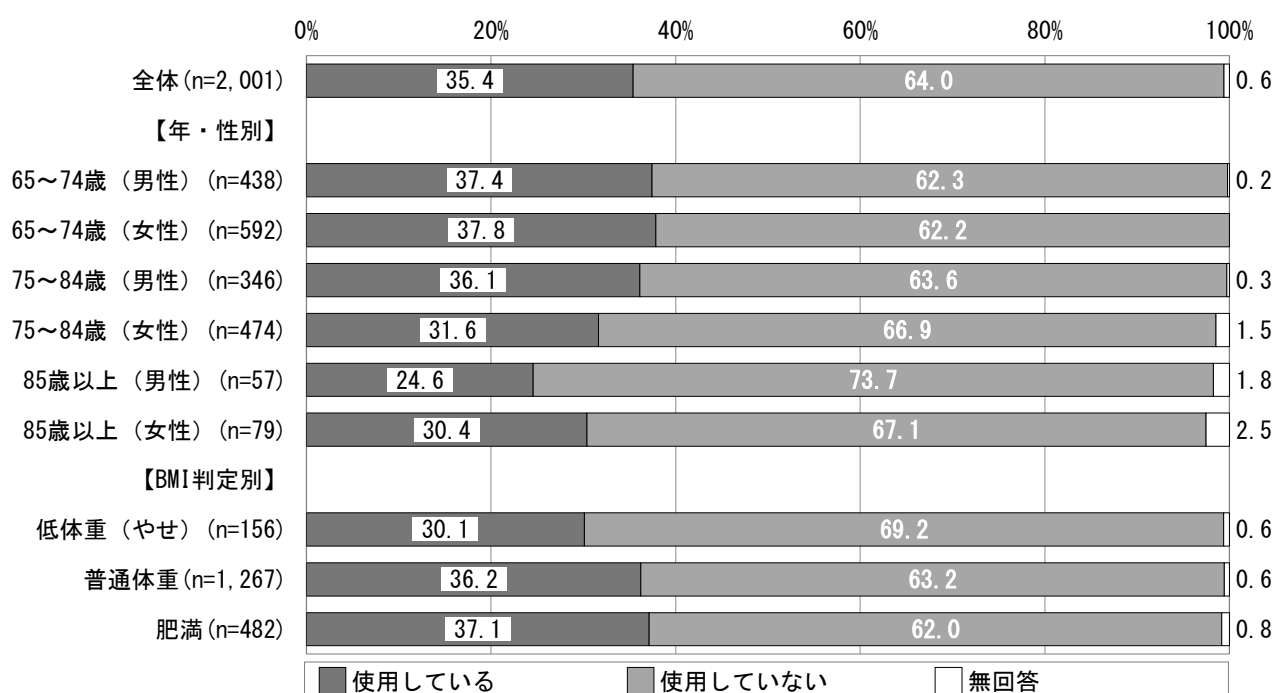
問 16（１）① スマートフォンを、健康管理（歩数・体重・食事・薬等の情報管理）のために使用していますか

※問 16（１）で「持っている」と回答した方に質問

全体では、「使用している」が 35.4%、「使用していない」が 64.0%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「使用している」に減少がみられる。85 歳以上において、女性のほうが男性よりも「使用している」が高くなっている。

BMI 判定別にみると、低体重（やせ）の人が他の判定区分よりも「使用している」が 30.1%と低くなっている。



第2章 調査の結果

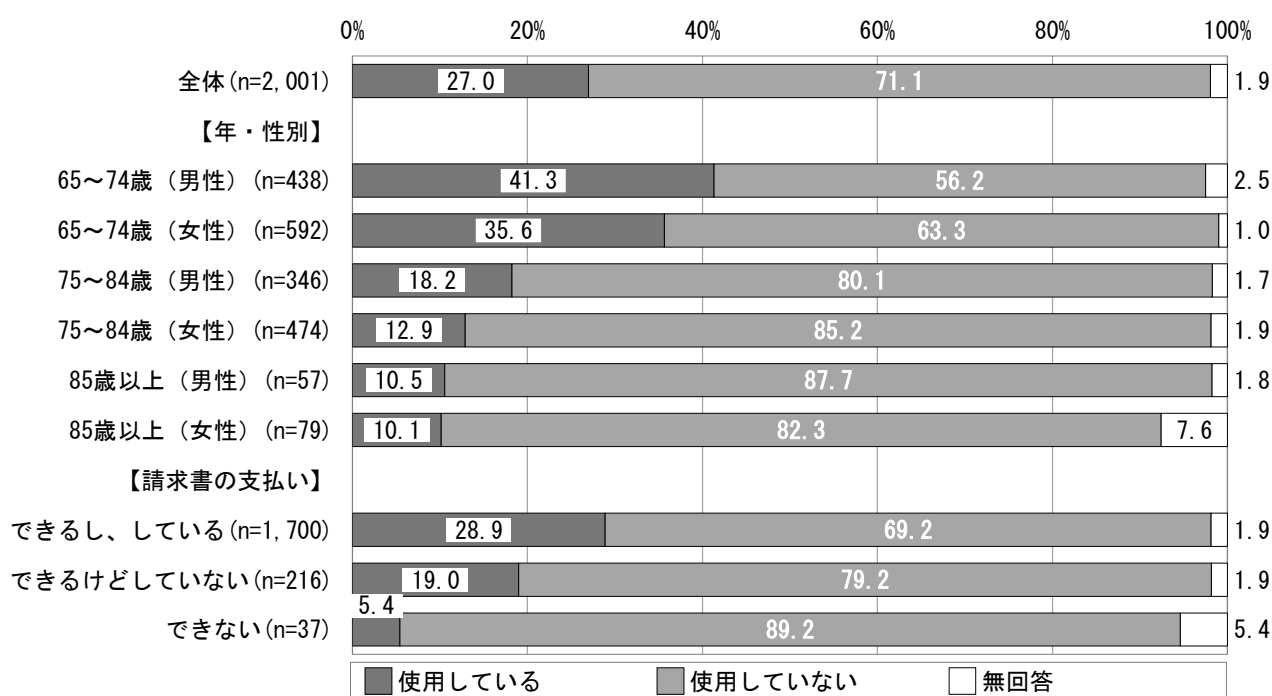
問 16（1）② スマートフォンを、キャッシュレス決済（外出先での買い物やネットショッピングでの料金を QR コード・バーコード・クレジット決済する）に使用していますか

※問 16（1）で「持っている」と回答した方に質問

全体では、「使用している」が 27.0%、「使用していない」が 71.1%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「使用している」に減少がみられる。65～74 歳、75～84 歳においては、男性のほうが女性よりも「使用している」が高くなっている。

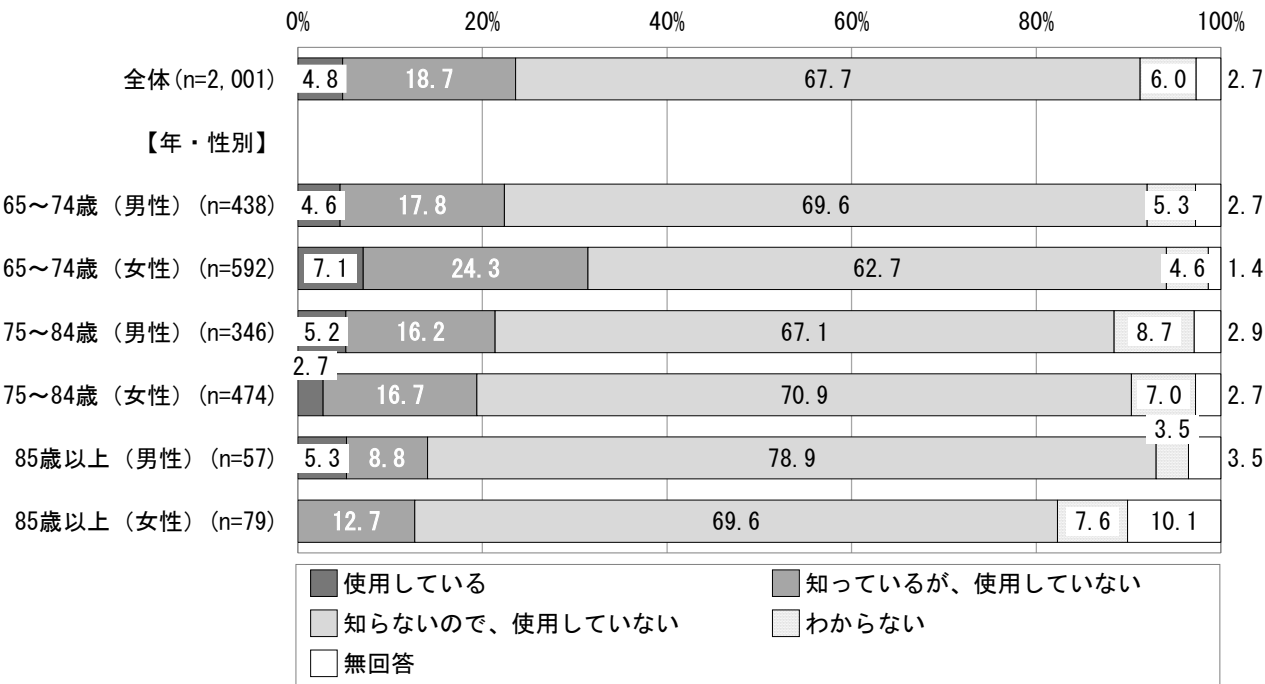
また、請求書の支払いをしている人のほうが「使用している」が高くなっている。



問 16 (1) ③ スマートフォンで、「あさひかわ健幸アプリ」を使用していますか
 ※問 16 (1) で「持っている」と回答した方に質問

全体では、「知らないで、使用していない」が 67.7%と最も高く、「知っているが、使用していない」が 18.7%、「わからない」が 6.0%と続いている。

年・性別にみると、いずれの年齢層も男性は「使用している」が 5%前後、女性は 65～74 歳の「使用している」が 7.1%と最も高くなっている。一方で「知っているが、使用していない」は、65～74 歳の女性が 24.3%と最も高くなっている。

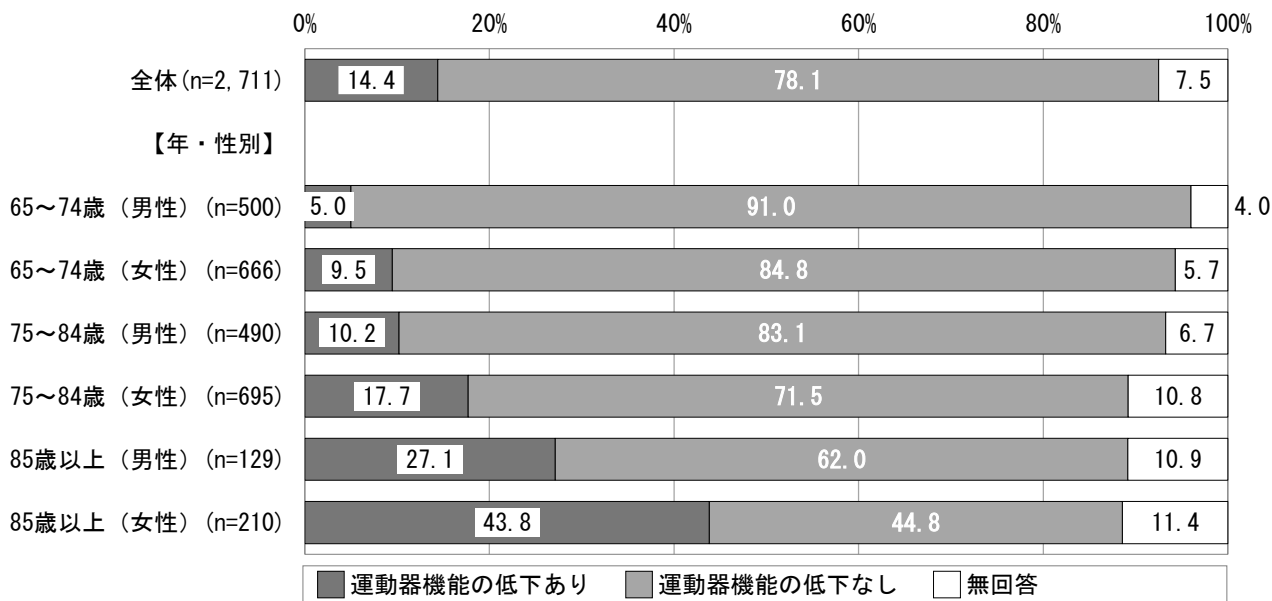


回答結果によるリスク集計

運動器機能のリスク判定

全体では、「運動器機能の低下あり」が14.4%、「運動器機能の低下なし」が78.1%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「運動器機能の低下あり」は増加しており、いずれの年齢層も女性のほうが男性よりも「運動器機能の低下あり」が高くなっている。



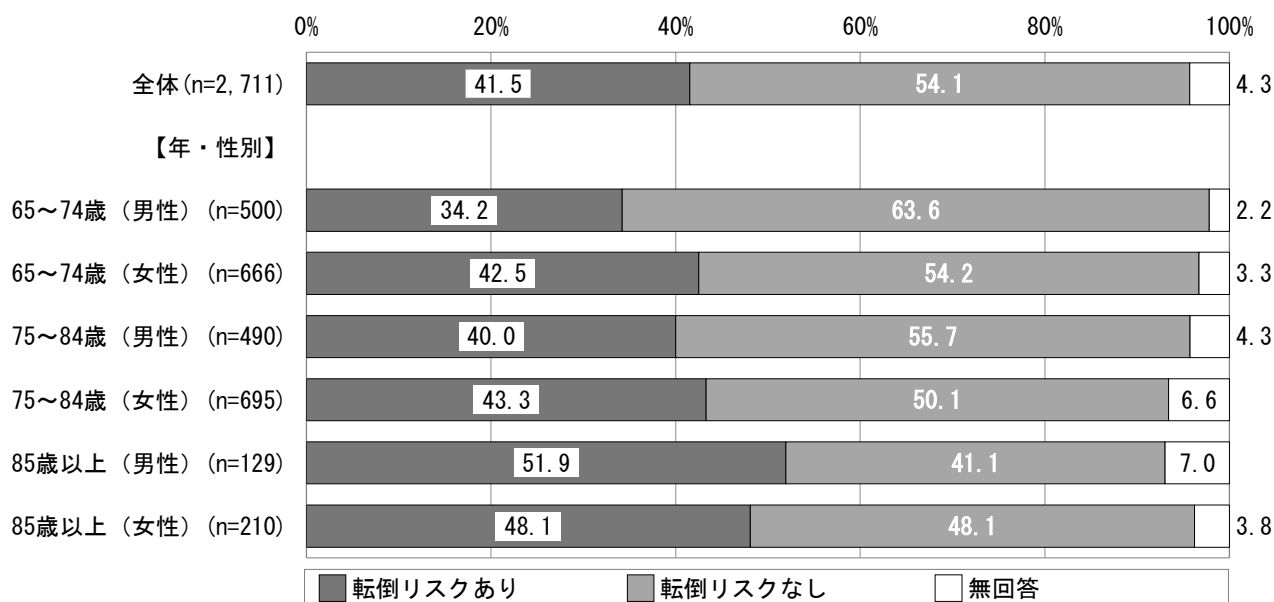
判定基準：運動器機能リスク高齢者の割合

設問項目		回答				判定基準
問 2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できるし、 している	できるけど していない	できない		3 項目以上 が該当
		非該当		該当		
問 2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できるし、 している	できるけど していない	できない		
		非該当		該当		
問 2 (3)	15分位続けて歩いていますか	できるし、 している	できるけど していない	できない		
		非該当		該当		
問 2 (4)	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	何度もある	1 度ある	ない		
		該当		非該当		
問 2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	とても不安 である	やや不安で ある	あまり不安 でない	不安でない	
		該当		非該当		

転倒のリスク判定

全体では、「転倒リスクあり」が 41.5%、「転倒リスクなし」が 54.1%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「転倒リスクあり」は増加している。85 歳以上の男性の「転倒リスクあり」が 51.9%と最も高くなっている。



判定基準：転倒リスク高齢者の割合

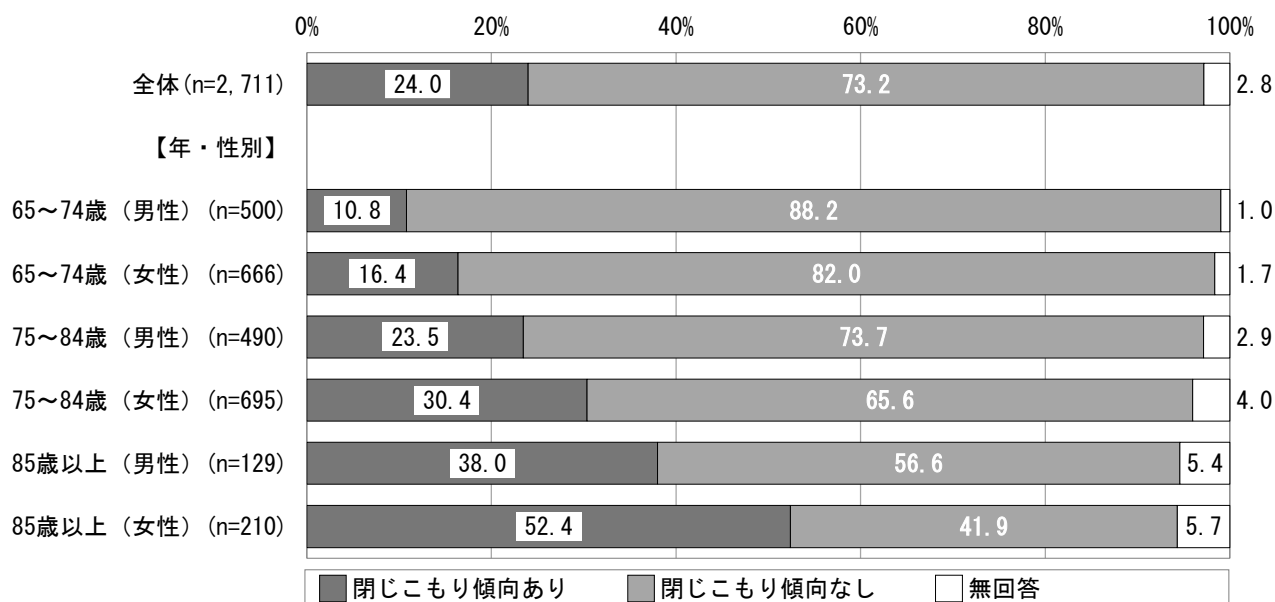
設問項目		回答			判定基準
問 2 (4)	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	何度もある	1 度ある	ない	該当
		該当		非該当	

第2章 調査の結果

閉じこもり傾向

全体では、「閉じこもり傾向あり」が24.0%、「閉じこもり傾向なし」が73.2%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「閉じこもり傾向あり」は増加しており、いずれの年齢層も女性のほうが男性よりも「閉じこもり傾向あり」が高くなっている。



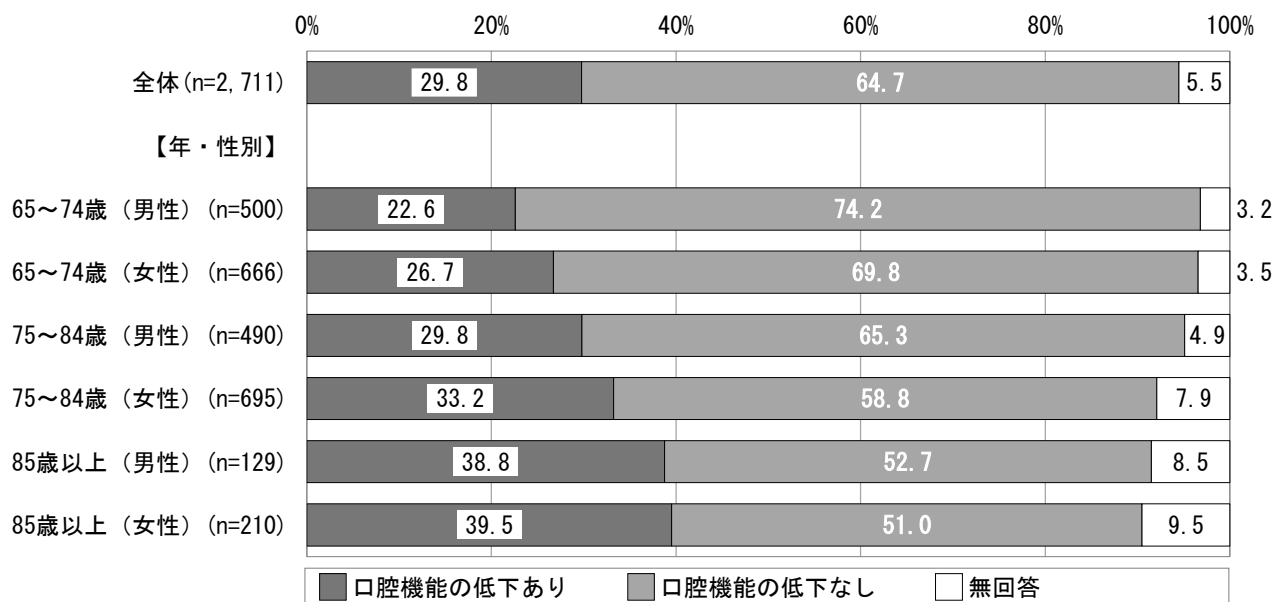
判定基準：閉じこもりリスク高齢者の割合

設問項目		回答				判定基準
問 2 (6)	週に 1 回以上は外出していますか	ほとんど外出しない	週 1 回	週 2 ～ 4 回	週 5 回以上	該当
		該当		非該当		

口腔機能が低下している高齢者

全体では、「口腔機能の低下あり」が 29.8%、「口腔機能の低下なし」が 64.7%となっている。

年・性別にみると、年齢があがるにつれ「口腔機能の低下あり」は増加している。性別による大きな違いはみられない。



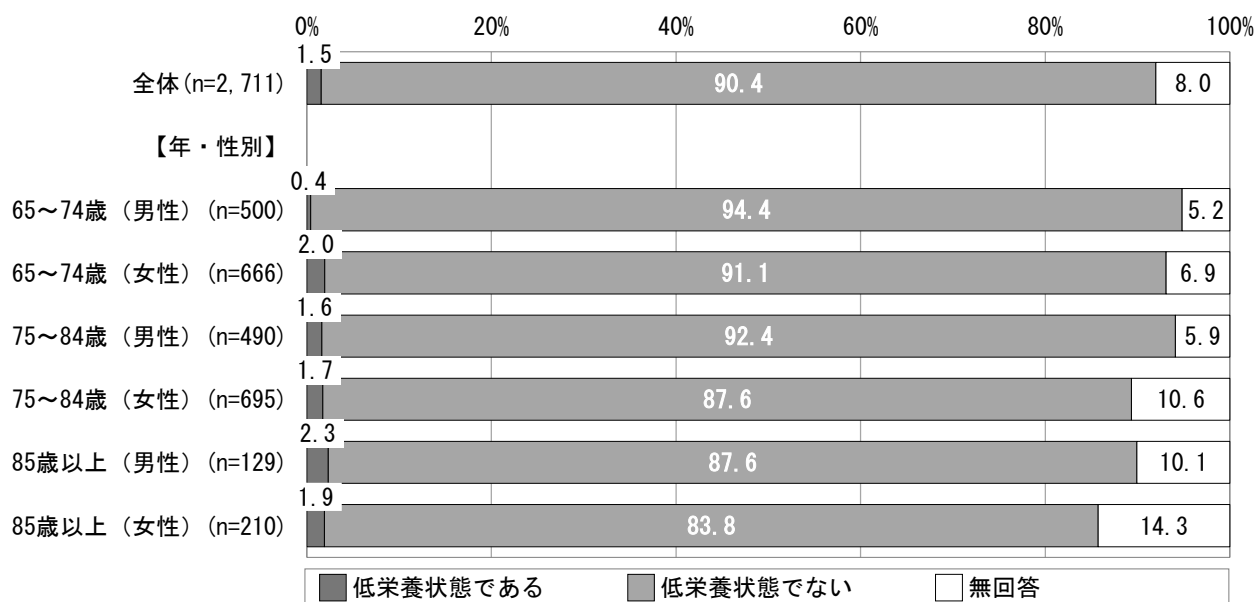
判定基準：口腔機能リスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問 3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい	いいえ	2 項目以上が該当
		該当	非該当	
問 3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい	いいえ	
		該当	非該当	
問 3 (4)	口の渇きが気になりますか	はい	いいえ	
		該当	非該当	

第2章 調査の結果

低栄養状態にある高齢者

全体では、「低栄養状態である」が1.5%、「低栄養状態でない」が90.4%となっている。
年・性別による「低栄養状態である」の大きな違いはみられない。

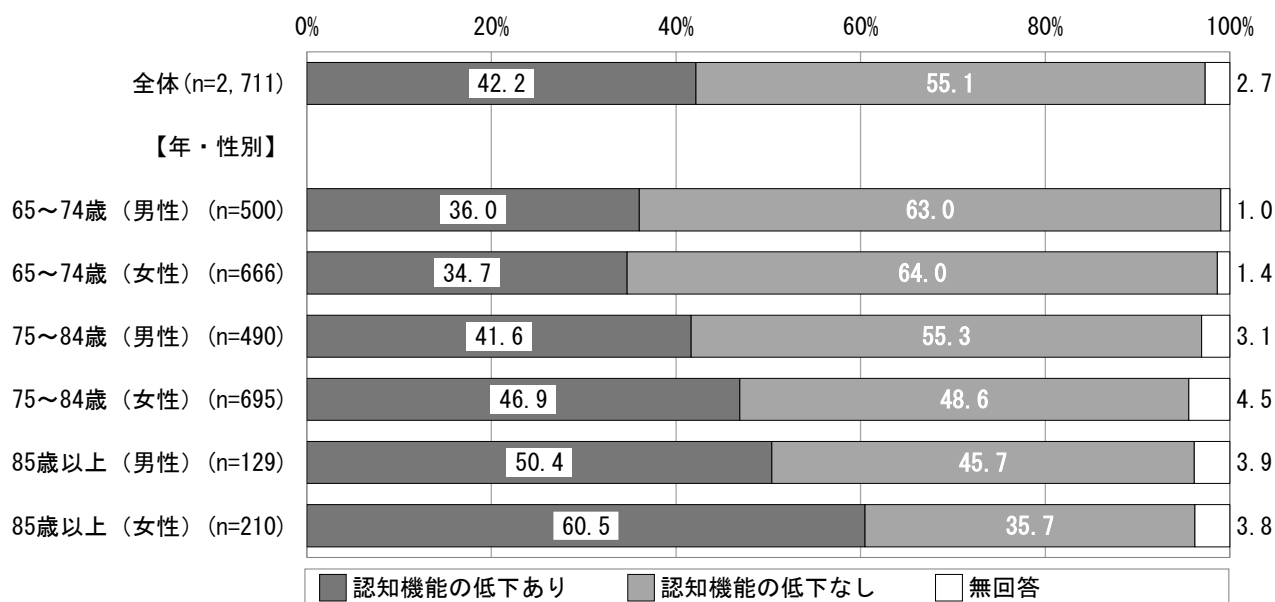


判定基準：栄養改善リスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問3(1)	BMI= 体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))	BMIが 18.5未満		2項目とも に該当
		該当		
問3(6)	6か月間で2～3kg以上の体重 減少がありましたか	はい	いいえ	
		該当	非該当	

認知機能が低下している高齢者

全体では、「認知機能の低下あり」が42.2%、「認知機能の低下なし」が55.1%となっている。
 年・性別にみると、年齢があがるにつれ「認知機能の低下あり」は増加しており、85歳以上の女性の「認知機能の低下あり」が60.5%と最も高くなっている。



判定基準：認知症リスク高齢者の割合

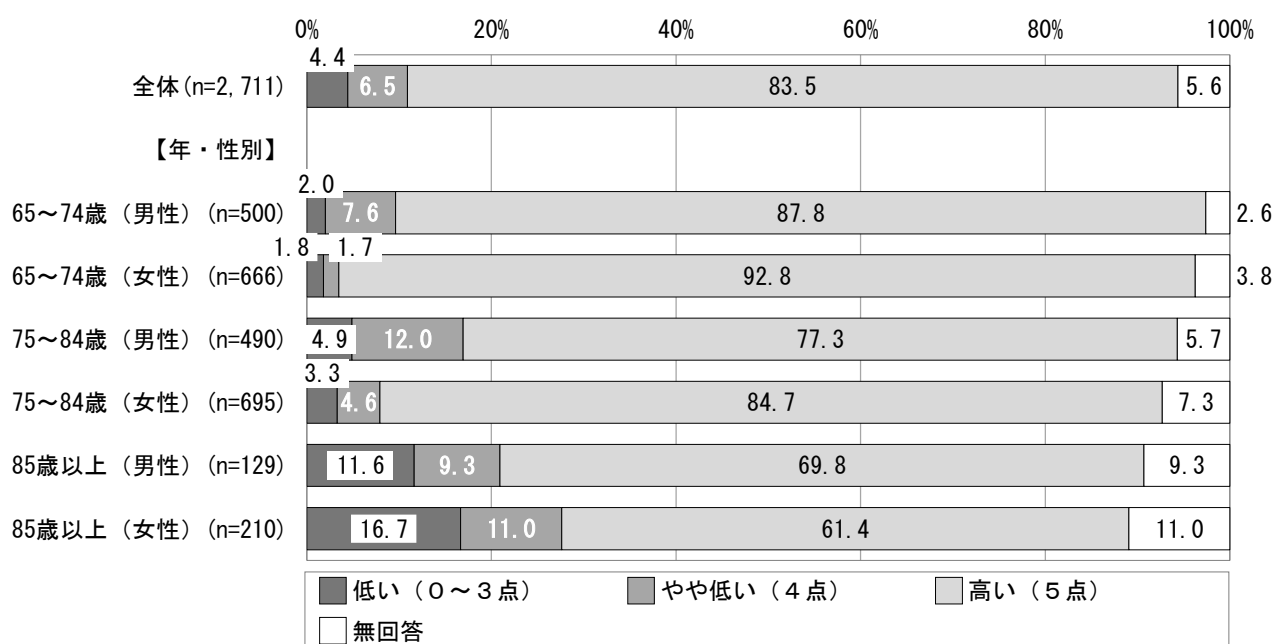
設問項目		回答		判定基準
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	はい	いいえ	該当
		該当	非該当	

第2章 調査の結果

IADL が低下している高齢者

全体では、「高い（5点）」が83.5%と最も高く、「やや低い（4点）」が6.5%、「低い（0～3点）」が4.4%と続いている。

年・性別にみると、65～74歳、75～84歳は5点未満が男性のほうが女性よりも高くなっているが、85歳以上になると、女性のほうが男性よりも27.7%と高くなっている。



判定基準：手段的日常生活動作（IADL）の状況

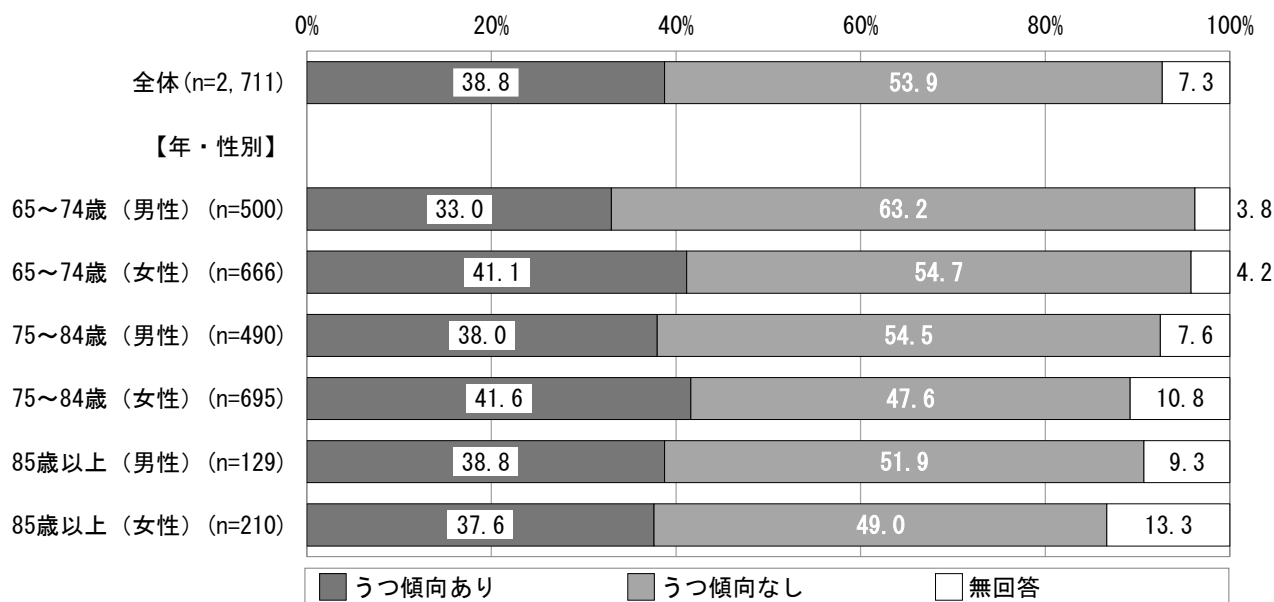
設問項目		回答と点数					
問4(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(5)	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(6)	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点

※低い：3点以下 やや低い：4点 高い：5点以上

うつ傾向の高齢者

全体では、「うつ傾向あり」が 38.8%、「うつ傾向なし」が 53.9%となっている。

年・性別にみると、男性は年齢があがるにつれ「うつ傾向あり」が増加しているが、女性は 75～84 歳が 41.6%で最も高くなっている。



判定基準：うつリスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問 8 (3)	この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい	いいえ	1 項目以上が該当
		該当	非該当	
問 8 (4)	この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい	いいえ	
		該当	非該当	

第 3 章 参考資料

調査票

お住まいの地域

旭川市介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 【調査票】

【個人情報の保護および活用目的について】

本調査で得られた情報につきましては、第10期旭川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市で適切に管理いたします。

本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

このことについて、本調査票の返送及び回答をもちまして、御同意いただいたものと見なさせていただきます。

調査票記入時の状況について	
記入日	令和 8 年 月 日
あなたの生活の場はどこですか（調査票記入時点）	
1. 自宅 2. <u>入院中・施設入所中</u>  以後の回答は不要です。このまま返信用封筒で返送してください。	
※ 施設とは、介護付き有料老人ホーム、認知症高齢者グループホームを指します。	
あなたの要介護状態区分を教えてください。	
※ 要介護状態区分は、「介護保険被保険者証」に記載されています。 ※ 要介護認定を受けていない場合は、「1. 非該当（自立）」に○をつけてください。	
1. 非該当（自立） 2. 事業対象者 3. 要支援1 4. 要支援2 5. <u>要介護1～5</u>  以後の回答は不要です。このまま返信用封筒で返送してください。	
調査票を記入されたのはどなたですか。	
1. ご本人 2. ご家族（ご本人からみた続柄 ） 3. その他（ ）	

問1	あなたのご家族や生活状況について	
(1) 家族構成をお教えてください		
1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他		
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか		
1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)		
(2) で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ		
① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (いくつでも)		
1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん (悪性新生物) 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気 (リウマチ等) 6. 認知症 (アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患 (透析) 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他 () 15. 不明		
(2) で「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ		
② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)		
1. 配偶者 (夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他 ()		

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか		
1. 持家（一戸建て）	2. 持家（集合住宅）	
3. こうまいちんたいじゅうたく 公営賃貸住宅	4. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅（一戸建て）	
5. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅（集合住宅）	6. 借家	
7. その他		

問2	からだを動かすことについて	
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(3) 15分位続けて歩いていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか		
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
(5) 転倒に対する不安は大きいですか		
1. とても不安である	2. やや不安である	
3. あまり不安でない	4. 不安でない	

(6) 週に1回以上は外出していますか			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2~4回	4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか			
1. とても減っている	2. 減っている		
3. あまり減っていない	4. 減っていない		
(8) 外出を控えていますか			
1. はい		2. いいえ	
(8) で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ ① 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)			
1. 病気	2. 障害(脳卒中の後遺症など)		
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)		
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	6. 目の障害		
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない		
9. 交通手段がない	10. その他()		
(9) 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)			
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車	
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす	
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー		
12. タクシー	13. その他()		

(10) 外出する際の移動に関して不安に思うことはありますか (いくつでも)	
1. ない	2. 外で歩くこと
3. 自分で自転車や自動車を運転すること	4. 送迎してくれる人がいないこと
5. 駅やバス停まで遠いこと	6. 介助者がいないこと
7. 杖や歩行器等がないこと	8. 経済的負担が大きいこと
9. その他 ()	

問3	食べることについて
(1) 身長・体重を教えてください	
身長 cm	体重 kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	
1. はい	2. いいえ
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	
1. はい	2. いいえ
(4) 口の渇きが気になりますか	
1. はい	2. いいえ
(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	
1. 自分の歯は20本以上、 かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、 入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、 かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、 入れ歯の利用なし
(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	
1. はい	2. いいえ

(7) どなたかと食事をとにもする機会がありますか		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問4	毎日の生活について	
(1) 物忘れが多いと感じますか		
1. はい	2. いいえ	
(1) で「1. はい」の方のみ		
① 物忘れ外来を知っていますか		
1. 知っている	2. 知らない	
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか		
1. はい	2. いいえ	
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか		
1. はい	2. いいえ	
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で食事の用意をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	
1. はい	2. いいえ
(10) 趣味はありますか	
1. 趣味あり	→ (趣味をご記入ください)
2. 思いつかない	
(11) 生きがいがありますか	
1. 生きがいあり	→ (生きがいについてご記入ください)
2. 思いつかない	

問5 地域での活動について	
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※① - ⑥それぞれに回答してください	
① ボランティアのグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
② スポーツ関係のグループ やクラブ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
③ 趣味関係のグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
④ 学習・教養サークル	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
⑤ 「あさひかわ健幸運動教室」 「認知症予防教室」な どの介護予防のための通い の場	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
⑥ 老人クラブ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

⑦ 町内会・自治会	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑧ 収入のある仕事	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として参加</u> してみたいと思いますか			
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している			
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営（お世話役）として参加</u> してみたいと思いますか			
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している			

問6	就労について
(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか（いくつでも）	
1. 職についたことがない 2. 引退した 3. 常勤（フルタイム） 4. 非常勤（パート・アルバイト等） 5. 自営業 6. 求職中 7. その他	

問7	たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」について
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）	
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない	

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他（ ）	8. そのような人はいない	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他（ ）	8. そのような人はいない	
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他（ ）	8. そのような人はいない	

問 8	健康について
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか	
1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)	
とても 不幸	とても 幸せ
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点	

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか		
1. はい	2. いいえ	
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか		
1. はい	2. いいえ	
(5) タバコは吸っていますか		
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない		
(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)		
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気		
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	13. 血液・免疫の病気
14. うつ病	15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他 ()
(7) 加齢により聴力が衰えたと感じますか		
1. はい	2. いいえ	
(7) で「1. はい」の方のみ 聴力の衰えをどの程度感じていますか		
1. 生活に支障を感じる (例: テレビやチャイム、電話呼び出し音等が聞こえづらい)		
2. 会話に不便を感じる		
3. 生活に特に支障はない		

(7) で「1. はい」の方のみ ① 聴力の衰えを感じて受診したことがありますか	
1. はい	2. いいえ
(7) ①で「2. いいえ」の方のみ 受診していない理由は何ですか (いくつでも)	
1. 「老化だから仕方がない」加齢に伴い自然なものだと考えているから	
2. 「まだ大丈夫だろう」「少し聞こえにくいだけ」と考えているから	
3. 耳鼻咽喉科を受診するのは面倒に感じるから	
4. 補聴器に対する抵抗感があるから	
5. その他 ()	

問9	地域包括支援センターについて
(1) 高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを知っていますか	
1. はい	2. いいえ
(1) で「1. はい」の方のみ ① 地域包括支援センターを利用したことはありますか	
1. ある	2. ない
①で「1. ある」の方のみ どのようなことで利用しましたか (いくつでも)	
1. 介護保険の申請や利用についての相談	
2. 困りごとについての相談	
3. 運動教室やサークルの参加についての相談	
4. その他 ()	
①で「2. ない」の方のみ 利用したことがない理由は何ですか	
1. 困りごとがない	
2. 相談するほどでもない	
3. 他に相談できる人・機関がある	
4. 連絡先がわからない	
5. 開設時間に連絡できない	

問 10 在宅医療について

(1) 在宅医療について知っていますか

1. よく知っている 2. 言葉は聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 聞いたことがない

(2) 通院できなくなったとき、自宅で訪問診療を受けたいと思いますか

1. 思う 2. 思わない

問 11 終活について

(1) 終活の取り組みをしていますか

※終活とは、人生の最後を意識しながら、これからの人生を自分らしく生きるための準備をし、亡くなった後に備えることです。

1. すでに始めている 2. 近いうちに始める予定
3. 予定はないが、時期が来たら始めたい 4. 終活は必要ない
5. その他（ ）

問 12 最期を迎える場所について

(1) 希望としては、どこで最期を迎えたいとお考えですか

1. 病院 2. 自宅 3. 老人ホーム等の施設
4. その他() 5. 分からない

(2) 現状では、実際に最期を迎えられる場所はどこになると思われますか

1. 病院 2. 自宅 3. 老人ホーム等の施設
4. その他() 5. 分からない

問13 ボランティア活動について（有償ボランティアを含みます）

(1) ボランティア活動に参加したことはありますか

1. 現在も参加している
2. 過去に参加したことがある
3. 興味はあるが、参加する方法が分からない
4. 興味はあるが、体調等の理由で参加できない
5. 参加したことはなく、興味もない

(2) 現在又は将来、ボランティアによる支援を受けたいと思いますか

1. 受けない 2. 受けたくない 3. 分からない

(2) で「2. 受けたくない」の方のみ

① 受けたくない理由は何ですか (いくつでも)

1. 相談先が分からない
2. ボランティアにどのようなことをしてもらえるのかが分からない
3. ボランティアでは信頼性に欠ける
4. ボランティアをお願いすることを負担に感じる
5. 公的サービスや民間サービスを利用したい
6. その他（ ）

(3) 住み慣れた地域で暮らすため、高齢者の生活を支援するボランティア活動があった場合、参加してみたい活動はどれですか（いくつでも）

1. ごみ出し 2. 除雪 3. 家の掃除
4. 買い物代行 5. 話し相手 6. 通院の付き添い
7. 見守り 8. その他（ ） 9. なし

問 14 認知症について

(1) 認知症について、どの程度知っていますか

1. よく知っている 2. ある程度知っている
3. あまり知らない 4. 全く知らない

(2) 認知症について、どのようなイメージを持っていますか（1つだけ）

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
2. 認知症になっても、医療・介護等のサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
3. 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用する必要がある
4. 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしていた地域で生活することが難しくなる
5. 認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう

(3) あなたや家族が認知症になったとき、不安に思うことはありますか

1. ある 2. ない

(3) で「1. ある」の方のみ

① 不安に思うことは何ですか (いくつでも)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 病気のこと | 2. 介護のこと |
| 3. 経済的なこと | 4. 家族との関係 |
| 5. 地域との関係 | 6. その他（ ） |

(3) で「2. ない」の方のみ

② 不安に思わない理由は何ですか (いくつでも)

1. 認知症や相談先などについて理解しているから
2. 私や家族は、認知症にならないと思うから
3. 身近に認知症の人がいないので、実感がないから
4. 私や家族が認知症になることについて、十分に考えたことがないから
5. その他（ ）

問 15	認知症にかかる相談窓口の把握について
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか	
1. はい	2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口（地域包括支援センター等）を知っていますか	
1. はい	2. いいえ

問 16	スマートフォンの利用について
(1) スマートフォンを持っていますか	
1. 持っている	2. 持っていない
(1) で「1. 持っている」の方のみ ① スマートフォンを、健康管理（歩数・体重・食事・薬等の情報管理）のために使用していますか	
1. 使用している	2. 使用していない
(1) で「1. 持っている」の方のみ ② スマートフォンを、キャッシュレス決済（外出先での買い物やネットショッピングでの料金をQRコード・バーコード・クレジット決済する）に使用していますか	
1. 使用している	2. 使用していない
(1) で「1. 持っている」の方のみ ③ スマートフォンで、「あさひかわ健幸アプリ」を使用していますか	
1. 使用している	2. 知っているが、使用していない
3. 知らないので、使用していない	4. わからない

■■■ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました ■■■

旭川市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
調査結果報告書

発行日／令和8年6月
発行／旭川市
